

第五十一回帝國議會
衆議院

輸出生絲檢查法案(政府提出) 委員會會議錄(速記) 第六回

會議

大正十五年三月三日(水曜日)午前十時
二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 折原巳一郎君

理事 村上 國吉君

理事 志賀和多利君

理事 畔田 明君

菅村 太事君

加藤十四郎君

加藤 六藏君

青木 精一君

川口 義久君

加藤 知正君

隅田 豐吉君

高木 音藏君

志村清右衛門君

小野 寅吉君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 山川 端夫君

農林政務次官 小山 松壽君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

農林書記官 長瀬 貞一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林技師 芳賀權四郎君

農林書記官 膳 桂之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

輸出生絲檢查法案(政府提出)

○折原委員長 ソレデハ開會致シマス

○山内委員 私ガ問ハント欲スル所ハ

既ニ他ノ同僚ヨリ質問セラレテ、政府

ハ之ニ對シテ御答辯ガアツテ居ル所ガ

アルデアラウト思ヒマシテ速記録ヲ調

ベル積リデアツタ所ガ、マダ速記録ガ吾

吾ノ手許ニ配付ニナツテ居ナイ、或ハ重

複スルカモ知レマセスケレドモ、簡單

デ宜シウゴザイマスカラ御答ヲ願ヒマ

ス、大體私ガ參考資料トシテ御配付ニ

ナツテ居リマス紐育首藤商務書記官ノ

御報告ニ依リマス、輸出検査即チ正

量検査ガ絕對ノモノデナイ、效果ガ

如何デアラウカ、取引上重大ナル影響

ガアルト云フヤウナ御見込ノ事ガ御報

告ニナツテ居リマス、併ナガラ斯ノ如キ

重要物産ニ對シマシテ正量検査ヲ始メ

マシテ、直ニ其效果ナシト致シマシテ

モ、追々其検査ナルモノニ相當理解ガ

付クト云フコトニナリマシタラ、近

キ將來ニ於テ取引所ノ信用ヲ得ルコト

デアラウト云フ政府ノ御理想ハ御尤ナ

ル處置ト思フ、而シテ政府ガ御提出ニ

ハ從來ノ希望検査ヲ止メテ、サウシテ

強制検査ヲヤルト云フ點ニ對シマシテ

ハ手數料ヲ取ラズシテ今迄ノ検査ヲ延

長シテ強制検査ヲヤルコトハ、全ク考

慮ノ中ニハ置カレナカッタノデアリマ

スカ、先ズ此點ヲ御伺致シマス

○小山政府委員 只今山内君ノ御尋デ

アリマスガ、一應現在ニ現ハレテ居リ

マス所カラ御覽ニナリマスレバ、趣意

アルコトトシテ御質問ト拜承致シマ

スガ、此頃來カラ申上ゲテ居リマスヤ

ウニ、正量取引ノ事ハ既ニ大體御説明

致シマシタコトデ御諒承ヲ願ヒ得ルト

考ヘテ居リマスガ、實ハ我が生絲ノ品

位品質ガ段々向上致シテ參リマシテ、

之ニ依テ尙ホ一層海外ニ其精華ヲ舉ゲ

タイ、而シテ此問題ハ既ニ明治三十二

年以來多年ノ懸案デアリマシテ、前回

ニモ其歴史關係ハ詳細ニ申上ゲマシタ

通り、當業者カラノ熱烈ナル要望ガア

リ、惜之ヲ實施スルニ付テハ如何ニス

ルカト申シマスレバ、即チ検査所ノ設

備ヲ整ヘルト云フコトガ先決問題デア

ウ、其利潤ノ中ヲ割イテ、而シテ先決問

題トスル設備ニ之ヲ充テタイト云フコ

トデ、此頃申上ゲタヤウニ寄附金ト、政

府ノ支出震災復舊費ニ依ルモノト、合

セテ五百萬圓デ横濱ニ見事ナル検査所

ヲ拵ヘ、將ニ其工成ラントシテ居リマ

スガ、之ニ就テ經常費支辨ト云フコト

ガ又次イデ起ル問題デアリマスカラ、

此經常費支辨ヲ如何ニシテ支出スル

カ、即チ是ガ大藏當局ト交渉シテ行惱

ンデ居ル所ノ一ツノ懸案デアリマシ

タ、當業者ハ之ヲ熱望スル、建物ハ只今

申上ゲタヤウナ順序デ出來テ居ル、併

シ經常費支辨ハ如何ニスルカ、是ガ行惱

ンデ居ルト云フコトガ分リマシタ、併

ナガラソレハ検査手數料ヲ取ツテ、其經

常費ヲ支辨シタナラバ宜イデハナイカ

ト云フヤウナコトニナリ、所謂正量取

引ニ依ル所ノ検査ノ實施ハ、其經常費

ハ手數料デ支辨スルト云フ基礎ノ上

ニ、其萬事ノ計畫ガ立テラレテ參ッテ居

ル、此點ガ屢申上ゲマスヤウニ、當業

者ノ人ミノ了解ヲ得テ居ルト云フ點モ

茲ニ在ルノデアリマス、而モ此事ニ付

テハ山内君竝吾モ御懇意ノ間デアリ

マス、武藤金吉君ガ、此事情ヲ能ク御承

知ナノデアリマス、寧ロ私ヨリモ武藤

君ハ終始一貫此實現ニ御努力ニナツテ

居リマス、先ニハ亞米利加マデ御出デ

ニナッテ、向フノ當業者ノ有力者ト御會見ニナッテ、隔意ナキ意見ノ御交換ニモナリ、而シテ只今申上ゲタ第二回帝蠶會社ノ清算事務ニ當リマシテハ、武藤君モ矢張其重役ノ一人トシテ、政府ノ寄附ノ事カラ清算事務ニ御當リニナッタル云フヤウナコトデ、我國蠶絲業界ノ爲ニハ武藤君ハ非常ニ御盡シニナッテ居ル方デアリマスノデ、此事ハ武藤君ハ能ク御承知デアル、是ハ私ノ説明ノ足リマセヌ所ハ、幸ニ山内君モ同僚御別懇ノ間柄デアリマスカラ、武藤君カラ御聽キ下サイマスレバ能ク事情ガ分ルデアリマセウガ、サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、今日手數料ヲ取ルト云フコトハ、全く今申上ゲタ諸般ノ設備ヲ整ヘマスル所ノ結果トシテ起リマス經常費ノ支辨ニ充テルト云フヤウニナッテ參ッテ居ルノデアリマス、而シテ此手數料ハ現行法デハドウデアアルカト云ヘバ、現行法デハ徴シナイコトニナッテ居リマス、此事ハ先ニ御答致シマシタ通りニ、我國ノ生絲ガ漸ク十萬捆ノ極メテ微々タル時代ニ成ベク其品質ヲ改良シテ海外ニ益其進展ヲ期シタイト云フノデ、之ヲ導カウト云フ、謂ハバ其時代ハ助成時代デアッタノデアリマス、幸ニ當局ノ努力ト民間當業者ノ協力ト相一致シテ、海外ニ我ガ重要物產トシテ今日ノ聲價ヲ博スルニ至リマシテ、今日ハ國家トシテ多々益我ガ蠶絲業界ノ爲ニ努力スベキ事ガ多イノデア

リマス、其事務ニ當ル組織上ノコトニ付テモ、亦其組織カラ現ハレテ參リマス各般ノ施設ニ付キマシテモ、農林當局トシテハ出來得ルダケ今後致シタイト云フ希望ハ種々アリマス、而シテ此度ノ手數料ハ漸ク二千圓見當ニ付テ一圓デ、既ニ十四年度ニ於テハ八億八千萬圓ヲ輸出スルト云フ現狀カラ見レバ、洵ニ數フルニ足ラナイコトデアリマス、而モ其検査料ガ正シキ取引ヲヤッテ行カウト云フコトニ付テハ經費支辨デアルト云フナラバ、左程苦痛ガアルトハ思ヒマセヌ、此事ニ付テハ關稅定率法委員會ニ於テ長田君カラノ御尋ニ對シテ、我國蠶絲業及人造絹絲ニ對スル對策ト云フコトニ付テモ、私ノ意見ヲ大體申上ゲテ了解ヲ得テ置キマシタヤウニ、吾モ尙ホ一段ノ努力ヲシタイト思ヒマス、デアリマスカラ直接利益ヲ受ケル當業者ノ負擔カラ言ッテモ、經費カラ言ッテモ、極メテ輕少ナモノデアルト思ヒマスカラ、ドウゾ是ハ政府ノ意ノ在ル所ヲ御諒承ニナリマシテ、本案ノ成立ノ上ニ於テ御協力ヲ願ヒ、而シテ其所期ノ目的ヲ達成シテ、我國蠶絲業界ノ爲ニ一層ノ御貢獻ヲ願ヒタイ、斯様ニ考ヘル譯デアリマス、御尋ノ點ハ簡單ニ申セバ濟ムコトデアリマスケレドモ、先日來此農村ノ問題、我國蠶業界ノ問題ニ付テハ、山内君ハ長田君ト共ニ御盡シニナルト云フ御志ヲ私ハ深ク感ジテ居リマスカラ、此場合序ナガラ

私ノ考ヲ申上ゲテ置キマス
○山内委員 御深切ナル御答辯ニ依テ能ク了解致シマシタ、此正量取引ヲ第三者ノ國家ガ之ヲ爲シテ、益我生絲取引ノ隆盛ヲ希望セラレルコトニ於テハ、洵ニ結構ナ事デアアル、之ニ依テ是迄ノ不自然ナル取引ヲ矯正シャウト云フ御考ハ、御ヤナ御處置デアルト考ヘマスガ、唯茲ニ當業者諸君ガ此輸出強制検査料ヲ喜バナイト云フノハ、單ニ検査料ノミノ事デアアルカ、或ハ又検査手續其他ノ點ニ於テ從來ノ取引慣行ヲ棄ツル能ハザルヤウナ點ガアッテ、此検査料ト云フモノニ苦情ヲ述ベテ居ルノデアアルカ、政府ノ見ル所ハドウデアアルカト云フ點ヲ一ツ伺ッテ置キマス、尙ホ此検査料云々ハ、政府ノ御所見ニ依レバ所謂大商人ガヤルノデアアルカラ、二十萬ヤ三十萬ノ手數料ハ、之ヲ金高ニ割レバ百圓ニ對シテ僅カ四錢弱ノ金高デアアルカラ、此位ノモノガ負擔ニ堪ヘヌト云フヤウナコトハ、餘リ虫ノ宜イコトデハナイカト云フ御見解デアアル、又當業者ノ方デハ、所謂我ガ日本ノ輸出ノ大宗タル、此八億ニモ達スルヤウナ、是レ微カリセバ國際貸借ヲ如何ニセンヤト云フヤウナ、大ナル仕事ニ從事シテ居ル者ニ、二十萬ヤ三十萬ノ検査料マデ取ッテ、當業者ニ負擔セシメルト云フヤウナコトハ、本業ヲ發展セシメル上ニ於テ餘リ冷淡デハナイカト云フノガ、當業者ノ主張デアアルヤウニ考ヘラレ

ル、是ハ要スルニ見様ニ依テハ何方トモ付キマスガ、從來希望検査ヲ爲シ居タ時分ニハ、其經常費ハ何程デアリマシタカ、先ヅ其點ヲ伺ヒタイノデアリマス
○小山政府委員 御尋ノ最初ノ二點ダケヲ私カラ申上ゲテ、後ノ一點ハ當局ノ者ヨリ御説明ヲ申上ゲマス、最初ノ第一點デアアル手數料ノ事ハ、極ク僅ナモノデアッテ、ソレヲ當業者ガ苦情ヲ申シテ居ルノハ、手數料ノ事以外ニ何等カアルノデハナカラウカ、ソレニ付テ當局ノ見ル所ハドウデアアルカト云フ御尋所ヲ以テスレバ、本法案ノ上ニ於テノ經費ノ關係デハ、手數料ノ事ト見ルノデアリマスガ、其内容ニ至ッテ見マスルト、先日來モ段々御説明ヲ申上ゲマシタガ、製絲業者ト問屋ト輸出業者ト、此三者ノ間ニ從來長ク取引慣行ニナッテ居リマシタモノガ、本法實施ニ至リマスレバ、其曉ニ於テ其慣行ニ變革ヲ來タス場合モアリマス、隨テ其三者間ニ於ケル相互ノ協議ノ點モ、本案審議ノ際ニ於テハ相當攻究セラレテ居ルコトモアラウト想像サレマス、併ナガラ物ノ一變革、一段ノ進歩、發展、改善ヲ致シマスル場合ニハ、何事ニ依ラズ其直接利害關係ノアル者ニハ左様ナ事ノ伴フト云フコトハ已ムヲ得ヌコトデアラウト思ヒマスカラ、只今ノ御尋トシテハ、右ノヤウナ事モ當業者間ニ協議中ニ

ナツテ居ルノデアラウト想像サレルノデアリマスガ、併シ是ハ大體ガ正シキ事ヲシテ行カウト云フノデアリマスカラ、正シカラザル事ヲ欲スルト云フコトハ表面ノ理由ニハナリマス、故ニ前同ニモ申上ゲマシタ通り、當業者間ニ於テ目下此事ニ付テハ交渉中ノヤウデアリマス、政府ハ此交渉ハ遠カラズ當業者間ノ圓滿ナル協議ニ依リマシテ、必ズヤ協力シテ政府ノ意ノアル所ト相俟ツテ、我が蠶絲業界、我が海外輸出ノ生絲業界ニ努力セラレルコトデアラウト、斯ウ見テ居ルノデアリマス、ソレカラ第二點ノ手數料ハ僅ナ事デアアルガ、ト云フ御話デ、御意見モアリマシタガ、私共ハ是ハ強制検査手數料ト云フモノニ付テノ法律上ノ御質疑ノ場合ニ、ソレ御答ヲ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、租税關係トハ全ク實質ヲ異ニ致シテ居リマス、即チ手數料ハ報償ノ性質ヲ有スルモノデアリマスカラ、特定サレタル利益ヲ受ケル者ガ此手數料ヲ負擔スルト云フコトハ、當然デアルト考ヘテ居ル譯デアリマス、而モ其金額ハ只今申上ゲマシタ通り極メテ僅ナモノデアリマシテ、此手數料ヲ負擔致シマスル義務者ノ資力ニ相應シカラスト云フ大シタモノデアリマセヌ、而モ其特定ノ益金又ハ、利益ヲ前提トシテ此手數料ヲ報償ノ性質ト見テ居ルノデアリマス、而シテ政府ノ施設致シマスルコトハ、特定サレタル當業者

ガ利益ヲ受ケルモノデアルト斯ウ解釋致シテ居リマスカラ、他ノ租税ト云フヤウナ場合トハ全ク其趣ヲ異ニシテ居ル、斯ウ考ヘテ居リマス、殊ニ私ハ山内君ニ篤ト御諒承ヲ冀ツテ置キタイコトハ——丁度御互ニ努力シテ此普通選舉ノ實現ニ當リマシタノハ、要スルニ政治ノ一ツノ改革ヲシタ譯デアリマス、而シテ今後ハ必ズヤ政治ノ問題ハ社會政策ガ中心デアルト私共ハ思フ、即チ五十議會、五十一議會ニ現ハレマシタ所ノモノハ、總テ議員ハ何處ニ目標ヲ置イテ居ルヤト云フト、社會施設ニ目標ヲ置イテ居ルヤト思フノデアリマス、今同政府ガ致シマシタ税制整理モソレデアアル、言論ニ現ハレタ多クノモノモ亦ソレデアアル、故ニ特定サレタル——一部ノ人ノ利益ノ爲ニ國家ガ施設致シマスル事ニ付テ、若シ其人ミガ負擔ニ堪ヘヌト云フノデアリマスレバ、是ハ考慮シナケレバナラヌノデアリマスガ、僅ナモノデアアルノニ堪ヘラヌトハ見ラヌ、而モ其利益ハ非常ナモノデアアル、ト云フコトデアリマスカラ、其人ミガ僅カバカリノ手數料ヲ負擔スルト云フコトハ、決シテ私ハ苦痛トハ思ハヌ、ノミナラズ若シ此検査料ヲ徴セヌト云フコトニナレバ、特定セラレテ居ル何億ト云フ商賣ヲシテ利益ヲ收メテ居ル其人ノ負擔ヲ租税デ取立テテ、検査料ヲ取ラズ無手數料デヤツテ行クト云フコトニナリマスレバ、只今申上

ゲタ五十議會、五十一議會ヲ通ジテ政治ノ中心トシ、又今後モヤラナケレバナラヌ社會政策ニモ背クモノデアルト云フノデ、先達農林大臣ノ社會政策ニ反スルモノダト言ツタ意見ハ其所ニ在ッタト思ヒマス、ドウゾ私ハ誠心誠意御説明ヲ申上ゲマスカラ、十分ニ御尋下サイマシテ、私モ眞面目ニ申上ゲマスカラ眞面目ニ御尋ヲ願ヒマス、私ハ國家ノ産業ハ一黨一派ニ偏スルモノニアラズシテ、協力シテ我帝國ノ産業ノ爲ニ努力シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、ドウゾ私ノ意ノ在ル所ヲ御諒承願ヒマス

○石黒政府委員 山内サンノ御尋ノ第三點ノ生絲検査所ノ經費ノコトヲ申上ゲマス、十四年ハ約十四萬二千圓デ、内事業費ト見ルベキモノガ約十萬圓ヲ少シ超エテ居リマス、ソレカラ十五年ノ豫算ハ三十九萬九千圓ニナツテ居リマス、増シタ分ハ約二十五萬六千圓ニナツテ居リマス、此分ガ即チ正量検査實施ノ爲ニ増シタノデゴザイマス

○山内委員 從來無手數料ノ場合ハ十四萬二千圓、十五年ハ有料ニナツテ、検査所ノ擴張ノ爲ニ殆ド四十萬圓ト云フ御話デゴザイマス、總テ地方ニ於ケル産業組合デ其製品ノ聲價ヲ高メル爲ニ織物其他總テノ物ノ検査ヲ致シ、縣ガ之ヲ助長スルト云フヤウナ場合ニハ、大抵其検査料ハ——職員ノ給料ナドハ縣ガ出シテ、サウシテ其手數料デ全額

ヲ取ルノハ、組合等デヤル場合ニハ全ク組合ノ財産ニ歸スルノデアリマスカラ、餘レバ次年度ニ繰越スト云フコトニナル、所ガ生絲貿易ハ年産額ガ漸々増シテ、一昨日ノ加藤君ノ御説ニ依ルト、十箇年ニ倍ニモナルト云フ風ニ進歩シテ居ルノデアアルカラ、十三年度ニ於テモ横濱ト神戸ニ於テ三十七萬二千圓、十四年度ハ恐ラク四十萬圓ヲ超エアルデアラウト思フ、サウスレバ是迄十四萬二千圓ト云フモノヲ政府ガ検査所ノ爲ニ使ツテ居ルノヲ、今後ハ手數料ニ依テ過剩ヲ生ズルカモ知レヌト云フ結果ニナリハセヌカ、サウスレバ地方ノ検査所ナドハ、米穀検査ノ如キ役員、ソレニ要スル費用ノ大部分ハ縣廳ガ補助シテヤツテ、サウシテ手數料ハ單ニ其雜費ヲ償フ程度ニ止メテヤツテ居ル、是ガ今ノ通りデ進ンデ輸出ガ盛ンニナル場合ニハ、或ハ此未定稿ナル勅令ノ手數料ヲ減額セラレル意思ガアルカ、詰リ半額ノ十四萬位ハ從來出シ居ッタノデアアルカラ、殊更ニ當業者ノミニ轉稼スルコトハ不當デアルヤウニ感ゼラレマス、此未定稿ト云フ案ニ對シテ何等カ御考慮下サル餘地ハナイノデゴザイマス、此點ヲ伺ツテ置キマス

○石黒政府委員 只今申上ゲマシタ十四萬二千圓ノ經費、是ハ來年度カラ正量検査ヲ手數料ヲ徴シテヤリマスノデ、之ヲモ支辯シテ行クト云フ趣旨デハアリマセヌ、正量検査ノ實行ノ爲ニ

要スル分ダケハ支辨シテ行キタイト云フ計畫ニナツテ居リマス、即チ本年度マデ出シテ居リマス十四萬圓ノ經費ハ、矢張從前通り國費ノ支出ニナツテ參リマス、新タニ増シマス分ヲ——正量検査ノ爲ニ増加致シマス分ヲ手數料デ支辨シテ行ク計畫ニナツテ居リマス、ソレカラ勅令案ノ——未定稿デハアルガ、勅令案トシテ御參考ノ爲ニ差出シマシタ、ソレノ規定ノ手數料ノ額等ニ付テ考慮スルコトハ出來ヌカト云フ御尋、

是ハ只今モ御話ニアリマシタ通り、將來生絲ノ輸出ガ隆盛ニナリマシテ増加ヲシテ行ク、是ハ是非斯クアリタイト熱心ニ希望シテ居リマスガ、左様ニナリマス、増加シテ行ク分ノ手數料ガ非常ニ餘計ニナツテ、過剰ヲ生ズルコトガアリハセヌカト云フ御話デアリマシタガ、サウ云フコトニナリマスレバ、無論外ニ財源ヲ求メル必要ハナイノデアリマス、手數料ト云フモノハ必要以上ニ徴收スル積リハ無イノデアリマシテ、サウ云フトキニハ無論手數料ヲ低減シテ行クト云フコトニ致サナケレバナラヌモノト考ヘテ居リマス、是等ノ爲ニ勅令ヲ以チマシテ手數料ヲ適宜ニ、其輸出生絲ノ額ノ増加ノ趨勢ニ從ヒマシテ加減ヲ致シテ行クト云フコトニ致シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、即チ未定稿トシテ御覽ニ入レマシタ料金ノ額ノ如キモノハ、將來ニ於テ其趨勢ヲ見マシテ、無論考慮ヲ致シテ加減

ヲ致スベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○山内委員 御説明ニ依リマシテ能ク分リマシタガ、詰リ正量検査ニ要スル費用ダケハ矢張有料手數料ト云フモノデ、支辨シ得ル程度マデハ手數料トシテ取ル、斯ウ云フ御意見ノヤウデアリマス、然ラバ正量検査ニ要スル十五年度ノ經費ノ御見込ハ三十九萬九千圓デアル、ソレガ事實ニ於テ十四年度中ニ、検査手數料ノ收入ガ其經費以上ニナツタ場合ニハ、ドウ云フ處置ヲ御執リニナルカト云フコトヲ御尋致シタイ

○石黒政府委員 只今御尋ノ數字ガ、或ハ私ノ申上ゲ方ガ惡カッタノデ御諒解ヲ得ナカッタカト思ヒマスガ、其三十九萬九千圓ト云フモノハ、只今アリマス十四萬二千圓ト、増加致シマス所ノ二十五萬六千圓バカリトノ總計デアリマシテ、其十四萬二千圓ト云フモノハ、從來検査所費用トシテ、十五年度ニ於テモ國費ヲ支出スル見込ダト云フコトヲ申シタ、二十五萬六千圓ガ正量検査ニ要スル分トシテ増加ニナリマシテ、ソレヲ検査手數料ニ依テ支辨シテ行キタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、ソレデ附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、從來ノ國費デ検査所ノ費用ヲ出シテ居リマシタ十四萬二千圓ノ中ノ、ハッキリハ分リマセヌガ、約七萬圓程ハ此正量検査ノ方ニ直接關係ノアル仕事デアリマシテ、十五年度以後正量検査ヲ實行致シマス

ル際ニ於キマシテモ、詰リ從來ノ十四萬二千圓ノ中ノ約七萬圓程ハ、國費ノ正量検査ノ方ニ役立チマス部分デアルト御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ次ノ手數料收入ト云フモノヲ十五年度ニ於テ見込デ居ルガ、ソレガ過剰ニナツタナラバ、過剰ニナツタ分ハドウスル見込デアルカト云フ御尋デアリマスガ、若シ過剰ガ幾分生ジマシタト云フコトニナリマス、ソレハ國ノ印紙收入トシマシテ收入サレルノデゴザイマスガ、而シテ支出ノ方ハ、農林省關係ノ生絲検査所諸費トシテ、今日二十五萬六千圓ノ増加ヲ見テ、三十九萬九千圓ト云フノガ計上サレテ居ルノデアリマスガ、其差額ハ國ノ一般收入トナル譯デアリマス

○山内委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、以前ノ數字ノ間違ッテ居ルコトモ了解致シマシタ、然ラバ政府ノ十五年度ニ手數料ヲ御取立テニナルノハ二十五萬六千圓デアルト云フコトニナリマス、サウ致シマスルト、現二十三年度スラ三十七萬圓ハ徴收出來ル見込デアラ、十四年度ハソレヨリ宜カッタ、斯ウスレバ政府ハ二十五萬六千圓ヲ取ラウト云フコトデアリマスガ、其豫算以上ニ實際ニ於テハアルト云フコトハ明瞭デアリマス、其邊ハ如何ニ御解釋デアリマス、從來トハ違ヒマシテ、此度ハ強制検査デアリマスカラ、一俵賣ルニモ検査所ヲ通過シナイモノハナイ、輸

出スル絹絲ニ對シテハ悉ク検査スルト云フコトニナツタノデアルカラ、十三年度ニ於キマシテモ三十七萬俵、此手數料ハ即チ三十七萬圓ハアル、次デ十四年度ハ既ニ四十四萬俵以上モアルト云フコトデアアルカラ、是ニ於テ十餘萬圓バカリ餘ル、斯ノ如キ結果ヲ生ジテ、此勅令案ノ未定稿ニ於キマシテ、一圓ト云フ御見込ヲ今少シ御考慮ナサツテ、五十錢ト云フコトニ致シタラ或ハ相當デ、是ガ爲ニ豫定以上ノ收入ガアラウト云フヤウナ風ニ、御見込ヲ御立テニナルノハ、少シク御不穩當デハナイカト云フ感ジヲ持チマスカラ、念ノ爲メ御尋致シマス

○石黒政府委員 只今ノ御疑問デゴザイマスガ、三十數萬圓カラ段々進ンデ四十萬圓ニナルト云フヤウナ見込ガ今日ニ於テモ付ク、斯ウ御話ニナリマスノハ、是ハ我國ノ輸出生絲ノ全體ノ數量デアラウト思ヒマス、而シテ其中ノ十萬俵ハ、大體ニ於テ先ヅ神戸港カラ出ル、斯ウ考ヘラレヤウト思ヒマス、サウ致シマス、三十萬俵ト云フモノガ、横濱ノ輸出ニナラウカト考ヘマス、ソレデ豫算ニ計上致シマシタル二十五萬圓見當ノ検査料收入ト云フモノハ、検査所ノ費用ノ額ト云フモノハ、横濱ニ於キマスル三十萬俵ト云フモノニ對シマシテ、御話ノ通りニ一圓當テノ検査料ト云フコトヲ計算ノ基礎ニ置イテ居

ルノデアリマス、ソレハ前年ニ次デノ計算デハゴザイマセヌ、施行期ヲ大體先ヅ此案ヲ立テマシタ當時ニ於キマシテ、八月ト云フ見込デ居リマスノデアリマス、八月以後年度末マデニ於ケル輸出ト云フコトヲ考ヘマシテ、サウシテ約二十五萬ト云フヤウナ見當ノ計算ヲ致シタ譯デアリマス、デアリマスルカラ多少ノ出入ハゴザイマセウケレドモ、四十萬俵全體ニ對スルモノガ横濱ニ於テ施行期以後ニ於テ入ル、斯ウ云フコトハマア無イ筈デゴザイマス、私共ハ此二十五萬ト云フ見當ガ大體ニ於テ適當デアラウト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○山内委員 是ハ私ノ頭ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、大體此檢査料ト云フガ如キモノヲ徵收スル上ニ於テ、組合カ何カデスルモノトハ違ッテ、國家ガ之ニ携ッテヤルト云フコトニナリマスレバ、其經費ノ半額位ハ國家ガ持つト云フコトガ相當デハアルマイカト思ヒマス、假ニ先日憲法ノ章條ニ依テ手數料云々ヲ論議セラレマシタ時分ニモ、例ヘバ學校ノ授業料ノ如キモノハ云々ト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナ御説モアッタヤウデアリマス、學校ノ授業料ニ致シマシテモ、洵ニ人民ノ希望ニ依テ中學校ヲ建テテ貰ハナケレバ就學兒童ガ困ルト云フ、側デ要望シテ中學校ヲ建テルコトニナッテ授業料ヲ定ムル上ニ於テモ、無論三十萬圓近クノ學

校ノ建設費ト云フモノヲ置カナケレバナラヌ、ノミナラズソレヲ以テ學校經費ノ全額ヲ持つト云フヤウナ授業料ヲ取ル所ハ殆ド無イ、總テ此例ヘバ地方ニ於ケル米穀檢査ニ致シマシテモ、總テノ檢査ト云フモノハ矢張政府ガ指導啓發スル上ニ於テ、半額位ノ負擔ハ無論爲シツアルノデアリマス、獨リ此輸出業者ハ資本モ豊富デアル、取引モ大キナモノデアルカラト云フ、斯ウ云フヤウニ單ニ御考ニナルト、如何ニモ八億ノ商賣ヲスル人ニ對シテ二十萬圓ヤ三十萬圓ノ負擔ハ何デモナイト、斯ウモ見ラレルノデスガ、又國家カラ申シマスルト、斯ノ如ク大ナル費用ニ對シテハ相當助長ヲシ、所謂國際貸借其他ノ關係上十分ニハ援助スベキモノデアル、サウシテ此取引ノ改善トカト云フヤウナコトニ對シテハ、國家ガ相當ノ力ヲ盡スノガ相當デアラウト斯ウ思フ、之ヲ全部當業者カラ徵收スルト云フ御觀念ヲ改メ下サルノハ、唯一ニ此未定稿ニアル所ノ勅令案ノ如何、之ヲ御決定ノ際ニ於テ御考慮アレバ如何様ニモナラウト斯ウ思ハレル、ソコデ私ハ細カイ數字ニ至リマシテ、此未定稿ト云フモノヲ御決定ニナル場合ニ於テ、相當御考慮ガ出來ハシナイカト云フ觀念ヲ持チマシタカラ、茲ニ此質問ヲ發シタノデアリマス、大要ハ既ニ分リマシタカラ、モウ此點ハ此程度デ止メマス、モウ一點御伺致シタイノハ、一

昨日加藤君ノ御質問中ニ、原量檢査ヲ輸出業者ノ倉庫デ爲スト云フヤウナコトデハ、是ハ所謂證票ヲ付ケル上ニ於テ不安心デアル、仍テ之ヲ是非政府ノ手デ檢査シナケレバナラヌ、斯ウ云フ御話デゴザイマシタ、ソコマデ御立入りニナッテヤラレルト云フコトニナリマスルト、當業者ハ自己ノ倉庫ニ在ルノ一々檢査所ニ持込ム、斯ウ云フヤウナコトニナッテ、其失費モ多大ナモノデアル、斯ウ云フ苦情モアリマスルガ、寧ロ政府ガ檢査ヲシタト云フコトヲ、何處マデモ的確ナル責任ヲ持つタ檢査デアルト云フコトヲ證明スル上ニ於テハ、自ラ其量目ヲ計ッタノデアルバカリデハ安心ガ出來ナイト云フ位ニ重キヲ置カレルナラバ、之ヲ希望ニ依テハ無封印デモ宜シイト云フ、斯ウ云フコトト少シク矛盾シハシナイカ、斯ウ云フ御觀念ガ起ル、是ハ他國ノ例モアルカラ、先ヅ新シキ試ミデアルカラ、此無封印ト云フコトモ輸出業者、所謂當業者ノ希望ニ依テ許スト云フコトニスルノガ穩當デアラウト云フ御積リデアルカモ知レマセヌケレドモ、百尺竿頭モウ一步ヲ進メテ、何處マデモ之ヲ正確ナモノナリト云フ御信念ノ下ニ檢査ヲセラレルト云フコトナラバ、此無封印ト云フヤウナコトデハ、途中デ若シモ變改スルノ虞ガアリハシマイカト云フ御懸念ノアル以上ハ、當分ハ過渡期トシテ多少ノ不自由ハアラウケレドモ、進ン

デ其處マデ行クト云フコトニナラネバ、私ハ檢査ヲ爲サル上ニ於テ先日ノ御答ト多少矛盾スル點ガアリハシナイカト思ヒマス、此點ハ如何様ナ御所見デアリマスカ、尙ホ一應御尋致シタイ○芳賀農林技師 御答ヲ申上ゲマスガ、無封印ノモノモ檢査請求者ノ希望ニ依テ許スト云フコトハ矛盾ダト云フヤウナ御説デアリマスガ、是ハ政府ト致シマシテハ、モウ全部封印附ノモノガ海外ニモ出ルヤウニアリタイト希望致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此過渡期ニ於キマシテ、全部日本ノ絲ハ封印附ノモノダト、斯ウ云フコトニナリマスルト、向フデ最初賣込ミマシタ甲ナル人ニ賣込ンダモノガ、若シ苦情ガ付イテ引換ヲ要求サレマシタモノ、之ヲ乙ノ所ヘ持ッテ行ッテ賣リマス時分ニ、封印ガ破棄シテ居ルト云フコトカラ、直ニ是ハ苦情附キノ絲ダト、斯ウ云フ風ニ何人モ判斷スルノデアリマス、サウ云フ風ニ判斷サレタ場合ニハ賣手トシテ甚ダ困ルカラ、之ニ就テ相當考ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フ事ガ輸出業者ノ一般ノ希望デアリマス、能ク調ベテ見マスルト、外國デモ封印附ト封印セザルトハ、是ハ檢査請求者ノ自由ニナッテ居ル例モアリマスカラ、此過渡期ニ於テハ已ムヲ得ナイ、不本意ナガラ已ムヲ得ナイト、斯様ニ政府ハ考ヘテ其途ヲ開ケヤウ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ段々

此検査ノ信用ガ向フヘ高マルヤウニナリマスレバ、向フデハモウ封印附ノ物デナケレバ買ハナイト云フヤウナコトニナルカモ知レマセヌ、サウナリマスレバ、只今先ヅ内地ダ取引ニハ之ヲ實行シタイ、海外ニマデ之ヲ延長スルト云フコトハ、其處ニ相當ノ時日ヲ置クノガ宜カラウ、斯様ニ考ヘマシタ爲ニ、不徹底ノヤウニハ存ジマスケレドモ、是ハ過渡期ニ於ケル已ムヲ得ザル手段デアルト、斯様ニ政府ハ考ヘテ居ルモデアリマス、而シテ内地ダケデソレデハ正量検査ヲ嚴格ニヤツテモ意味ヲ爲サヌデハナイカ、斯様ニ仰セデアリマスガ、日本内地ダケニ於ケル取引モ公正ニナリマスレバ、ソレデ目的ノ大部分ヲ達シ得ラレル、漸ヲ逐ウテ海外ニモ及ビマスレバ、政府ノ最初考ヘテ居リマシタ目的モ達スル譯デアリマス、併ナガラ内地デモ不徹底ナ検査ニナル、是デハ如何ナモノデアリマスカ、折角正量買賣ヲ行フト云フニハ、海外ノ事ハ多少ノ時日ハ與ヘマセウガ、内地ダケノ取引ハ公正ニ致シタイト云フ考デアリマス、別段矛盾シテ居ルトハ考ヘテ居リマセヌ

○山内委員 政府委員ノ御答ニ依リマス、要スルニ理想トシテハ矢張封印ヲスルノガ相當ナリト云フ考デアル、併ナガラ過渡期デアルカラ種々ナル點ヲ考慮シテ、先ヅ此程度デヤラウト云フ御考ナリト諒承致シテ宜シウゴザイ

マスカ、サウスレバ矢張不徹底ハ不徹底ニ違ヒアリマセヌガ、ソレハ過渡期ト云フ點ニ於テハ、徹底的ノ事ヲヤラウト云フコトモ、マア其道ニ御巧者ノ御方カラ見マシタラサウ云フ嫌モアルカモ知レマセヌ、ドウシテモ是ハ理想ヲ實現サセヤウトスレバ、進ンデ矢張海外ニモ置カセナケレバナラヌト、斯ウ云フコトニナラナケレバ眞ノ理想ニハ近クナイ、斯ウ云フコトニナルノデスガ、近キ將來ニ於テ外國ノ取引ニモ検査所ヲ置クト云フ御考ハナイノデアリマス

○芳賀農林技師 詰リ是ハ信用如何ノ問題デアラウト思ヒマス、日本ノ検査所ノ精神ガ、海外デ之ヲ認メルノハ、歐羅巴ノ絲ニ對シテ歐羅巴ノ検査所ノ成績ヲ承認スル、斯ウ云フ原則ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ最終モノデハアリマセヌケレドモ、大體之ヲ認メル、但シ買手ガモウ一遍検査ヲ仕直シタイト云フ希望ガアレバ、請求者ノ費用ヲ以テ検査ヲスルコトヲ認メテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマス、日本ノ検査所モ亦然リデ、苟モ海外ニマデ正量買賣ガ延長サレルコトニナリマスレバ、日本ノ検査モ向フガ承認スル、絶對的ノモノトハ見マスマイガ、歐羅巴ノ絲モ同様ノ取扱ヲシテ吳レルモノト確信シテ居ル、サウナリマスレバ態々向フニ生絲検査所ヲ立テル必要ハナカラウ、又只今左様ナ事ハ政府ハ考ヘテ居リマセ

ヌ、若シ向フデ再検査ヲスルトスレバ、極メテ僅カナモノニ對シテ、即チ歐羅巴ノ絲ニ對シテ亞米利加ナラ亞米利加デ再検査ヲ行ッテ居ルガ、其位ノ程度ノモノデアラウト考ヘル、ソレナラバ向フニ検査所ガアッテ少シモ支障ナクヤッテ居リマス、故ニ只今ハ海外ニマデ政府ガ検査所ヲ立テヤウナドト云フコトハ、毛頭考ヘテ居リマセヌ、又其必要ナシト考ヘテ居ルノデアリマス

○山内委員 今一ツ伺ヒマス、先日來ノ新聞ニ關係致シマス事デアリマスガ、取引所ヲ一箇所ニ集メルト云フ政府ノ御方針ダ、ソレヲ當業者ガ喜バヌト云フヤウナコトモ、此輸出正量検査ノ一ツノ障壁ニナッテ居ルト云フヤウナ記事ガアッタ、此點ニ對シマシテハ別段御考慮ニナッテ居ナイノデスカ、又果シテサウ云フ事實ガアルノデスカ

○石黒政府委員 只今ノ御尋ハ横濱ニ建設セラレマスル生絲検査所ノ附屬倉庫ノ問題ニ聯關シタコトト考ヘマスガ、此倉庫ハ御承知ノ通りノ沿革ヲ以テマシテ、帝蠶會社ノ利益金ノ處分ト致シマシテ、用途ヲ指定シテ政府ニ寄附セラレマシタ百八十萬圓、ソレヲ以テ建設ヲシタモノデアリマス、ソレヲ經營ヲ致シマスル會社、ソレニ其倉庫ヲ貸下ゲマスル條件ト致シマシテ、之ガ經營ニ當ル倉庫會社ニ於テハ、ドウデ貴重ナル生絲ヲ多量ニ取扱フノデアリマスカラ、資本的ニ相當ノ信用アル

會社デナケレバナラヌ、而モ其資本的ニ信用アル會社ヲ組織スルニ付キマシテ、其資本ノ積立ノ方法、利殖ノ方法ト致シマシテ、一ツノ建物ヲ經營ヲ致シ、同時ニ此建物ニ於キマシテ、各生絲關係業者ノ店舗ヲ取引ノ便宜ノ爲ニ成ベク其建物ノ内ニ集メルト云フコトガ、外國ノ取引市場ノ事情ナドヲ參酌スルニ極メテ便宜ナ事デア

リマスガ、兎ニモ角ニモ今石黒局長カ
ラノ御説モアリマスガ、他ノ事業トハ違
ヒマシテ、中央蠶絲會ナドガ有リマシ
テ、生絲ニ關係ノアル諸君トハ最モ密
接ナ協調ガ是マデ保タレテ行キ居ッ
タニモ拘ラズ、斯ノ如キ進歩シタル御提
案ニ對シテ、其間ノ意思ノ疏通ヲ缺イ
デ居ルヤウニ見受ケマシテ、誠ニ遺憾
ニ考ヘルノデアリマス、或ル意味カラ
申シマス、今少シ政府ハ當業者其他
ノ了解ヲ得ラレルコトニ御盡力ニナ
タナラバ、斯ノ如キ反對ノ聲モ無カッ
ラウ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ洵ニ遺憾ニ思
フノデアリマス、最早私ガ問ハント欲
スルコト、且他ノ同僚カラ十分ナ御質
問ガアリマシタカラ、其邊ヲ參酌シテ、
政府ノ意ノアル所ハ殆ト分リマシタカ
ラ、是デ私ハ質問ヲ打切りマス

ガ之ヲ容レナケレバナラヌト云フコト
ニナルト、彼此レ綜合シテ千三百何十
萬圓ト云フ巨額ノ負擔ヲシナケレバナ
ラス、假ニ政府ガ言ハレルヤウニ一千
萬圓前後ノ利益ガ製絲ソレ自體ニア
タト假定シテモ、尙且三百何十萬圓ト
云フ負擔ヲ製絲家ガ致サナケレバナラ
ヌト云フコトニ付テ、其材料ヲ一々此
處デ朗讀シテ、若シ之ニ對シテ反駁セ
ラレル所ノ有力ナル材料ガアルナラバ
御示ヲ願ヒタイ、斯ウ云フコトヲ希望
致シテ置キマシタガ、議事ノ進行上
非今日之ヲ頂戴シタイト考ヘマス、其
事ヲ政府當局ニ御尋申上ゲテ置キマ
ス

○石黒政府委員 加藤サンノ御尋ノ横
濱ノ輸出商ノ團體デアアル所ノ輸出會
ガ、昨年ノ夏發表致シマシタ生絲ヲ正
量取引ニ致スコトニ基ク所ノ國家的損
失ト云フ印刷物ニ計上シタ損失ノ數字
ニ對シテ、政府ノ見ル所ハドウデア
カト云フコトニ關シマシテハ、小山次
官ヨリ其際ニ大體御答申上ゲテ居ッ
タコトト考ヘルノデアリマスガ、重ネテ
御尋デアリマスレバ、吾々ガ御答申上
ゲテモ宜シイノデアリマス、ソレカラ
尙ホ輸出商ノ聯合協議會ノ一月末ノ決
議トシテ、荷主側ノ方ニ對シテ示サレ
タル色ニナ條件——終リニ御讀上ゲニ
ナッタモノハ確カソレダト思ヒマスガ、
マダ速記録ガ參リマセヌノデ、ハッキリ
分リマセヌガ、確ニソレノヤウニ吾々ハ

利益ガアルト云フガ、斯ウ云フコトデ
ハ結局水掛論ニナッテシマフ、御互ニ水
掛論ヲヤッテ居ッテモ百年河清ヲ俟ツヤ
ウデアアル、ソレナコトニ下ラス——下
ラヌデハナイ、重要ナ事デアルケレド
モ御互ニ言合ッテ居ッテハ結局下ラスコ
トニナッテシマフカラ、ソレガ遺憾デア
ルカラ、幸ヒ輸出商ノ示シタル所ノ「バ
ンフレット」ガ御手許ニアルカラ、其間
違ッテ居ル所ヲ指摘シテ、此數字ハ斯ウ
云フ風ニナラナケレバナラヌ、是ハ
斯ウナッテ居ルケレドモ、斯ウナケレバ
ナラヌト云フコトガアルニ違ヒナイ、
一方ハ一千萬圓ノ損失ダト云フノニ、
一方ハ一千萬圓ノ利益ダト云フ、實ニ
墨ト雪ホドニ其差異ガ甚シイ、斯ウ云
フコトヲ、詰リ吾々ガ了解出來ナイ下
ニ此議案ヲ審查シタナラバ國民ハ何ト
言フ、一方ハ一千萬圓ノ利益ガアルト
言ヒ、一方ハ一千萬圓ノ損害ガアルト
言フ、斯ノ如キ霄壤ノ差ノアルモノニ
對シテ、有耶無耶ノ裡ニ審議ヲ進メル
ト云フ譯ニハ行カナイカラ、其輸出商
ノ示シタ數字ニ對シテ、明確ニ間違ッ
テ居ルナラバ間違ッテ居ルト云フコトヲ
指摘シテ貰ヒタイ、製絲家ハ三百何十
萬圓ト云フ負擔ヲセヌケレバナラヌト
言ヒ、政府ハイヤサウデハナイ、利益ヲ
受ケル、利益ヲ受ケル者ニ對シテハ手
數料ヲ課ケルノハ當然デハナイカ、斯
様ナ趣旨ヲ以テ山内君ノ質問ニ御答ニ

○加藤(知)委員 議事ノ進行ニ付テ申
上ゲマス、一昨日生絲輸出商ノ吾々ニ
示シマシタ數字、即チ正量取引ヲ現在ノ
狀態デアル以上ハ一千萬圓前後ノ損失
ガ行ク、斯ウ云フコトヲ吾々ニ示シマ
シタノデ、其事ヲ此席上デソレヲ朗讀
シテ、若シ之ニ對シテ政府當局ガ之ヲ
反駁セラレル所ノ數字ノ材料ガアル
ナラバ、一々之ヲ反駁シテ御示ヲ願ヒ
タイ、斯ウ云フコトヲ御願シテ置イタ、
今一ツハ有力ナル製絲家ガ調ベタモノ
デアリマスガ、今回正量取引ノ結果手數
料ヲ取ラレルノミナラズ、輸出商カラ
シテ提案セラレタル所ノモノヲ製絲家

分リマセヌガ、確ニソレノヤウニ吾々ハ
同ッテ居ッタノデアリマス、之ニ對シマ
シテ加藤サンハ、有力ナル製絲家ガ計
算ヲシテ見ルト斯ウナルガ、ソレニ關
シテ政府ハドウ思フカ、斯ウ云フ御尋
ノ分ニ對シテハ、小山次官カラ御答ガ
アッタヤウニ思フノデアリマス、是ハ只
今賣方、買方ノ間ニ於テ御互ニ意見ヲ
打合セテ協議ヲシテ居ルノデ、協議中
ノモノデアリマスガ故ニ、ソレニ關シ
マシテ政府ノ意見ハ何方ノ言分ガ正シ
ク、何方ノ言分ガ無理デアアルカト云フ
ヤウナコトハ、是ハ私ハ避ケタ方ガ宜
イノデハナイカト思ヒマス、斯ウ考ヘ
ルノデアリマス

○加藤(知)委員 只今ノ石黒局長ノ御
答辯ハ甚ダドウモ要領ヲ得マセヌ、私
ガアノ際ニ伺ヒマシタコトハ——或ハ
貴方ハ此處ニオキデニナラナカッタカ、
若シオキデデモ他ノ事ヲ考ヘテ、私ノ
言フコトヲ御聽キニナラナカッタノダ
ラウト考ヘル、サウ云フコトデハ甚ダ
吾々ハ満足セヌ、私ハサウ云フコトヲ
御尋シタノデハナイ、詰リ小山次官モ
芳賀君モ數字上ノ事ハ御答ニナリマシ
タケレドモ、其數字タルヤ、唯口先ダケ
デヤッタノデハ、互ニ其要領ヲ得ルコト
ガ出來マセヌ、吾々ノ言フコトハ政府
當局ハ反對、政府當局ノ仰シヤルコト
ニハ吾々ハ了解出來ナイ、假ニ吾々ガ
輸出商ノ言フコトヲ信ジテ一千萬圓ノ
損失ガ行クトスル、所ガ政府當局ノ言
ハレル所ハ、アベコベニ八百萬圓餘ノ

利益ガアルト云フガ、斯ウ云フコトデ
ハ結局水掛論ニナッテシマフ、御互ニ水
掛論ヲヤッテ居ッテモ百年河清ヲ俟ツヤ
ウデアアル、ソレナコトニ下ラス——下
ラヌデハナイ、重要ナ事デアルケレド
モ御互ニ言合ッテ居ッテハ結局下ラスコ
トニナッテシマフカラ、ソレガ遺憾デア
ルカラ、幸ヒ輸出商ノ示シタル所ノ「バ
ンフレット」ガ御手許ニアルカラ、其間
違ッテ居ル所ヲ指摘シテ、此數字ハ斯ウ
云フ風ニナラナケレバナラヌ、是ハ
斯ウナッテ居ルケレドモ、斯ウナケレバ
ナラヌト云フコトガアルニ違ヒナイ、
一方ハ一千萬圓ノ損失ダト云フノニ、
一方ハ一千萬圓ノ利益ダト云フ、實ニ
墨ト雪ホドニ其差異ガ甚シイ、斯ウ云
フコトヲ、詰リ吾々ガ了解出來ナイ下
ニ此議案ヲ審查シタナラバ國民ハ何ト
言フ、一方ハ一千萬圓ノ利益ガアルト
言ヒ、一方ハ一千萬圓ノ損害ガアルト
言フ、斯ノ如キ霄壤ノ差ノアルモノニ
對シテ、有耶無耶ノ裡ニ審議ヲ進メル
ト云フ譯ニハ行カナイカラ、其輸出商
ノ示シタ數字ニ對シテ、明確ニ間違ッ
テ居ルナラバ間違ッテ居ルト云フコトヲ
指摘シテ貰ヒタイ、製絲家ハ三百何十
萬圓ト云フ負擔ヲセヌケレバナラヌト
言ヒ、政府ハイヤサウデハナイ、利益ヲ
受ケル、利益ヲ受ケル者ニ對シテハ手
數料ヲ課ケルノハ當然デハナイカ、斯
様ナ趣旨ヲ以テ山内君ノ質問ニ御答ニ

ナッテ居ルガ、吾々ノ見ル所ト政府當局ノ見ル所トハ違ッテ居ル、故ニ唯口先ダケデハイケマセヌカラ、私ノ朗讀致シマシタ所ノ數字ニ間違ッタ所ガアルナラバ間違ッタデ宜シイ、ソレニ對シテ十分御訂正ニナッテ御答願ヒタイト云フコトヲ希望シタノデ、ドウカソレニ付テ御答ヲ願ヒタイ、私ハ此開會劈頭ニ於テ伺ッタノデアルカラ、本日ハ之ヲ御示ニナルコトト思ッテ居ッタガ——吾々ノ言フコトヲ何ト思ッテ居ルカ、私ハ實ニ其冷淡ナルニハ驚カザルヲ得ヌ、ドウカソレニ付テ明確ナル御答辯ヲ得タイ

○小山政府委員 只今石黒政府委員カラ申上ゲマシタ點ニ付テ重ネテ御話ガアリマシタガ、是ハ前會ノ委員會ニ加藤君ガ、所謂輸出會ナルモノカラ發表致シテ居リマシタ數字ニ付テ段々御話ガアッテ、所謂日本ニ於テ生ズル損失、其中ニハ斯ク々々デアル、米國ニ於テノ損失、其中ニハ斯ク々々デアルト云フコトニ付テハ、私ヨリ大要申上ゲタ積リデアリマス、是ハ何モ統計ノヤウナムヅカシイモノデヤナイノデ、輸出商ノ方デハ所謂八百萬圓若クハ千萬圓、或ハ千萬圓強ト云フモノハ損デアルト言フ、私共ハサウハ思ハナイ、寧ロアベコベニ八百萬圓、一千萬圓位利益ガアラウ、斯ウ云フコトヲ一々申上ゲタ、而モソレハエライムヅカシイ數字デハアリマセヌ、御尋ノ數點ノコトデ

アリマス、ソレデアリマスカラ、何モ調査シテ差上ゲルト云フコトハ、手數ヲ惜ンデ居ル譯デモナシ、又其事ガ出來ナイカラト言ッテ申上ゲナイ譯デモナイ、最後ニ不深切ダト云フ御話デアリマスガ、是ハ先刻私ハ申上ゲタ、御尋ガレバ十分ニ申上ゲル、ドウゾ十分ノ御審議ヲ願ヒタイ、御尋ノ點ハ如何様ニモ申上ゲマスカラ、斯ウ私ハ劈頭ニ山内君ノ御質問ノ場合ニ申上ゲテ置イタノデアリマス、デアリマスカラ先刻來申上ゲタ所デ、尙ホ御諒解ガ出來ヌト云フコトデアリマスカラ、重ネテ其要點ダケヲ御述べ下サイマスカレバ、私ナリ他ノ政府委員ナリ、若クハ説明員ナリヲ以テマシテ御説明申上ゲマス、決シテ之ヲ避ケル譯デアリマセヌ、御尋下サルナラバ、エライムヅカシイ事デハナイノデアリマスカラ御答申上ゲマス

○加藤(知)委員 洵ニ御懇切ナ御言葉有難ク御請ケヲ致シマスガ、サウ云フムヅカシイ事デナカッタラバ、ドウカ一ツ只今——數字ハ先刻申上ゲルヤウニ、唯私ガ尋ネル、御答下サルト云フダケデハ間違ッテ生ジ易イ、デアリマスカラシテ書イタ物ガ一番明カデアル、斯ルガ故ニドウゾサウムヅカシクナイモノデアリマシタナラバ、其御手數ヲ御厭ヒ下サラヌ、御深切ナ御言葉ニ甘シジテ申上ゲル譯デハナイノデアリマスカラ、是ハ私ノミデハナイ、皆サウデア

ラウト思フ、數字ノコトハ唯一ニ一ヲ足シテ二ニナルト云フヤウナ、單純ナコトハ能ク頭ニ這入リマスガ、斯ウ云フムヅカシイモノハドウモ頭ニ這入リ惡イト思ヒマス、デアリマスカラ御手數序デニ書イテ御示シテ願ヒタイ、唯口先デ吾々ハ八百萬圓儲カルト思フ、オ前達ハ損スルト言ッテモ、吾々ハサウ信ジナイト言ッタ所ガ、國民ハ満足シマセヌ、數字ヲチャント御示シ下サッテ、吾々ハ其數字ヲ拜見シテ、サウシテ輸出商ノ示シタモノハ全ク間違ッテ居ル、是ナラバ利益スル、又製絲家ノ示シタモノハ間違ッテ居ル、斯ウ頗ル手輕ク仰シタルケレドモ、唯口先デ意見ヲ闘ハシテ居ッタノデハ、ドレダケ國民ニ迷惑ヲ與ヘルカ分ラヌ、是ハ極メテ重要ナ問題デアリマス、數字ハ左様ナ意味ニ於テ、私ハ口先ノミデ要求スルノデハナイノデアリマスカラ、ドウカ之ヲ紙ノ上ニ御示シ下サイマシテ、的確ニ吾々ニ御示シアラムコトヲ希望致シマス

○小山政府委員 重ネテノ御話デアリマス、何デモナイ事デス、デアリマスカラ、斯ウヤッテ御互ニ其事ノ意見ヲ交換シテ居ル間ニモ出來ル程容易ナ事デアリマス、私ハ寧ロ御尋下スッテ、其事ヲ御答へ申上ゲレバ、速記録ニモ明確ニ出マスカラ、國民ニ明ニシタイト云フコトナラバ、其方ガ宜カラウト思ヒマス、唯數字ヲ御示シスルト云フコトニナリ

マス、委員長ノ許可ヲ得テ速記録ニモ掲載スルト云フコトニセネバ遺ラヌノデアリマスカラ、却テ面倒デヤナイカト思ヒマス、一問一答ト云フコトニシテ、御尋ガアレバ御答スルト云フコトニ致シマスレバ、ソレヲ速記者ハ殘ラズ明記スルノデアリマスカラ、其方ガ宜クハナイカト思ヒマス、併ナガラドウデモ書イタモノガ便宜ダト云フコトデアリマスカラ、ソレハドウデモ宜シウゴザイマスカラ書イテ差上ゲマス、但シ只今製絲家云々ト云フコトデアリマスガ、製絲家云々ト云フコトハドウ云フコトデアルカ、數字ノコトハ製絲家ノ方ニハ餘リナイ、貴方ノ御尋ノ數字ト云フノハ、輸出會カラ「パンフレット」デ出シマシタモノノ數點ニ數字ガアルノデ、其點ガ絲目ガドウデアル、金利ガドウデアアル、或ハ運搬ニ付テノ損ガドウデアアル、米國ニ於テノ損失ガドウデアアル、斯ウ云フヤウナ事ハアリマスケレドモ、製絲家ノ方カラシテ是レ々々ノ損失ガアル、製絲家ニ斯ク斯クノ損失ガアルト云フ數字ハ、輸出會カラ出シマシタモノニハ、御舉ゲニナリマシタヤウナ明確ナモノハナイカト思ヒマス、而シテ私共ノ手許ニアリマセヌ、デゴザイマスカラ、輸出會ノ方ニ付テノコトデアリマスカラ、今此處デモ出來マスカラ拵ヘテ差上ゲマス

○加藤(知)委員 私ハ此間輸出商ノコトヲ讀ミマシテ、サウシテ更ニ有力ナ

ル製絲家ノ調査ノ數字ガ此處ニアリマ
スト云フコトヲ、一々私ハ此處デ朗讀
ヲ致シマシタ、ソレヲ小山次官ハモウ
御忘レニナツタカ……

○小山政府委員 聽イテ居リマス

○加藤(知)委員 ソレナラバ私ハ之ニ
就テ御答辯ヲ戴キタイ、互ニ口先デ數
字上ノコトヲ言ッテ居ッテハ間違ガアル
ト思ヒマスカラ、紙ニ書イテ御示シラ
願ヒタイト云フコトヲ希望致シマス

○小山政府委員 私ノ手許ニアリマセ
ヌカラ、御答スルニハ基礎ガナケレバ

ナリマセヌカラ、ソレヲ拜借致シマス
○加藤(知)委員 無論御入用トアレバ
之ヲ差上ゲマス、之ニ依テ御答辯ヲ願
ヒタイ

○村上委員 議事ノ進行ニ付テ——只
今先日ノ加藤君ノ要求ニ對シテ答辯ガ

ナイト云フコトデ問題ガアリマシタ
ガ、段々伺ッテ見マスノニ、畢竟是ハ當
日ノ速記録ガアレバ、ソレニ依テ答辯
ガ出來テ居ルカ出來テ居ラヌカモ分
ル、又出來テ居ナケレバ、ドンナ點ガ出

來テ居ナイカト云フコトモ明瞭スル事
柄デアルト思ヒマス、ソレト相關聯シ

マシテ、此輸出生絲検査法案ノ委員會
ノ速記録ト云フモノハ、今日マデ一ツ
モ廻ッテ來テ居ラヌ、吾々モ今日マデノ

質問應答ニ關シテソレハ調査ラシタ
イト思ヒマスケレドモ、其速記録ガナ
イガ爲ニ如何トモスルコトガ出來ナイ
状態ニアルノデアリマス、故ニ是ハ委

員長ノ方カラ速ニ此速記録ガ廻ッテ來
ルヤウニ、ドウカ適當ナル御取扱ヲ願
ヒタイト思ヒマス、サウシテソレガ廻
ツテ來レバ、只今ノ質問ノ如キ、立所ニ

私ハ明瞭スルコトデアラウト思フ、別

ニ更ニ問答ヲ重ネテ、書イタ物ヲ出ス
トカ出サヌトカ、口先ダケノ云々ト云
フコトハ、一時ニ消滅シテシマフ事柄
ノヤウニ思ヒマスカラ、ドウカ委員長
カラ右ノ點適當ニ御取扱ノ程ヲ願ッテ

置キマス

○折原委員長 諒承致シマシタ、第一
回分ダケシカ來テ居ナイノデ、私モ實
ハ困ッテ居ルノデアリマス、併シ外ノ方
ト較ベテ、必シモ私ノ方バカリガ遅イ
ノデモナイノデアリマスカラ、是ハ適

當ニ取扱ッテ置キマス

○若尾委員 私ハ同僚ノ質問應答ノ中
ニ、マダ其用語ノ意味ガ曖昧トシテ、極
ク的確ナコトガ分ラヌヤウニ思ヒマス
ノデ、當局ニ於テ一俵ト稱スルノハ何
ヲ意味シテ居ルノデアアルカ、此點ニ付
テ御答ヲ願ヒタイ

○芳賀農林技師 只今ノ一俵ハ何斤カ
ト云フノデアリマス

○若尾委員 サウデハアリマセヌ、一
俵ト云フ用語ハ何ヲ意味シテ居ルノカ
ト言フノデアリマス

○芳賀農林技師 是ハ輸出俵ヲ意味ス
ルノデアリマス、輸出俵トシテ扱ハレ
マス、百斤單位ノ物ヲ申スノデアリマ
ス

○若尾委員 洋俵ト申シマス、然ラ
バ普通橫濱市場ニ於テ扱ハレマス所ノ
洋俵ト稱スル物ヲ一俵ナリト心得テ宜
シイノデアリマス

○芳賀農林技師 左様デアリマス

○若尾委員 此法案ニ付テ見マス、
輸出ノ生絲ニ對シテ此正量検査ニ付テ
ノ手数料ヲ取ルヤウニナッテ居リマス
ガ、現在橫濱ニ於ケル生絲ノ賣買取引
ト云フモノハ洋俵ヲ以テヤッテ居リマ
セヌ、製絲家カラ來ルノハ正九貫目ノ

小造リニナッテ居リマシテ、之ヲ輸出商
ニ持込ミマシテ賣買シタ上デ、輸出商
ニ於テハ買取ヲ致シマシテ、輸出スル
モノガ初メテ洋俵ガ現ハレルノデア
リマス、尙ホ此洋俵トシテ造ルモノハ、
蓋シ直輸出ニナルモノデアルト思ヒマ

スガ、斯様ナ取引上正量検査ヲ爲サナ
ケレバナラナイモノニ付テ、何レノ時
期ニ於テ此正量ノ検査ヲ爲サレルカ、
其事ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ

○膳農林書記官 只今ノ御質問ニ御答
申上ゲマスガ、生絲ノ検査ノ時期ハ、賣
買取引ヲ致シマス絲ニ付テハ——詰リ

法律ノ第二條ノ適用ヲ受ケマスニ付テ
ハ、双方ノ間ニ受渡ガ確定致シマシテ、
洋俵造リニ造リ得ルヤウナ状態ニナリ
マシタ際ニ検査ヲ受ケシメル積リデア
リマス、其事ハ過日御手許ニ差上ゲマ
シタ施行規則案ノ要項トシテ、腹案的
ノモノヲ御目ニ掛ケマシタ中ニモ載セ
テアリマス

○若尾委員 只今ノ御答辯ニ依リマス
ト、買入ガ買ッタ時ニヤルノデアルト云
フ御話デスガ、サウシマス、此正量檢
査ノ検査ヲ受クベキ検査ノ請求人ハ誰
ニナリマス、此點ヲ御答辯願ヒタ
イ

○芳賀農林技師 検査ノ請求者ハ無論
輸出商デアリマス、併ナガラ検査ヲ要
求スル際ニハ——賣買ヲスルニハ最
初手合ヲシテ、幾ラデドウ云フモノヲ
何斤買フ、是ガ手合せ、ソレカラ商館ニ
引込ミマシテ、検査ノ上デ惡イモノハ

除外ヲシテ、良イモノダケヲ取ッテ之ヲ
合格品トスルノデアリマス、即チ惡イ
モノハ破棄シテ、良イモノダケヲ取ッテ
合格品トシテ買手ガ認メタモノデ、ソ
レハマダ目方ハ量ッテ居ラヌガ、他ノ品

質上ノ検査ハ濟ンダモノデアリマス、
其時期ニ検査所ニ出シテ正量検査ヲ請
求スルノデアリマス、斯ウ云フ順序ニ
ナッテ居リマス、正量検査ノ請求ハ輸出
商カラ請求ガアルト考ヘテ居ルノデア
リマス

○若尾委員 前回委員會ニ於テ、政府
當局ハ手数料ハ請求者ヨリ徴收サレル
ト云フ御言明ガアリマシタカ、只今

政府委員ノ御答ニ依テ、輸出商ガ手數
料ヲ拂フモノト承知シテ宜シウゴザイ
マス
○小山政府委員 私ハ前回ニ請求者ヨ
リ手数料ヲ徴收スルモノデアアル、斯ウ
申上ゲタノハ其通りデアリマス、故ニ

ソレガ輸出商デアラウト、問屋デアラウト——只今ノハ現在横濱ニ於ケル手合、及取引ノ状態ハドウカト云フ御尋ノヤウデアリマシタカラ、検査所長ガ斯ウ御答申上ゲタノデアリマスガ、將來此法案ガ實施サレテ、而シテ其場合ニ於ケル手數料ハ何人カラ取ルカト云フ、斯ウ云フ御尋デアリマシタガ、ソレハ申請者カラ取ルト申上ゲタノデアリマス、今ノ検査所長ノハ現在ノ状態ヲ御答シタト思ヒマスガ、私ノ御答ハ右申上ゲマシタ通り、ソレガ問屋デアラウト、輸出商デアラウト、製絲家デアラウト、申請者カラ取ルト云フコトヲ御答シタノデアリマス

○若尾委員 政府當局ヨリ取引所ニ付テノ御答辯ヲ伺ヒマスルト、手合ガ出來テ引渡ヲスル時ニ正量ノ検査ヲスル、品質等ガ悉ク定ッタ上デ正量ノ検査ヲスルト云フ御話デアリマスガ、正量ノ検査ヲシタ結果——「デニール」等デ検査ヲシタ結果、破綻ヲ誘致スルヤウナ憂ガアルカナイカ、此點ヲ承リタイ

○芳賀農林技師 正量検査ノ爲ニ「デニール」ノ變化ヲ生ズルコトハナイト思ヒマス、殊ニ今回ハドウ決メルカ分リマセヌガ、今マデハ水分検査ニ供用致シマシタ絲ハ、其俵ノ中ヘ封入シテ返シテ居リマシタガ、蓋シ大部分ハ其儘外國ニ行ッテ居ルダラウト思ヒマス、其絲ハ元來一割一分、或ハ一割一分七厘ト云フガ如キ水分ヲ含ンデ居ッタ絲ガ、一旦無水量ニマデ乾カサレタ絲デアリガ爲ニ、其際直ニ量リマシレバ乾燥前十四「デニール」デアッタモノモ十四「デニール」以下ニ現ハレマス、乾燥ニ供用サレタモノガ、其部分ダケヲ直ニ量ッたら「デニール」ハ細目ニ出ルノデアリマス、併ナガラ段々時ヲ經ルニ從ッテ適當ナ水分ヲ吸收シテ、元ノ「デニール」ト大差ナイモノニナリマス、併シ今同ハ検査ニ供用致シマシタ生絲ハ、是ハ賣人ノ方ヘ戻シ、ソレヲ買人ノ方デハ引受ケヌト云フ申出デアリマシタガ、ソレヲ賣人側ノ方デモ了解シテ異議ガナイト云フコトヲ、賣買兩者間ニ了解サレテ居リマシタカラ、正量賣買ニナリマシテモ、「デニール」ニ變化ヲ起スヤウナコトハナイト御承知下サッテ間違ナイト思ヒマス

○若尾委員 生絲検査所ニ於テ検査スル空絲ハドウ云フコトニナリマスカ、検査所ニ收入サレマスカ

○芳賀農林技師 生絲検査所ノ規定ニ於テハ、検査請求ノ生絲ニ對シマシテ検査ヲ施スニハ、先ヅ之ヲ繰返サナケレバナリマセヌガ、繰返シマスルニハ一分間百回、一時間繰返シテ其絲ヲ總テノ検査ノ材料ニ供用致シマス、殘ッタモノハ全部舊ノ通り捻ニシテ請求者ニ戻スコトニナリマス、但シ「コロ」ニ一時間巻取ッタ糸ハ返サヌコトニナッテ居リマス

○若尾委員 此法案ガ通過シテ、検査ノ結果「コロ」ニ巻取ッタ絲ノ量目ハ、ドノ位ニナル見込デアリマスカ、尙ホ之ヲ金ニ換算シテドノ位ノ收入ニナリマスカ

○芳賀農林技師 正量検査ノ爲ノ政府ノ收入ハ何モアリマセヌ、是ハ品位ノ検査デ、正量検査ノ爲ニハ、今ノヤウナ絲ハ政府ノ收入ニナルモノハ些カモゴザイマセヌ

○若尾委員 然ラバ只今生絲検査所ニ於テ一般ヨリ收入致シマスル正量検査デナクテモ宜ウゴザイマス、生絲検査所ニ於テ取扱フ所ノ糸ノ量目、及金ニ換ヘテドノ位ニナリマスカ

○芳賀農林技師 量目ハ一寸調ベマセヌト此處デ御答出來マセヌガ、是迄ノ金額ハ約六萬圓カラ七萬圓バカリノト記憶致シテ居リマス、是ガ即チ政府ノ雜收入デアリマス

○若尾委員 只今前質問者カラ問題ニナリマシタヤウニ一方ニ於テハ國ノ利益ニナル、即チ正量検査ヲ行フナラバ八百萬圓乃至一千萬圓ノ收入ニナル、又輸出業者ノ方カラ言ヘバ八百萬圓乃至一千萬圓ノ損ニナル、斯様ナ正量検査ニ依テ損ニナッタリ得ニナッタリスルト云フコトハ、見様ニ依ルト水掛論ニナリマスガ、當局デハ之ヲ爲スト利益ニナルト言ハレテ居ルガ、八百萬圓乃至一千萬圓、此一千萬圓ニ垂々トスルモノガ、今マデ消エテ居ッタ、ソレガ國ノ

收益ニナルトシタナラバ、之ヲ取扱フ蠶絲業者ト云フ者ハ自然ニ一千萬圓ダケノモノヲ取扱フデアラウト思フ、之ニ就テ營業稅或ハ所得稅ガドノ位國ノ收入ニナリマスカ、其點ニ付テ御答ヲ願ヒタイ

○小山政府委員 今ノ御尋ハドウ云フコトデアリマスカ(若尾委員「分ラナケレバモウ一度申シマセウ」ト呼フ)私ハ御尋ノ點ハ斯ウデハナイカト思フ所ヲ一ツ申上ゲテ見テ、若シ御不満足デアッタラモウ一度御話願ヒタイト思ヒマス、私ハ斯ウ思フノデス、今損デアルトカ得デアルトカ云フノハ、日本ノ生絲ガ段々品質ガ良クナッテ來テ、今デハ亞米利加ニ於テ認メラレタル水分ヨリモ其實質ガ良クナッテ來テ居ル、而シテ其歩合ノ差ガ途中デ消エテ居ル、即チソレガ何處デ消エテ居ルカ、ソレガ明カニナレバ國家的ニ得ニナル、其消エテ居ルノハ何處カト言ヘバ、手ッ取早ク申セバ、今マデ水ヲ生絲トシテ賣買取引ヲシテ居ッタト云フコトガ、ソレガ損失デハナイカ、斯ウ私ハ解釋スル、其意味デ先日來ノ御答ニモ申上ゲテ置イタ、ソレデアリマスカラ、是ハ實ハ速記録ナドニハ書キタクナイ、延テハ國家的信用ニ拘ハルカラ、國際信用ノ事ニナリマスカラ……(若尾委員「ソレハ絲ノ性質デスカラ構ヒマセヌ」ト呼フ)私ハ斯ウ云フコトハ、日本ノ生絲ノ海外ニ於ケル信用ノ上ニ、今マデ水ヲ取ルト云フ

コトハ……

〔此時發言スル者多シ〕

○折原委員長 ドウゾ御静ニ説明ヲ聽イテ下サイ

○小山政府委員 私ハ斯ウ云フコトハ速記録ニ留メタクナイノデアリマスガ、私ハサウ云フ氣分デ申上ゲタノデアル、ソレデアリマスカラ、今ノ御尋ハ斯ウデハナイカト思フ、即チ水ヲ生絲トシテ賣ッテ居ッタ所ノ所得ガ若シアリトスルナラバ、其所得ハ營業稅ナリ所得稅トナッテ、ドノ位ニナルカト云フコトノヤウデアリマス、(若尾委員「ソレハ間違デス」ト呼フ)一寸御待チナサイ

若シサウ云フコトデアリマスレバ、是ハ大藏當局ト打合セテ見ナイト分リマセヌガ……

○若尾委員 只今政府御當局カラ水ヲ賣買スルト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ水デハアリマセヌ、今現ニ我國ノ生絲ガ取引サレテ居ルノハ、此絲ハ水分ガドノ位アルトカ、アノ絲ハドノ位ノ水分ガアルト云フヤウナコトハ、賣買スル兩者間デ絲其モノニ付テ了解ノ上デ取引サレテ居リマスカラ、水ガドウ斯ウト云フコトハ問題ニハナリマセヌ、即チ或ル絲ヲ賣買スルノニ、例ヘバズット前ノ質問者ノ御話ノ中ニ、製絲家トシテハ今ノ御當局ノ御答辯、若クハ御解釋ノヤウニ、水ヲ賣ッテ其水ガ正量ニナルカラ損デハナイト云フヤウナ御話モアリマシタガ、御當局ノ方デハ水ト

ハ限ラヌ、總テノ事ニ於テ八百萬圓乃至一千萬圓ノ國ノ得ニナル、斯ウ云フ御趣意ニ拜聽シテ居ル、若シ水ガ八百萬圓アルナラ、正量検査デ公正ナル取引ヲスルナラバ——此公正ト云フ言葉ハ當ッテ居ラナイカモ知レナイガ、假ニ公正ナル取引ヲスルナラバ、誰モ得ヲスル者ハナイ、八百萬圓若クハ一千萬圓ト云フモノハ、此正量ニ依テ減失シテシマフ、是ハ誰ガ得ニナル損ニナルト云フモノデハナイ、先刻此委員會ニ於テ御當局ガ御漏シニナッタ、所謂輸出商ニ於テ其込金ヲドウススルト云フ御話ガアリマシタガ、此込金ハ費用ヲ意味スルモノデアアル、ソレガ此度我國ニ止マルコトニ依テ、八百萬圓乃至一千萬圓ヲ取扱フニ付テ、即チ此價格ヲ基礎トセル國ノ、諸稅ノ收入ハドウナルカ、斯ウ云フコトヲ聞クノデアリマヌ

○折原委員長 若尾君一寸——只今ノ御話デスガ、ドウモ政府委員ノ方ガ分ラナイサウデ、サウ云フ御話デシタラ、大藏省ト打合セテ御答願フ方ガ宜イト思ヒマス、ドウカ其趣旨ノ書イタモノデモ下サッタラ都合ガ宜イト思ヒマヌ

○若尾委員 イヤ書カナクテモ速記録ニアルカラソレヲ見テ戴ケバ宜イ——ソレナラモウ一度申上ゲマセウ、此度正量検査ヲスルガ爲ニ八百萬圓一千萬圓ノモノガ浮イテ來ル、ソレガ國ニ止

マルコトニナル、過日サウ云フ意味ノ御答辯ヲ得テ居リマス、即チ八百萬圓乃至一千萬圓ニ其金額ガ上ルノデアアルカラ、之ニ對シテ國ガ——其金額ヲ基礎トシテ徵稅スル高ハ凡ソドノ位ニナルダラウカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○折原委員長 八百萬圓程ヲ得スルト云フコトハ、外國ガ得スルカ、日本ガ得スルノデアアルカ、日本國內ニ於テ得シテ、外國デハ得シナイト云フノデアリマスカ

○若尾委員 正重検査ヲスレバ我國ノ利得ニナルノダト云フコトヲ、政府ガ申シテ居ルノデアリマス

○折原委員長 若シ検査ヲシナケレバ、外國ガ得シテ居ルト云フコトニナルノデアリマスカ

○若尾委員 正量検査ヲスレバ我國ノ得ニナルト云フコトデアリマスノデ、然ラバ我國ガ得スル八百萬圓乃至一千萬圓ノ、此金ヲ基礎トスル徵稅ノ高ハ幾ラニナルノデアアルカト云フコトヲ政府ニ伺ヒタイノデアリマス

○芳賀農林技師 申上ゲル言葉ガ或ハ徹底シナカッタカモ知レマセヌガ、水分關係カラ、或ハ空氣ノ關係カラシテ、相當ノ金額ガ製絲家ニ不利ニナッテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、此不利ハ一體日本ト外國トノ關係デアアルカ、又ハ内地自身ダケノ關係デアアルカト申シマス、先ヅ全部トハ申上ゲ

マセヌケレドモ、大部分ハ賣手ト買手、即チ製絲家ト輸出商トノ間ノ損益計算ニナルノデアアル、此前モ申上ゲマシタ通り、輸出商ハソレダケノ旨味ヲ全部自分ノ懷ニ入レルコトハシナイ、幾分カソレハ商賈ノ事デアアルカラ、海外ニ行ッテモ盛ヲ宜クシテ賣ルトカ、何トカ云フコトハアルダラウ、併ナガラ現ニ水分ノ關係ト空氣ノ關係カラハ、製絲家ガ直接不利ヲ見テ居ルコトハ斯ク斯クノ數量ニナルト、斯様ニ申上ゲタノデアリマス、然ラバ其關係ハ全部ガ日本内ノ賣手ト買手ト止マルカト申スト、其中ニハ幾分ハ外國ニモ利益ヲ與ヘテ居ルカモ知レヌガ、大部分ハ日本内地ノ買手ノ利益デアアル、今マデニ於テ其利益ガ無イト云フナラバ、アアシツコク正量賣買ニ輸出商ガ反對スル譯ガナイノデアリマヌ

○高木委員 曾テノ政府委員ノ答辯ハ只今ノ御答辯ノ如クデアッタト、大體私モ承知致シテ居リマスガ、只今若尾君ノ御質問ニ對スル政府委員ノ答辯ヲ聽イテ居ッテモ、吾々ハ十分徹底シナイデ、靴ノ下カラ足ヲ搔イテ居ルヤウナ感ガシマスノデ、先般小山次官ハ加藤君ノ質問ニ對シテ、若シ正量検査ヲシタナラバ八百萬圓乃至一千萬圓足ラズノ利益ガアルト云フコトヲ申シテ居ル、然ラバ小山次官ハ何ニ依テ斯様ナル利益ガアルカト云フコトヲ具體的ニ御答辯ニナッタナラバ、一面ニ於テハ加

藤君ニ對スル御答辯ニモナルシ、又若尾君ノ御質問ニ對シテモ明確ニ御答辯ガ出來ルノデヤナイカト思フ、サレバ此八百萬圓乃至一千萬圓ノ利益ハ、如何ナル算盤ニ依テ出タカト云フコトヲ御説明ヲ願ヘバ、隨テ此議事ハ進行出來ルト思ヒマス

○小山政府委員 ソレハ先刻加藤君カラノ御要求ニ依リマシテ、此方カラ取調ベテ書類ニシテ申上ゲルト云フコトニ依テ解決スルト思ヒマスカラ、ソレニ依テ御覽ヲ願ヒマス

○若尾委員 只今ノ政府委員ノ御答辯ヲ以テ、私ノ質問ノ意味ヲ明ニスルニ十分デアリマス、輸出商ト云フ者ノ手ニ八百萬圓程ノ金ガ渡ツテ、ソレニ對シテハ營業稅等ハ納メテ居ラナイノデ、其賣買ハ東京デヤラウト、或ハ横濱、神戸デヤラウト、又ハ紐育デシヤウト、ソレハ問題デヤアリマセヌ、即チ八百萬圓乃至一千萬圓ノ課稅ノ基礎トナラナカッタモノガ、今度ハ課稅ノ目的ニナリ得ルノデアアル、所得稅若クハ營業稅、其他ノ課稅ノ基礎ニナルノデアアル、今マデハソレガ課稅スルコトノ出來ナイ者ノ手ニ渡ツテ居ッタガ、今度ハ課稅ノ中ニ這入ルノデ、ソレニ對シテ國家ガ課稅シテ得ル其稅額ハ幾ラニナルダラウカト云フコトヲ質問シテ居ルノデアリマス、即チ其八百萬圓乃至一千萬圓ノ居所ニ依ッテ國ノ諸種ノ機關ノ關係ガ變ッテ來ルノデ、此意味ニ於テ只今政

府當局ガ御答辯ガ出來ナイナラバ、能ク大藏省ト打合セテ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、尙ホ此際委員長ニ御願シマスガ、只今ハ大體質問デアリマシマス、是ガ終リマスト逐條質問ニ移ルサウデアリマスカラ、私ハ此質問ヲ留保シテ置キマス

○折原委員長 貴方ノ質問ハマダ終ラナイノデアリマシマス

○若尾委員 私人ノ大體質問ハ午後ニ至ッテ繼續致シマスガ、大體質問ノ終タ後ニ、委員諸君ノ逐條ノ質問ガアリマスカラ、其點ヲ御承知ヲ願ヒマス

○折原委員長 ソレデハ午後一時二十分カラ開キマスカラ、ドウカ遅刻ナク御出席ヲ願ヒマス、是デ休憩致シマス

午後零時十七分休憩

午後一時二十七分開議

○折原委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス——若尾サン

○若尾委員 先程御問シマシタ中ニ、マダ御答辯ガ無イ點ガゴザイマス、要ハ當局デハ輸出稅ヲ御課シニナル御考ガアルカドウカト云フノデアリマシマス、其點ノ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小山政府委員 只今御尋ノ點ニ付キマシテハ、當局トシテハ只今ノ所、之ニ對シテ詮議ヲ致シテ居ル譯デモゴザイマセヌガ、事ハ大藏省所管ノ方ニ關スルコトデアリマスカラ、稅ノ點ニ付テハ大藏當局ノ意見モアルコトト思ヒマ

スガ、只今兩者間ニ於テ左様ナ點ニ付テ打合ヲ了シテハ居リマセヌ

○若尾委員 過日來大臣カラシテ荷掛金ト云フコトヲ屢言ハレテ居リマシマス、此荷掛金ト云フモノハ、昔アリマシタ看實料ト云フモノガ、今日マデ傳ッテ居ル所ノ荷掛金ト云フモノデアリマシカドウカ、ソレヲ御同致シマス

○小山政府委員 是ハ屢引合ニ出マスコトデアリマシマスガ、私ノ諒解シテ居ル所ニ依リマシマス、荷掛金トハ只今御話ノヤウニ、元看實料ト稱シテ横濱開港當時、我國ノ商人ガ生絲ヲ外國商館ニ賣込シテ看實ヲ受ケル、其場合ニ其外國商人ガ使用致シテ居リマシタ支那人若クハ其他ノ使用人ハ所謂一種ノ袖ノ下ト云フヤウナモノヲ送ツテ、サウシテ其取引ニ便セントシタト云フ弊風ガアツタノデアリマス、是ハ私ハ斯ウ云フヤウナ御質問ガナケレバ御答セヌ積リデ居ッタ、又我國ノ横濱開港當時ノ弊風ガ餘リ公ケニナルノモドウカト思ッ

テ居リマシタノデ、前回ニ濱氣分ト申スカ、濱氣風ト申スカ、斯ウ申シテ置キマシタガ、只今ノ御質問デ私ノ諒解シテ居ル所デハ、右ノヤウニ承知シテ居リマス、自然是ガ尙ホ現存シテ居ル、所謂元ノ看實料、之ヲ荷掛金ト云ッテ居ルノデアアル、斯ウ思ッテ居リマス

○若尾委員 吾ミハ荷掛リト稱シテ居ルノデアリマシマスガ、其モノデアラナラバ、ソレニ付テ私ハ歴史的ニ此問題ニ付テ深イ關係ノアル所ヲ述ベテ見タイト思ヒマスガ、此看實料ト云フモノガ或ル時代ニ於テ廢サレルト云フ議ガ起ッタノデアリマシマスガ、生絲ノ賣買ヲ容易ナラシムル爲ニハ、却テ之ヲ廢サナイ方ガ宜イト云フノデ、今度荷掛金ト云フコトニナッテ現在行ハレテ居ルノデアリマス、ソレハ只今御當局ノヤウニ濱取引ノ弊風デアルト言ヘバ弊風デアリマス、併シ之ヲ廢セントシテ廢シ得ナカッタノハ何カ、數十年來ノ商習慣ノ然ラシムル所デアリマシマス、今度ノ正量取引ト云フコトハ長年營業者ノ望ム所デアリマシマスガ、其正量取引ヲヤルガ爲ニ、製絲家ノ側カラ行クト八百萬圓ノ損失ニナリ、又輸出者ノ方カラ云フト千萬圓近クノ損ニナルカラ、込金ヲ何トカシテ吳レト云フコトニナル、正量取引ヲ行フ爲ニ一方ニハ八百萬圓、一方ハ一千萬圓ト云フ損ヲスルト云フコトニナッテ居リマシマス、而シテ利益ヲスル者ハドウカト云フト、詰リ國ニ八百萬圓乃至一千萬圓ノ課稅元素ニナルト云フコトニナル、午前ノ質問ニ政府ハ課稅標準ニ對シテ、ドレダケノ收稅ガアルカト云フコトヲ質問シタノデアリマスガ、是ハ後段ニ御答ガアラウト思ヒマス、即チ正量取引ニ依テ製絲家ハ八百萬圓、輸出者ハ一千萬圓失フト云ッテ居リマス、サウシテ國デハ八百萬圓乃至一千萬圓ノ課稅素ヲ得ルコトニナル、正量取引ニ依テ利益スル者ハ國其

モノヨリ外ハナイト云フ結果ニナリマ
スガ、此手數料ヲ取ルト云フコトハ誰
カラ手數料ヲ取ルカ、吾々ノ方カラ云
フト國ガ八百萬圓乃至一千萬圓ノ課稅
素ヲ得ルノデアリマスカラ、國ガ負擔
シテ宜カラウト思ヒマスカ、此點ニ付
テノ御考ハドウデアリマスカ

○膳農林書記官 午前ノ御質疑ノ點デ
アリマスカ、結局正量取引實施ニ基
テ、其所ニ八百萬圓ナリ一千萬圓ナリ
ノ利益ガ上リマスカラ、其利益ガド
ウ云フ風ナ程度ニ於テ課稅ノ標準トナ
リ、利益ト看做サレルモノトナルカト
云フ點ノ御質問デアリマスカ……

○若尾委員 一寸補足シテ置キマス
ガ、詰リ課稅素ニ依テ何程ノ稅ヲ國ガ
取り得ルカト云フ所マデ伺ヒタイノデ
アリマス

○膳農林書記官 ソレニ基キ幾何ノ租
稅ガ國家トシテ取り得ルカト云フコト
デアリマスカ、色々研究シテ見マシタ
ケレドモ、幾ラ取り得ルカト云フコト
ハ、全ク計算ガ出來ナイト云フコトガ
結論ナノデアリマス、ト云フノハ假ニ
是ガ製絲家ノ利益ト云フコトニ標準ヲ
置イテ考ヘテ見マスカ、現在ニ於テ
製絲家ニ對スル課稅ハ、若シ是ガ營業
上ノ利益ト致シマシテモ、營業稅ハ資
本金額ニ依テ課稅ノ標準ヲ立テ、又
之ヲ所得稅ノ方面カラ見マシテモ、所
得稅ハ課稅ノ課目ノミニ依テ徵收サレ
ルモノデアリマセヌノハ御承知ノ通

リ、外ノ收入ト合ハサツテ累進的ニ是ハ
課稅サレルモノデアアル、又現在ニ於テ
ハ八百圓以下又若シ法律ノ改正ガアレ
バ來年度カラ千二百圓以下ノ收入アル
場合ニハ、免稅ヲサレルト云フ關係モア
リマスカ、果シテ誰ノ手ニドウ行クカ
ト云フコトハ、中々是ハドウ綿密ニ計
算ヲ立テテモ、事實問題ニナリマスノ
デ是ハ實際ニ分ラナイ、然ラバ來年ニ
假ニサウ云フヤウナ事蹟ガ舉ツテ、租稅
ノ實收ガアリマシタル際ニ於テモ、結
局其爲ニ是ダケノ利益ガ上ツタノカド
ウカ分リマセヌガ、租稅ノ實收額ガ多
クナツタノカドウカト云フコトハ、實際
是ハ計算ノ出來ル問題ニナツテ居ラナ
イ、此實益ガ幾ラ國家的ニ稅ガ取り得
ルカト云フコトハ、全ク計算ノ方法ガ
立タナイト云フコトデアリマス、ソレ
カラモウ一ツノ御質疑ノ續キデアリマ
スカ、假ニ標準ガ付イテ、ドレダケカ租
稅ノ實收入ガアツタトシマスカ、ソレ
ヲ以テ檢査ノ手數料ニ代ヘルノガ至當
デハナイカト云フ意味ノ御質問ノヤウ
ニ承ハリマシタルデアリマスカ、御承知
ノ通り租稅ハ國家一般ノ用ニ充テマス
ル爲ニ、擔稅能力ニ應ジテ之ヲ課スル
モノデアリマシテ、或ハ階級的ニ一部
分ノ者カラ收入ガアツタモノヲ以テ、而
接ニ其モノノ事業ニ充テルト云フコト
ノ、本法ハ稅制ノ上ニ立ツテ居リマセ
ヌ、ソレデ全然性質ノ異ルモノデアリ、
國ガ或事業ヲシテ利益ヲ特定ノ者ニ對

シテ與ヘマシタ、ソレノ報償ノ意味ノ
手數料ト此課稅ト云フモノトハ、全然
其用途モ性質モ異ルモノデ、ソレト見
レバ宜イデハナイカト云フコトハドウ
モ考ヘラレナイモノデアアル、斯ウ云フ
コトデアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○若尾委員 政府ハ此案ヲ御出シナ
シタノデアリマスカ、モウ手數料ヲ取
ルモノト初メカラ御考ニナツテ居ルノ
デ、強制的ニ正量檢査ヲスルト云フコ
トハ國家施設ノ一デアラウト思ヒマ
スカ、全體ノ徵稅カラ國費トシテ之ヲ負
擔支辨セラレルガ適當ト思ヒマスカ、
此點ニ付テノ御考ハ如何デゴザイマス
カ

○膳農林書記官 只今ノ御質問ニ對シ
テ御答致シマス、只今申上ゲマス通り
是ハ唯事實上檢査料ヲ取ルト云フコト
ノ豫測ノ下ニ來テ居ルカト云フ意味
デナク、性質上斯ノ如キ事業ニ對シテ
ハ一般的ノ租稅ノ下ニ、此檢査ノ經費
ヲ支辨スルヨリモ、寧ロ其檢査ニ基
キマシテ、政府ノ好意ヲ受ケ政府ノ事
業ノ利益ニ與カル人カラ取ルノガ適當
ダト云フ方面カラ參ツテ、尙ホ先日來度
度繰返サレマシタヤウニ、從來サウ云
フ風ナ基礎ノ下ニ長イ間計畫サレテ來
タ譯デアリマス、即チ手數料ヲ徵收
シテ其檢査ノ費用ニ充テルノガ適當
デアルト考ヘタ所ニ出ル譯デアリマ
スカ

○若尾委員 丁度理順語逆ト云フヤウ
ナ議論ニ陷ツテ行クヤウニ思ヒマスカ、
即チ先程申シマシタヤウニ、此正量檢
査ヲ行ヒマス、詰リ製絲家ニ於テ八
百萬圓ノ損、輸出商ニ於テ、一千萬圓ノ
損ト云フコトデアリマス、即チ私ノ見
ル所ニ依ルト、國ガ八百萬圓乃至一千
萬圓ノ課稅素ヲ得ルノデアリマスカ
ラ、之ヲ行フコトニ依テ利益ヲ得ルモ
ノハ輸出商ニアラズ製絲家ニアラズ、
國家其モノガ即チ八百萬圓乃至一千萬
圓ノ利益ヲ得ル、斯ウ云フ論斷ヲ私ハ
試ミタ譯デアリマス、ソレニ付テ只今
政府ノ御答ガアリマシタガ、是ハ頗ル
當ヲ失シタモノト私ハ思フノデアリマ
スカ、併シ此點ハ此程度ニ於テ私ノ質
問ハ止メテ置キマス、更ニ御伺スルノ
ハ前ノ看貫料ノコトヲ伺ツタノハ、此商
賣ニ於ケル一ツノ例デアアル、即チ正量
取引ヲ行フ前ニ於テハ、製絲家ニ於テ
凡ソ八百萬圓ノ利益ヲ、輸出商ニ於テ
凡ソ一千萬圓ノ利益ヲ得テ居ルガ、正
量取引ヲ行フニ付テ此利益ガ兩者カラ
取去ラレルコトニナル、長年ノ間商習慣
トシテ是ガ何處カラ湧イテ來ルノカ分
ラナイ、或ハ看貫ノ上カラ湧イテ來ル
ノカ分ラナイガ、此利益ガ此正量檢査
ニ依テ失ハレル、長年ノ間當業者ガ商
習慣トシテ得ツツアル所ノ此既得ノ權
利ト云フモノヲ、國家ガ正量檢査ヲ強
制スル爲ニ失ハレル、其代償ハ國家ハ
何ヲ以テ償ヒマスカ、之ニ付テ御答辯
ヲ願ヒタイ

○小山政府委員 只今ノ御話ヲ解釋致シマス、正當ナルコトヲシテ、ソレニ依テ相當ナル損失ガアルガ、ソレヲ何ニ依テ償フカト云フ御話ノヤウデアリマスガ、之ヲ反面カラ見マス、今迄サウ云フ嚴重ナ検査ヲ受ケテ居ラナカッタカラ儲ケテ居ッタガ、嚴重ナ検査ヲ受ケルカラ儲カラ一ナクナル、斯ウ云フコトデアリマスガ、正シイ事ヲシテソレニ依テ正シカラザル事ヲシタ者ガ利得ヲ失フト云フコトデアリマスレバ、其利得ハ正シカラザル利得デアルカラ、何トモ已ムヲ得ナイコトデ、別ニソレヲ國家ガ償ハナケレバナラヌト云フコトハ私ハ考ヘマセヌ

○膳農林書記官 一寸先程ノ私ノ答辯ノ補足ヲシナイト、今ノ御質問ノ點ガ一寸——今ノ御質問ト言ヒマス、御意見ノヤウニ承リマシタガ、御前提トシテ輸出商ガ一千萬圓ノ損失ヲスル、製絲家モ八百萬圓ノ損失ヲスル云フ前提ノ上ノ御質問デアリ、唯國家ノミガ一千萬圓ノ得ヲスルノダト、サウ云フヤウナ御斷定ノ上ニ色ミナ御質問ノヤウニ承リマシタガ、此點ニ付テハ前申上ゲマスル通り私ノ方デハ製絲業者ガ八百萬圓ノ損失ヲスル、輸出業者ガ一千萬圓ノ損失ヲシテシマフ、詰リ國家的ニ損失ヲ加ヘルト云フヤウナコトデアリマスガ、ソレハ一部ノ人ノ頭ニサウ云フ風ナ御説ノアルコトハ前來承ッテ居リマスケレドモ、私共ハサウ云

フ製絲家ガ八百萬圓モ損失ヲスルト云フ風ナ色ミノ御意見ガアリマシタガ、ソレニ付テハ私共ハ損失ドコロカ却テ利益ヲスルモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ置イタルデアリマス、結局今ノ御質問ノ點ガ、先程ノ税源ノ點カラ検査ニ要スル費用ヲ償フタラ宜カラウト云フヤウナ御質問モ同様ト思ヒマスガ、製絲家ガ八百萬圓損失スル云々ト云フヤウナサウ云フ前提ノ下ノ御質問デアリマスレバ、其點ニ於テ私共ノ今マデ申上ゲテ置キマシタコト聊カ違ヒモアルヤウニ思ヒマスノデ、尙ホ先程私ノ説明申上ゲマシタコトニ關シマシテ補足ヲ致シマシテ申上ゲテ置キマス

○若尾委員 只今膳課長カラ御説明デアリマシタガ、此前提ハ強チ自己ダケノ前提デハナイノデアリマス、今マデノ質問應答ヲ伺ヒマシテ——同僚諸君ト御當局トノ質問應答ノ種々ナル點ヨリ歸納致シマシテ、結局得タル所ハ私ガ申上ゲタ前提ノ論點ニ過ギナイノデアリマス、其前提タル色ミナモノヲ取拂ッタ要領ヲ基礎トシテ申上ゲタノデ、決シテ私ノ議論ニ付キマシテハ是ハ間違ナイコトヲ證明致シテ置キマス、成程私共ハ途中デ這入ッタノデ、少シ質問ノ要旨ガ薄弱ニナッタヤウデアリマスガ、只今小山次官カラノ御答辯ガアリマシタガ、何カ製絲家ガ一定ノ生絲ニ水分ノ含ダモノヲ賣ッテ居リマシタ

ノガ、惡イカノヤウナ御話デゴザイマシタガ、決シテ是ハ惡イノデハナイ、是ハハ胡麻化シテ利得ヲ得テ居ッタモノデハナイ、詰リ生絲ハ一割一分マデノ水分ハ宜イト云フ如キ、双方了解ノ上デ看貫取引ヲシテ居ッタノデスカラ、是ハ決シテ惡イコトデハナイ、若シ惡イ事デアラナラバ、相當外ニ取締ノ規則ガアル、或ハ之ヲ詐欺ニ問フトカ、或ハ何カ其他法律ノ刑罰ノ方法モアラウト思フ、是ハ當然ニ商取引ノ上デ双方認メテ取引ヲシテ居ッタノデアリマスカラ、決シテ是ハ惡イコトハナイ、唯検査ノ方法ガ嚴密ニナッタカラ、ソコニ何カノ散リ物ガアッタノガ、ソレガ散リ物ガ無クナル、斯ウ云フコトニナル、其散リ物ヲ如何ニ片付ケタラ宜イカ、斯ウ云フコトヲ吾ミハヤラナケレバナラヌ、之ニ付テ即チ此手數料ノ問題モ今申上ゲタヤウナ工合ニ、事實ニ於テ其散リ物ハ輸出商ノ手ニ渡ッテ、其輸出商ノ手カラ詰リ消化サルルトキニハ、吾ミ營業者ノ方ニハ殘ラナイコトニナル、即チソレハ國內ニ殘ルノデアル、是ハ如何様ニナッテモ國トシテソレダケノ税源ヲ得ルコトニナル、是ハモウ左様ナコトニナッテ參ルノハ當然デアリマス、即チ受益スルト云フコトハ製絲家ニアラズ、輸出者ニアラズ、國家ガ受益者デア

マス而シテ今申上ゲタコトハ決シテ今マデ不正ナ取引ヲシテ居ッタノデハナイ、其點ハ少シ御考ヲ願ハナケレバ困ルト思ヒマス、デアリマスカラシテ、此正當ニ双方了解ノ上デ賣買シテ居ッタモノガ、唯此検査法ノ執行ニ依テ、斯様ナ双方損ヲスルヤウナコトニナル、其損ヲ又、損スル者ニ負擔シロト云フ、此手數料デアラナラバ、是ハ何トカ御考ヘ下サルコトハ出來ナイノデアリマス、此點ヲ御答ヲ願ヒタイ

○小山政府委員 損ヲスル得ヲスルト申シテモ、是ハ各々ノ見方デアル、私共ハ今回ノ正量取引ト云フモノハ、屢申上ゲル通り我國ノ生絲ハ品質モ良クナツテ來タ、含有水分モ良クナツテ來タ、デアルカラ海外ノ聲價ヲ高メタイ、ドウゾ營業者モ政府ノ意ノアル所ヲ汲ンデ協力シテヤッテ戴キタイ、加之正量取引ハ政府モ期待シ考ヘテ居ッタノデア

ルガ、營業者カラモ多年ノ間要望セラレテ居ッタノデアル、之ニ依テ横濱生絲検査所モ、若尾君等ノ御協力ヲ願ッテアノ五百萬圓ト云フ立派ナモノガ出來タノデアル、而シテ之ニ依テ國家ノ重要物産ニ對シテ益發展ヲ圖リタイ、此趣意ニ外ナラヌノデアリマス、而シテ只今ノ御尋ハ、手數料ヲ何トカ出來ヌカト云フ御話ノヤウデアリマスガ、是ハ既ニ繰返シテ申上ゲマシタヤウニ、全ク租税ノ性質ト違フモノデアル、報償ニ基クモノデアッテ、而シテ其特定ノ利

益ヲ受クル者、其特定ノ利益ヲ受クル者ニ對スル益金又ハ其利益ヲ前提トシテ、サウシテ手數料ヲ定メルノデアル、手數料トハ如何ナルモノデアルカト云フ解釋ノ場合ニ申上ゲタ通り、國家ノ租稅トハ全ク違フモノデアル、特定ノ利益ヲ受クル其利益ヲ前提トシテ、サウシテ其者ノ負擔トスルト云フコトハ當然デアル、斯ウ考ヘテ此手數料ヲ徵收スルト云フコトニ定メマシタノト、モウ一ツハ若尾君能ク御承知ノコトデアル、殊ニ其方ノコトハ堪能デアル、御一族總テ堪能デアル、其堪能ノ御方ニ何ガ故ニ横濱ノ検査所ガ出來テ來タカト云フ其歴史ヲ申上ゲズトモ、御分リノコトデアル、約二十五萬圓是ガ検査ヲスル所ノ手數料デ、而シテ其經費ガ基礎ニナツテ居ル、是ガ神戸及ビ、神戸デハ市立検査所デ神戸市ガヤツテ居ル、而シテ總テハ手數料ニ依テ其經費ヲ支辨シテ行ク、總テ斯ウナツテ來テ居ル、御堪能ノ若尾君ニ於テハ御承知ノコトデアラウト思ヒマスカラ、ドウゾソレハ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○若尾委員 御話ノ要旨ハ能ク分リマシタノデ、其點ハソレ止メテ置キマスガ、此横濱ニ於ケル生絲取引ト云フコトハ、嘗テ清算取引市場ニ現物取引ノ市場ヲ合シヤウデハナイカト云フ議論ノ起リマシタトキニ、横濱市ノ生絲現物取引市場ト云フモノハ、數十年來特殊ナル既得ノ權利ガアルノデアルカ

ラ、清算取引所ト合併シテ取引ヲ爲スト云フコトハ出來ナイ、ト云フコトヲ當業者ニ於テ論ジマシテ、其儘ニナリマシタガ、偶震災ノ爲ニ同業者ガ全滅致シマシテ、一時共榮會ガ引受ケテヤラウト云フ議モ起リマシタ、此横濱ノ現物市場ノ權利、即チ既得ノ權利ハ二百五十萬圓ト評價サレタコトヲ承知シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク横濱市場ノ取引方法其モノガ唯當業者中ニ於テ相談スル場合ニ於テモ、此既得ノ權利トシテ、金錢ニ於テ二百五十萬圓ノ評價デアリマスガ如ク、空ナモノデナイ、今度正量検査ガ行ハレルト云フコトハ洵ニ結構デアル、併シソレニ依テ種々ナル方面ニ當業者ノ利害關係ガ起ツテ來ル、ソレニ付テノ既得ノ權利ニ對シテ、何等カ國ニ於テ之ニ對シテ御考慮ガナケレバナラナイモノト思フ、此點ニ付テハ重複ニナルヤウデアリマスガ、尙ホ的確ノ御答ヲ得タイト思ヒマス

○芳賀農林技師 只今若尾サンカラノ御尋ノ市場ノ權利ハ尊重スベキモノデアアル、政府ハ斯様ナ殆ド革命的ノ取引改善ヲ爲サルニ當ツテ、一部ノ既得權ヲ剝グト云フ場合ニハ、ソレニ對スル代償ヲ政府ガ尊重シテ宜イデハナイカト云フ御趣旨ノヤウデアリマス、併シ是ハ政府ト當業者ノ關係ニ非ズ、當業者同志ニ起ル利害關係デアリマスカラ、若シ一方ニ買入ノ方ノ既得權ガ此際正量

賣買ニ依テ取去ラレタトスレバ、其正量賣買ニ依テ利益ヲ受クベキ他ノ所謂賣入ト云フヤウナ側ガ、從來ノ輸出商ノ既得權ヲ尊重スレバ宜イシノデアル、政府ガ其既得權ニ對スル賠償ヲスルト云フ義務ハ少シモナイト考ヘマス、茲ニ於テ輸出商ハ正量賣買ニハ反對デハナイ、併ナガラ從來斯々ノ利益既得權ヲ持ツテ居ッタ故ニ、正量賣買ニナル曉ニハ、斯々斯ウ云フ條件ヲ入レテ呉レ、其條件ヲ賣手ノ方ニ話セバ宜イノデアアル、ソレハドウナルカ分リマセヌガ、是ハ午前ニモ次官カラ縷々申述ベラレタ通り、必ズヤ近キ中ニハ圓滿ニ解決ヲ告ゲルモノト思ヒマス、輸出商ノ失フ既得權ニ對シテハ政府ハ何等考慮スル必要ハナイト考ヘテ居リマス

○若尾委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ輸出商ガ得ツツアッタ利益ヲ失フト云フコトハ分ツタヤウニ思ハレマス、是ヨリ先此利害ノ問題ヲ繰返シマシテモ、討論ニ互ルヤウニナリマスカラ、一時私ハ此程度ニ致シマシテ、尙ホ逐條ノ質問ノ時ニ討論ヲ致スヤウニ致シマス

○二木委員 私ノ御問ヒセントスルコトハ既ニ前ニモ何方カラカ御尋ニナツテ居ルカトモ思ヒマスガ、二三日缺席シテ居リマシタカラ、一寸不明デアリマス、重複ニナリマシテモ、簡單デアリマスカラ御尋シタイト思ヒマス、ソレハ此正量取引ヲ行ハントスル趣意ハ、

生絲ノ品位ヲ向上セシメルト云フコトモ農林大臣ガ既ニ前々述ベテ居リマスガ、後ノ質問應答ノ際ノ御答ニ於テハ、正量取引ガ主デアツテ品位ノ向上ノ方ハ餘リ重キヲ置イテ居ナイヤウナ御答ニナツテ居リマスガ、尙ホ設備ノ點ニ付キマシテモ品位検査ノ方ノ設備ハ取ツテ居ラナイヤウナ御答デアリマスガ、左様デアリマスルカ、尙ホ將來ニ互リマシテモ品位検査ニ對スル準備行動ハドウ云フ程度ニ御進メニナルカ、或ハ御考ニナツテ居ラレヌカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、重複ヲ致シマスカモ知レマセヌガ、一寸御聞キ致シマス

○小山政府委員 此正量取引ヲ實施致シマスルノハ、此法案ノ理由ニモ書イテアリマスヤウニ、我國ノ生絲モ段々品質ガ改良サレテ來タ、而シテ既ニ二木君ノ如キハ御承知ニナツテ居ラレト思ヒマスルガ、製絲家ガ直ニ洋俵デ輸出ヲスルト云フヤウニ海外ニ信用ヲ得テ來ルヤウニナツタ、併ナガラ尙ホ益此品質ヲ改良シ海外ニ於ケル信用ヲ高メ、而シテ世界ニ於ケル我が生絲ノ眞價ヲ尙ホ上グルニ付テ、其手段方法トシテハ正量取引ヲ以テスル、所謂世界共通ノ品位ノ下ニ我が眞價ヲ高メタイ、之ヲ言換ヘレバ現在ニ於テハ世界ノ生絲市場ニ於テ、我國ノ生絲ガ斯様ニマデ品質ガ上ツテ來テ居ルニ拘ラズ、尙ホ特殊待遇ト申シマスカ、差別待遇

ト申シマス、特殊差別ノ待遇ヲ受ケテ居ルト云フコトハ洵ニ心外千萬デアル、内ニ於テハ蠶種ノ改良ヲスルト云ヒ、繭絲ノ品質ヲ統一スルト云ヒ、工場ノ能率ヲ上ゲルト云フヤウニ、從來蠶絲業ノ上ニ官民共ニ努力ヲシテ居ッテ、而シテ其輸出品タル商品ノ生絲ガ、今申上ゲルヤウニ海外ニ於テ差別待遇ヲ受ケテ居ルト云フコトハ如何ニモ心外デアル、故ニ之ヲ益海外ニ於ケル聲價ヲ發揚シタイ、斯ウ云フ關係ニ依リマシテ本案ヲ提出シテ御審議ヲ願ヒ、而シテ豫テ懸案ニナッテ居ル多年ノ此懸案ヲ解決シタイ、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、ソレガ只今御尋ノ一點ニ對スル御答ニ當ルダラウト考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一ツノ方ノ御尋ハ或ハ此格付ノコトデヤナイカト思ヒマス、此格付ノコトニ付キマシテハ、之ハ前回ニ検査所長カラ段々御説明ヲ申上ゲマシタ通り、出來ルコトナラバ此生絲検査ノコトト、此格付モ同時ニ實施シテ見タイ、是ハ全ク理想案デアリマシテ、一方ニ正量ノ検査ヲスル、一方ニ格付ヲ拔ッテ行ク、サウシテ兩々相俟テ參リマスレバ、之ハ全ク理想デア、之ニ到達シタイト云フコトハ何人モ異議ガナイ、當局ニ於テモ此事ニ付テハ非常ニ苦心ヲシテ、検査所ヲシテ日夜之ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、何分此事ハ洵ニ言ヒ易クシテ行フヨトニ於テハ中々色々ノ手續ヤラデ困

難デアル、併シ此事ニ付キマシテハ、當局ニ於キマシテモ折角今努力シテ居ッテ、其格付ノ調査方法ノ一部ニ於キマシテハ、各研究項目ヲ舉ゲテ居リマスガ、其項目ノ中ノ一部ニ於キマシテハ、既ニ大正十年、十一年、十二年頃ノ年ヲ重ネテ其調査ノ完了致シテ居ル者モアリマス、併ナガラ大正十二年ノ洵ニ不幸ナコトニハ九月ノ大震災ノ爲ニ、非常ニ勉強シテ此事ニ付テ努力ヲ致シテ居リマシタ所ノ一部ノ記録材料ト云フヤウナモノガ焼失致シマシテ、今ヤ其過去ニ失ヒマシタモノヲ取返サウトシテ、其材料等モ折角今集メテ居ル所デアリマス、洵ニ遺憾ナコトデアリマスケレドモ、是等ノ點カラ見、尙ホ一段ノ検査ヲ致シテ見ナケレバナラスト云フコトニ付テノ格付ノ方法其他ニ付テノ研究等モ、折角今努力中デアリマスルガ、理想ト致シマシテハ一緒ニ行ヒタイノデアリマスケレドモ、右申上ゲルヤウニ洵ニ不慮ノ災害モアリ、其材料モ失ヒマシタヤウナコトデ、此正量検査ヲスルト云フコトニ伴ッテ、相併立シテ參ルコトガ出來マセスト云フコトハ、洵ニ残念至極デアリマスケレドモ、是ハ最善ヲ盡シテ只今ノ御質問ノヤウナコトニ對シテハ當局モ致ス積リデアリマス

○二木委員 只今御説明ニ依リマス、格付検査ニ對スル御意思モ十分オアリノヤウデアリマスルガ、併シ其事實ニ徴シテ見マスルト、御説ノ如キ所ヲ發見スルニ一寸苦シムヤウナ次第デアリマスルニ依テ、御熱心ノ程度ハ言外ニ溢レテ居ルヤウデア、事實ノ上ニ於テハ餘リニ現ハレテ居ラヌヤウニ思ヒマス、又前年來經費ノ中ニ於ケル約半分ハ正量ノ方ヘ廻シテ使用サレルヤウナ御答辯モアリマシタコトカラ、マダ多大ノ經費ヲ投ジテ正量取引ノ爲ニ盡サレル御趣意ハ分リマスガ、格付検査ニ對スル其御希望ガ、事實ノ上ニ於テ非常ニ偏シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、正量ノ検査ト云フモノハ事實ノ上ニ於テハ確ニ取引ノ一方法ニ過ギナイモノデアッテ、其水分ヲ計算スル一ツノ方法デアリマスル、之ガ爲ニ非常ニ品質ガ良クナルト云フヤウナコトハ、極メテ微温的ノ關係デアルト思ハレルノデアリマス、此事ノ爲ニ多大ノ經費ヲ投ジマシテハ、餘リニ高價デアリハスマイカト思ハレル次第デアリマスルガドウカ其格付検査、品位向上ノコトニ付テハ、十分ノ努力ヲ費シテ戴キタイ、之ヲ事實ノ上ニ現ハシテ戴キタイ、又方法ト致シマシテハ今茲ニ事實ニ現ハレナイ、此方法、順序ト云フモノヲ的確ニ御示ヲ願ッテ、政府ノ意ノ在ル所ヲ知リタイト思フノデアリマス、之ニ關スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○芳賀農林技師 品位検査ハ只今ハ舊來ノ慣習ニ依リマシテ、日々行ッテ居ルノデアリマス、併シ其検査ノ方法タルヤ何等學究的ニ基礎ヲ置イタ所ノモノデハナイ、單ニ常識的ニ生ミ出サレタ所ノ方法ニ過ギナイ、是ハ獨リ我國バカリデナク、各國共ニ同様デア、ルノデアリマス、此ニ於キマシテ權威アル所ノ検査ノ方法ヲ攻究シヤウ、之ガ問題ニナッテ居ルノデアリマス、只今ハ亞米利加ト我國トデ協同シテ此研究ニ從事致シテ居ルノデアリマス、政府ハ大正十年カラ此研究ニ當ッテ居ル、只今次官ノ説明サレマシタ通りデアリマス、ソレデ日々ノ検査ト此格付ノ検査トハ、別ニ經費ハ只今常費ノ中カラ出シテ居ルノデアリマセヌ、研究費ハ研究費トシテ別ニ要求致シマシテヤッテ居ルノデアリマシテ、其額ハ極メテ微々タルモノデアリマスガ、財政上ノ關係カラ已ムヲ得ズ甚ダ微々タルモノデアリマスケレドモ、僅カナ經費ヲ研究費ニ當テヤッテ居ルノデアリマス、最初此研究ヲ致シマスニ當ッテ、先ヅ大體ノ計畫ヲ私ハ立テマシタ、ソレハ今日ノ検査ト云フモノハ、絲其モノニ付テ常識的ニ判斷シテ検査ノ方法ヲ極メテ居ルノデアリマスガ、是ハドウシテモ織物ニ立脚シテ、織物ト其織物ニ供給サレル生絲即チ原料トノ關係ヲ十分ニ調査シナケレバ、權威アル検査トハナラナイ、即チ絲ノ上デ良イト言ウテモ、其良イモノガ果シテ織物ノ上ニ良イ成績ヲ示スカ否ヤト云フコトヲ研究シナケレバ、權

威アル所ノ検査ノ方法ニハナラナイ、ノデアリマス、其研究ノ結果ニ依リマ
詰リ亞米利加アタリデ日本ノ生絲ノ
格付ガ杜撰デ、信用ヲ置クニ足ラヌ、斯
ウ申スノハ畢竟皮相ノ考カラ今日ノ檢
査法ガ生ミ出サレテ居ルト云フ一ツノ
缺點ガアルカラデアル、故ニ此格付ノ
研究ヲスルニ當リマシテハ、先ヅ織物
トノ關係ヲ十分ニ調査スル必要アリト
認メマシテ、生絲検査所ト絹業試験所
ト協力シテ、此研究ニ今當ツテ居ル譯デ
アリマス、ソレデ先ヅ第一ニ私ガ立テ
マシタ研究ノ順序ハ、現在横濱市場デ
格付サレテ居ル其方法ガ、果シテド
位ノ程度ノ信用ヲ受ケルモノデアル
カ、是ハ其格ノ絲ヲ取りマシテ織物ニ
織ツテ見テ、ドノ位ノ權威ガアルモノデ
アルカト云フコトヲ「チエック」スル必
要ガアル、是ハ獨リ日本ノ絲バカリデ
ナク、外國ノ絲ニ付テモ調べル必要ガ
アルト云フノデ——今デハ減ツテハ居
リマスガ、此研究ニ從事致シマシタ場
合ニハ八階級ニナツテ居ッタノデアリマ
ス、ソレデ八階級ノ代表的生絲各格ヲ
十二工場カラ絲ヲ買集メテ——其絲ヲ
製絲場ヘ注文シタノデハ特製品ヲ出シ
テ來ルカラ、所謂信ヲ置クニ足ラナイ、
故ニ横濱市場ニ出貨サレタモノノ中カ
ラ十二工場ヲ選ンデ——各格ノ下ニ十
二工場ヲ選ンダノデアリマス、ソレデ
綿密ナル調査ヲシテ、又其結果ヲ織物
ノ上ニ織ツテ見テドウ云フ關係ヲ持ッテ
居ルカト云フコトヲ試験研究ヲ致シタ
トニ大體結着スルノデアリマス、詰リ
「サンブル」ノ問題デアリマス、ドノ位
ノ材料ヲ取ツタナラバ宜イカト云フ研
究デアリマス、此研究ハ只今略其目
的ヲ達シテ居リマスガ、ソレハ「プロバ
ビリテ」ノ原則カラ言ッテドノ位ノモ
ノヲ取ツテ宜イカト云フコトヲ研究シ、
又其事ニハ最も卓越シタ所ノ技術ヲ
持ッテ居ラレル簡易保險局ニ出テ居ラ
レマス龜田博士ニ御參加ヲ願ヒマシ
テ、今御批評ヲ乞ウテ居リマスガ、此間
御出ヲ願ッテ際ニハ非常ニ立派ナ研究
デアル、是程ノ研究ハ今迄見た事ガナ
イト云フヤウナ——御世辭カ知リマセ
ヌガ御褒メヲ受ケタヤウナ次第デアリ
マス、ソレデ其方法ハソレデ宜イト云
フ裏書ヲ得マシテ、其邊ノ研究デ其片
ハ付ク譯デアリマス、ソレカラ第三番
目ニ理想的ノ検査所デ、如何ニ學究的ニ
立派ナ検査方法デアリマシテモ、兎ニ
角日々多數ノ賣買ヲ致シマス商品ノ上
ニ、其検査方法ヲ施スコトガ果シテ出
來ルカ否ヤト云フコトハマダ分リマセ
ヌ、故ニ詰リ日々ノ取引サレマス生絲
ノ検査ヲスルノニ、非常ナ困難ト浪費
ヲ來スヤウデアリマスレバ、如何ニ立
派ナ検査デアツテモ、是ハ實行不可能ノ
モノデアル、價値ノ無イモノデアル、斯
ウナリマスカラ、兎ニ角研究ハ何處マ
デモ學究的ニ、十分ニ研究ノ上ニ研究ハ
進メテ居リマスガ、之ヲ實際ニ施スト
ニ於テハ、又相當考ヘナケレバナリマ

セヌカラ、第三番目ニ應用的ノ検査方
法、實行的ノ検査ノ方法ヲ今考究中デ
アリマス、ソレカラ只今ノヤウナ研究
ガ豫期ノ通り其成績ヲ收メマシテモ、
現在使用サレテ居リマス検査機械デ果
シテ其検査ガ完全ニ出來ルカ否ヤト云
フト、是ニハ大ニ疑ヒナキヲ得ヌノデ
アリマス、故ニ第四ノ研究問題ト致シ
マシテ、完全ナル検査機械器具ノ考案
ト云フコトガ一ツノ問題ニナツテ居リ
マス、幸ニ其中デ最も此格付ニ重大ナ
ル關係ノアル細「ムラ」大「ムラ」ヲ研究
スル機械ガ絹業試験所ノ棚橋啓藏ト云
フ者ノ考案ニ依テ出來マシタ、米國デ
考案サレタ機械ニ比シテ數段進歩シタ
モノデアリマス、稍理想ニ近イ機械デ
アリマス、此機械ガ出來マシタカラ將
來格付ガ完全ニ出來マシタ以上ハ——
機械ノ方モマダ外ニ研究シナケレバナ
ラヌモノモアリマスガ、格付ニ重大ナ
ル關係ノアル細「ムラ」太「ムラ」ノ機械
ヲ得マシタコトハ非常ニ結構ノコトデ
アルト喜ンデ居リマス、右ノヤウナ關
係デアリマシテ吾々ハ格付ノ研究モ稍
曙光ヲ認メテ居リマス、併ナガラソレ
デハ何時完成スルカト云フト、今一寸
御答ガ出來マセヌ、ノミナラズヨシシ
バ私ノ方デ其方法ガ出來タト致シマシ
テモ、元々米國ト日本デ協力シテヤル
コトニナツテ居リマスカラ、此方ノ成績
ヲ直ニ實行スル譯ニ往カナイ米國ニモ
相談シナケレバナリマセヌ、米國ハ直

ニ善イトカ惡イトカ云フ判斷ノ付クモ
ノデモアリマセヌカラ、彼方デモ亦一
應ソレニ基イテ研究モ致シマセウ、又
米國カラ吾ニ示サレル案ガアルトス
レバ、吾ミトシテモ唯ソレヲ受ケル譯
ニ往キマセヌ、此方デモ其方法ニ就テ
研究シナケレバナラヌコトニナリマ
ス、旁ミイツソレデハ格付ノ檢查ガ行
ヘルカト云フト、一寸見當ガ今付カナ
イト申スヨリ外ナイノデアリマス、大
體只今迄ノ經過竝ニ將來ドウ云フ手續
ヲ履ンデ之ヲ國際的ノ檢查方法ニスル
カト云フコトニ付テハ、歲月ヲ相當要
スルコトト信ジテ居ルノデアリマス

○折原委員長 志村君

○志村委員 私ハ最後ニ少シ御尋致シ
マス、連日ニ互テ最モ熱心ニ質問應答
サレマシタ其中ノ主ナル要點トシテ見
マスルト、結局手數料ノ問題ニ歸著ス
ルヤウニ考ヘラルルノデアリマス、ソ
コデ其手數料問題ノ中デ、尙ホ二三ノ
主ナル點ヲ考ヘマス、政府ハ當業者
ノ諒解ガアルト言ヒ、一方ハナイト言
フ、又政府ハ檢査料ハ當業者ニ對シ大
ナル負擔デハナイ、苦痛ヲ増スモノデ
ナイト言ハレルニ拘ラズ、質問者ノ方
ハ非常ニ重イ負擔デアルト言ハレル、
吾ニハ何レガ是ニシテ何レガ非ナルカ
ノ判斷ニ苦シムノデアリマスガ、茲ニ
私ハ圖ラズモ其裏面ニ大キナ癰腫ノア
ルコトヲ發見シタ積リデアリマス、ソ
レハ質問者モ恐ラク御承知ノヤウデア

リマスガ、露骨ニ言ヒ得ラレナイト思
ハルル點モアリマス、又露骨ニ申上ゲ
テ善イカ惡イカ、疑問モアリマスケレ
ドモ、ソレハ製絲業者ト輸出業者ノ間
ニ横ハル問題デアリマス、從來輸出業
者ガ大ナル資本ヲ擁シテ、製絲業者ヲ
壓迫シテ居リタ形ガアルト云フコトヲ
聞イテ居リマシタガ、ソレハ的確ニ私
ハ其實實ヲ知ッテ居リマセヌ、然ルニ今
回輸出業者ガ正量取引ヲ實施スルニ
當ッテ、製絲業者ノ用キタ交渉案件ヲ見
マス、恐ラクハ從來輸出業者ガ取引
ニ依テ利得シテ居リタト稱セラルルハ
百萬乃至一千萬圓ノ利潤ヲ失フ、ソレ
以上ノ利益ヲ製絲業者カラ要求シテ居
ルノデハナイカト考ヘラルルノデアリ
マス、原君ノ如キハ此間ノ様子ハ熟知
シテ居ラレルコトト思ヒマスガ、ソレ
ヲ言ヒ得ナイノハ製絲業者カラ一種ノ
壓迫ヲ受ケルコトノ懸念ヲ持ッテ居ラ
ルル結果デナイカト思ヒマス、若シ私
ノ推測ガ誤ッテ居レバ、私ハイツデモ訂
正致シマス、斯ウ云フ大キナ腫物ガアル
ガ故ニ、手數料ト云フ重荷ヲ加ヘルコ
トガ、其重荷ノ重イノデナク、其腫物ニ
觸ッテ非常ナ痛サヲ製絲家ガ感ズルノ
デナイカト思ヒマス、又養蠶家ノ立場
カラ申シマス、繭ノ値段ガ成ベク一
定スルコトハ望マシイコトデアリマシ
テ、昔ニ比較シテ只今ハ養蠶ノ技術モ
進ンデ居リマスガ、尤モ年ノ豐凶ニ依
リ繭ノ値ニ多少激變モアリマスケレド

モ、取引カラ來ル繭價ノ不安定ハ非常
ナモノデアリマス、隨テ養蠶ヲ副業ト
スル農家ノ經濟狀態ハ如何ニモ安定ヲ
缺イテ居ル感ガアルノデアリマス、ソ
レデアリマスカラ農家ノ經濟ヲ安定ス
ル意味カラ言ッテモ、亦製絲家ノ重荷ヲ
取去ッテヤル意味カラ言ッテモ、政府ハ
何トカシテ此間ノ交渉ニハ一肌脱イ
デ、今直グニ輸出業者ト製絲業者ノ交
渉ヲ纏メル意味デナク、尠ナクトモ正
量取引ヲ實施シタ後、此交渉不調ノト
キニハ政府ガ一肌脱イデヤル御決心ガ
アリマスカト云フコトヲ第一ニ伺ヒマ
ス、サウシテ尙ホ輸出業者ニ對スル多
少ノ掣肘ト申シマス、製絲業者ヲ多
少保護獎勵スル上ニ於テ、半官半民ノ
輸出會社ヲ造ッテ、日本ノ生絲ノ輸出ヲ
盛大ニシ、製絲業者ヲシテ安心シテ其
業ニ勵マシムルノ御考ガアリマス、カ
ドウデアリマス、此二點ヲ伺ヒマ
ス

○小山政府委員 只今ハ其要點ノ歸ス
ル所ハ斯々デアラウト御推斷ヲセラレ
タル御質問デアリマシタ、私共ノ見ル
所モ一面ニ於テハ、ドウモ左様ナコト
デハナカラウカト察セララルル點モアリ
マス、即チ御推斷ト所見ヲ同ウスル點
モ亦一部ニアリマスガ、是ハ段々申シ
マス通り、當業者ノ諒解ハ確ニ得テ居
リマス、之ガ爲ニ正量取引ヲ實施
致シタイト云フノデ、巨額ノ寄附金
デセラレタト云フコトノ經過、是モ申
上ゲタ通りデアリマス、而シテ負擔ノ
輕重ト云フコトニ付キマシテモ、先刻
モ申シマシタガ如何ニモ少額デアリマ
ス、此利益ヲ受クル者ハ負擔ニ堪ヘナ
イカト云フト、決シテ堪ヘナイトハ認
メラレナイ、ソレナラバ輸出業者ト製
絲家トノ間ニ希望ヲ提出シテ、而シテ
其ノ間接衝ヲ致シテ居ルト云フコトガ、
結局此問題ノ解決ノ歸著ニナルノデハ
ナイカト云フ御推斷、私共モ矢張一方
ニハサウ云フコトガアラウト思ヒマ
ス、先刻若尾君ノ御話ノ中ニモ、少シ其
間ニ散ッテ居ルモノガアルト云フ御話、
其散ッテ居ルト云フコトガ、利害關係ヲ
持ッテ居リマス間ノ篤ト諒解ヲ遂ゲラ
レス所デアラウト思ヒマスガ、併シ此
事ニ付キマシテハ、先回ニモ申上ゲタ
ヤウニ、目下折角輸出業者ト問屋、製絲
業者ノ間ニ話ヲ進メテ居ルヤウデアリ
マス、過去ニ於テソレソレ有力ナル方
方ガ日米同業者間ノ交渉ノ際、其後ニ
於ケル正量取引實施ノ對策ニ付テ、種
種御研究ニナリ、御話合ヒニナッテ居ル
ヤウデアリマス、政府トシテハ必
ズ近キ將來ニ於テ、此當業者諸君ノ一
致シタル此意見ガ實現致シマシテ、政
府ノ施設ト相俟テ事業ノ發展ニ貢獻
セラレルヤウニナルデアラウト私ハ信
ジテ居リマス、斯ウ云フ際デアリマス
カラ、須ク當業者相互ノ理解ノ下ニ、其
速カナランコトヲ希望シテ居ル譯デア
リマス、今政府トシテ兩者ト申スカ、三

者ト申シマスガ、其關係者ノ中ニ這リマシテ、斯様ニシタラドウダラウト云フコトヲ申上ゲルヨリモ、自發的ニ其解決ガ出來ルモノデアラウト私ダケハ諒解シテ居リマス、而シテ後ノ御尋デアリマス、此半官半民ノヤウナコトニシテ、將來生絲貿易ノ對策ヲ講ジテハドウデアアルカト云フ御話モアリマス、是ハ御尤ナ御話デゴザイマスガ、是ハ大正初頭ノ頃ニ於ケル生絲暴落ノ際ノ第一回救済ニ依ル帝蠶會社、及ビ大正九年ノ此生絲貿易ニ依リマス所ノ救済ノ對策、即チ第二回帝蠶會社、斯様ナ場合ニハ政府ハ進ンデ兩回共ニ妥當デアルト云フコトノ案ヲ立テマシテ、議會ノ協賛ヲ得テ、アノ成績ヲ舉ゲルコトニ努力致シテ參ッテ譯デアリマスカラ、私共ハ斯様ノコトノ繰返サレナイコトヲ祈リタイノデアリマスガ、目下ニ於テ半官半民ノヤウナ形ニ於テ我生絲貿易ノ對策ニ對シテ、斯様ニシタラドウデアラウカ、斯ウシタラドウデアラウカト云フコトマデノ詮議ハ致シテ居リマセヌ譯デアリマス

○志村委員 只今ノ御話デ能ク分リマシタガ、成程ソレハ輸出業者ト製絲業者ノ間ニハ種々ナル方面カラ調停者モアリマシテ、最善ノ努力ヲ致シテ居ルコトト考ヘマスノデ、近キ將來ニ於テ今御話ノ如ク解決サレルコトダラウト思ヒマスガ、併シ萬一未解決ノ場合ニハ其儘デ尙ホ政府ハ正量取引ヲ實施ス

ル御考デアリマスガ、而シテ又實施シタ上ニ政府ハ其圓滿解決ニ向ッテ一肌脱ガレル御考デアリマスガ、ソレヲ御聽キシタイト思ヒマス、尙ホ帝蠶會社ノ御話ガアリマシタガ、アノ帝蠶會社ノ成績ガ頗ル良好デアッタコトニ付テ、私ハ其良好ナル成績ヲ得ル程ソレ程アレヲ必要ダト思ヒマス、ソレハ大正九年ノ生絲ノ暴落ノ場合ニ、アノ會社ヲ造ツタガ、是ハ急性ニ來タ市價ノ救済策デアリマスガ、平素ニ於テモ輸出業者ト製絲業者トノ間ニ其生絲ノ市價ヲ變動スル慢性的ノ原因ガアリハシナイカ、所謂急性療法トシテハ過去ニ御執リニナッタ第一次蠶絲救済會社、第二次救済會社、ソレハ拵ヘタガ、平素ニ於テモ所謂慢性的ニ之ヲ救済スル必要ガアリハシナイカ、尙ホ少シク具體的ニ申セバ、輸出業者カラ製絲業者ガ或ル種ノ壓迫ヲ受ケツツアルト云フコトヲ御認ニナリマスカドウカ、若シ御認ニナルナラバ、ソレニ對シテ慢性的ノ此病氣ヲ治療スル御考ガアリマスカドウカ、其點ヲ御尋致シマス

○小山政府委員 第一ノ御尋ニ對シテハ、只今申上ゲタヤウニ餘リ遠カラザル中ニ解決セラレルモノト當局ハ豫想シテ居リマス、又左様ニ考ヘテ居リマスカラ、此未解決ノ儘デ是ガ實施セラレルヤウナコトハ萬々アルマイト思ッテ居リマス、ソレカラ第二ノ御尋デアリマスガ、是ハ勿論政府トシテハ最善

ノ努力ヲ致シマスシ、又先回申上ゲタヤウニ、成ベクハ我輸出生絲ノ一大得意デアリマス亞米利加ニ於テモ、此正量検査ノ意義ヲ全ウシ、而シテ只今ハ任意ノ扱ヒヲ過渡期トシテ致サナケレバナラヌモノデアリマスケレドモ、其信用ヲ高メ、封印ノ如キモ亞米利加ニ其儘信用セラレルヤウニ致シタイト云フコトニ付テハ、唯農林當局トシテバカリデナク、外務當局ノ方トモ能ク交渉シテ、商務官等ニモ此意ノアル所ヲ傳ヘマシテ、相俟テ今ノ御話ノヤウナコトニ實現シタイト思ッテ居リマス、ソレカラ市價ノ維持ノコトデアリマスガ、成程帝蠶會社ノ場合ニハ急落シタ救済デアッタ、不斷モモウ少シ其事ニ付テ努力スル考ハナイカト云フ御話デアリマシタガ、是ガ一般養蠶業カラ申セバ、即チ五十議會ニ於テ御協賛ヲ得マシタ所ノ農村振興費ノ中ニ、共同繭倉庫、乾繭裝置、是等ノコトガ此市價ノ急騰若クハ急落ト云フコトヲ防グ所ノ一ツノ施設デアリマス、元來此製絲業者ノ實際ノ狀況ヲ段々承ッテ見マスト、金融ノ點ニ於テモ改正シテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、而モ其金融ノコトモ生繭取引ヤ何カ致シテ居リマスレバ、一方ニ養蠶ノ技術ヲ進メテ、稚蠶ノ共同飼育ヲスル、一度ニ蠶ヲ飼ッテソレガ一度ニ上簇シテ、又ソレヲ一度ニ買込ムト云フヤウナコトデ、製絲家ノ金融モ餘リニ季節的ニ、局限サレテ居ルト云フ事

ガ、私ハ製絲家ノ一大苦痛デアルト思フ、デアリマスカラ生繭取引ヲ廢メテ——一方ニ絹絲ノ改良ト云フ生絲ノ品質上ノ將來ノ事モアリマスカラ、此處デ繭ノ買入、繭ノ消化シ方等モ平均ニサセテ行クヤウニシタイ、一面ニ於テハ是ガ農村振興ノ所以デアリマスカラ、サウ云フヤウナ事モシテ行クト云フコトハ、確ニ生絲業者即チ製絲家ノ立場ニ於ケル施設デアッタト云フ事ハ、申上ゲル迄モナク御了承ノ事デアラウト思ヒマス、而シテ輸出商ガ製絲家ヲ壓迫シテ居ル事實ガナイカドウカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ私ハ左様ニ壓迫シテ居ルヤウナ事ハナカラウト思ヒマスガ、併ナガラ結論ハ今申上ゲマシヤウナ金融上ノ關係カラ、一方カラ申セバ壓迫ト云ヒ壓迫サレルト云フヤウナコトガ、多數ノ中ニハ或ハアルデアリマセウ之ヲ防ガンガ爲ニハドウシテモ只今申上ゲマシタヤウナ絲價ノ急騰、急落ト云フ事ヲ防止スルコトガ最モ大切デアラウト思フ、唯是ハ目藥ヲ注シタリ薄荷ヲ舐メタヤウニ、直ニ眼ガハッキリスル、直ニ口ノ中ガサッパリスルト云フヤウナ事ノ若シ御意見デアアルトスレバ、此御説明ヲ申上ゲルコトハ相當ラヌデアリマセウ、併ナガラ藉スニ若干ノ日ヲ以テシテ、今議會ノ御協賛ヲ得テ政府ノ行ヒツツアル施設ヲシテ參リマスナラバ、漸次我國ノ製絲界ノ安定ヲ爲シテ行クコトガ出來ルト私

ハ考ヘテ居リマス、而モ一方ニ於テハ生産費等ノ事モ考ヘテ行カナケレバナラス、是等ノ事モ今ノ施設ノ中ノ一ツデアリマス、更ニ又横濱ニ於ケル倉庫ノ事、是ハ先刻所長カラモ段々申上ゲマシタヤウニ、此倉庫ノ施設ヲ致シマスノモ、要ハ只今ノ御尋ニ對スル對策ガ伴ッテ居ルノデアリマス、即チ帝蠶會社ノ清算ニ方リマシテ百八十萬圓ノ寄附ヲサレタ、ソレハ何ノ爲カト云ヘバ、矢張取引上ノ事ニ付テノ圓滿ヲ期シタイ、而シテ其事務ノ統一ヲ圖リタイ、而シテ尙ホ今日不便デアリ、ソレガ爲ニ餘分ナ經費ヲ使ッテ居リマス運送上ノ事モ、之ニ依テ便益シタイ、即チ運送上ノ費用モ省キタイ、而シテ運送ニ依テ起ル所ノ生絲ノ損傷等モ之ニ依テ防ギタイト云フコトデ、アノ倉庫ノ計畫モ此關係カラ起ッテ居ル譯デアリマス、而モ荷ノ動カシ方、又對外關係ノ事、是等ノ點カラアノ横濱生絲附屬ノ倉庫ヲ十分ニ利用サレ、之ヲ活用セラレルト云フコトニナリマスルナラバ、只今御心配ニナッテ御尋ニナリマシタ點ノ確ニ一部ノ救済ヲ爲スコトガ出來ル、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、御質問ニ副ヒマスルヤ否ヤ分リマセヌケレドモ、私ノ考ダケヲ大要申上ゲテ置キマス

○折原委員長 次ハ村上君
○村上委員 此法案ニ付テノ質問應答ハ本會議ナリ當委員會ニ於テ幾多重ネ

ラレタ事デアリマスガ、私ハ此質問應答ニ依テ生シタル所ノ二三ノ疑義ニ付テ質問シ見タイト思フノデアリマス、先ヅ單純ナル事柄ニ付テ簡單ナ御尋ヲシテ見タイト思ヒマスコトハ、今日マデ生絲檢查所デ檢查ヲサレタ、即チ檢査ヲ請求シタ生絲ノ分量ト云フモノハ、我國カラ海外ニ輸出スル生絲ノ全量ニ對シテ約ソ何程ノ割合ニナッテ居ルデアラウカト云フ一點デアリマス、第二ハ我國カラ今日海外ニ輸出シテ居ル所ノ生絲ノ平均含水量ト云フモノハ約ソドレ位ナ見當デアルト見ルノガ至當デアラウカト云フ點デアリマス、第三ハ所謂正量ノ生絲、又正量デナイト致シマシテモ所謂猶豫水量ニ達シテ居ナイ、其水量ヲ持ッテ居ル生絲ト、猶豫水量ヲ含有シテ居ル生絲トノ間ニハ、的確ニ絲價ノ上ニ其相違アルコトガ認め得ラレルカドウカト云フ點デアリマス、次ニハ歐羅巴向ノ生絲ニ付キマシテ、彼地デ正量檢査ヲ致シマシタ結果、千斤ニ付テ約ソ三斤ノ缺目ガアッタト云フコトデアリマスガ、果シテソレハ事實デアラウカ、又事實デアルトスルナラバ其原因ハ何處ニ在ルノデアアルカ、此點デアリマス、尙モウ一點ハ横濱生絲輸出會ガ「生絲正量取引ニ就テ」ト云フ「パンフレット」ヲ出シテ居ル、又一方ニ於テハ蠶絲業者有志懇談會出席者ノ名ヲ以テ「正量取引ノ意義及其實行ニ就テ」ト云フ同ジク「パンフレット」ヲ

出シテ居リマス、是等ノ「パンフレット」ハ今日迄此委員會等デ絶エズ引用サレタ質問ノ有力ナル根據ニ使ハレテ居ルヤウデアリマスガ、此二ツノ「パンフレット」ニ付テ其關係ガドンナモノデアラウカト云フ事ニ付テノ政府ノ御考ヲ伺ッテ見タイノデアリマス、横濱生絲輸出會ノ方ニ於テハソレノ署名ガシテアリマス、蠶絲業者有志懇談會出席者ト云フ名デ出テ居ル所ノ「パンフレット」ニ付テハ、署名ハシテアリマセヌガ、併シ我國ニ於ケル蠶絲界殊ニ製絲業者ノ中デモ最モ有力ナル權威者ノ集リデアッタラウト自分ハ想像シテ居ルノデアリマスルガ、此二ツノ「パンフレット」ニ付テ考ヘテ見マス、生絲輸出會ノ方ハ昨年七月ノ日附ニナッテ居ル、而シテ蠶絲業者有志懇談會出席者ノ方ハ九月ノ日附ニナッテ居リマス、此兩者ノ關係ヲ私ガ想像シテ見マス、輸出會ノ方カラ正量檢査ニ反對ノ宣傳ヲスベク此「パンフレット」ヲ出シタ、ソレニ對シテ今回ハ我國ノ蠶絲業者殊ニ有力ナル所ノ製絲家達ノ集リデアル所ノ人ミカラシテ、ソレニ反對的ノ、少クトモ生絲輸出會ガ言ッテ居ルヤウナ譯ノモノデハナイト云フ諒解ヲ得ルガ爲ニ發行シタル所ノ「パンフレット」ノ如クニ、私ニハ讀メルノデアリマス、此間ノ關係ニ於テ政府ハ如何ニ御考ヘニナッテ居ルカト云フコトヲ先ヅ御尋スル次第デアリマス

○芳賀農林技師 第一ノ御質問ハ、檢査所ヘ掛カル檢査ト、輸出スル關係ニ於テノ歩合デスカ
○村上委員 サウデス
○芳賀農林技師 是ハ約四十「パーセント」ガ生絲檢査所ニ掛カテ居リマス、ソレカラ第二ハ水分ノ關係ガ價格ニドウ云フ關係ヲ及ボシテ居ルカ……
○村上委員 イヤ全國ノ檢査所ノ檢査ニ掛カッタト否トニ拘ラズ、全國ノ輸出生絲ノ平均含水量ト云フモノハ凡ソドノ位ト推定スルコトガ出來マス
○芳賀農林技師 其水分關係ハ、ドウモ檢査所ヘ掛カリマシタモノハ分リマスケレドモ、掛カラヌモノノ水分ハドノ位アルカト云フコトハ、推定ガ付キマセヌ、併ナガラ生絲檢査所ヘ水分ノ檢査ヲ要求致シマスモノハ、今日ノ取引關係カラ見マシテ、水分猶豫ノ限界ヲ越ユルヤ否ヤト云フコトヲ見ルノガ必要ナコトデ、其目的デ水分ノ檢査ヲ請求シテ居ル者ガ多イト認メテ居ルノデアリマス、然ルニ其平均含水量ハ、大正十三年ハ十斤六七、ソレカラ昨年ハ少シ殖エテ居リマシテ、十斤九分三厘カニナッテ居リマス、併シ是ハ全國ノ水分平均率ヨリハ寧ロ高ク現ハレテ居ルモノダト觀察シテ居ルノデアリマス、ソレハ檢査ノ要求ノ目的ガ、只今申上ゲマス通り猶豫點ヲ突破シテ居ルカ否ヤヲ見ルノガ大體必要デアルノデ、其目的ヲ以テ請求スルノデアリマス

○芳賀農林技師 第一ノ御質問ハ、檢査所ヘ掛カル檢査ト、輸出スル關係ニ於テノ歩合デスカ
○村上委員 サウデス
○芳賀農林技師 是ハ約四十「パーセント」ガ生絲檢査所ニ掛カテ居リマス、ソレカラ第二ハ水分ノ關係ガ價格ニドウ云フ關係ヲ及ボシテ居ルカ……
○村上委員 イヤ全國ノ檢査所ノ檢査ニ掛カッタト否トニ拘ラズ、全國ノ輸出生絲ノ平均含水量ト云フモノハ凡ソドノ位ト推定スルコトガ出來マス
○芳賀農林技師 其水分關係ハ、ドウモ檢査所ヘ掛カリマシタモノハ分リマスケレドモ、掛カラヌモノノ水分ハドノ位アルカト云フコトハ、推定ガ付キマセヌ、併ナガラ生絲檢査所ヘ水分ノ檢査ヲ要求致シマスモノハ、今日ノ取引關係カラ見マシテ、水分猶豫ノ限界ヲ越ユルヤ否ヤト云フコトヲ見ルノガ必要ナコトデ、其目的デ水分ノ檢査ヲ請求シテ居ル者ガ多イト認メテ居ルノデアリマス、然ルニ其平均含水量ハ、大正十三年ハ十斤六七、ソレカラ昨年ハ少シ殖エテ居リマシテ、十斤九分三厘カニナッテ居リマス、併シ是ハ全國ノ水分平均率ヨリハ寧ロ高ク現ハレテ居ルモノダト觀察シテ居ルノデアリマス、ソレハ檢査ノ要求ノ目的ガ、只今申上ゲマス通り猶豫點ヲ突破シテ居ルカ否ヤヲ見ルノガ大體必要デアルノデ、其目的ヲ以テ請求スルノデアリマス

ラ、平均含水量ヨリハ生絲検査所ノ成績ノ方ガ高ク出テ居ル、斯ウ解釋シテ大ナル誤ハナイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ第三ハ水分量ノ關係係、相場ニソレガ現ハレテ居ルカ否ヤト云フヤウナ御趣旨ノ御質問ト考ヘマス、是ハ從來ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマシタ通り、亞米利加市場ニ於キマシテハ、全然此最高限度ノ十一斤七分一厘ノ水ヲ含シタモノトシテ相場ガ立テラレテ居リマス、横濱市場ニ於キマシテハ、是ハ亞米利加ノ相場ト云フモノハ横濱ノ市場ニ移ッテ來テ居ルノデアリマス、サウシテ矢張在目デ賣買サレテ居リマス、十一斤七分一厘以内ノモノハ其儘在目デ取ル、超過シタ時分ニハ其超過シタ分ノ水量ニ對シテハ値引ヲスル、斯ウ云フ譯デアリマシテ、相場ハ矢張最高限度ノ十一斤七分一厘含シテ居ルモノトシテ賣買サレテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ亞米利加ニ於テハ全然サウナッテ居ルコトハ明カデアリマス、唯内地ニ於キマシテハ矢張サウデアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第四ハ歐洲ヘ輸出サレタ生絲ニ對シテハ、日本ノ生絲検査所ノ正量目ト、向フデ再検査シタ成績トノ間ニ千分ノ三ノ目切ガアッタ、是ハ事實デアアルカト云フ御尋デアリマシマス、又ソレハ間違ナイモノデアアルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、元來此生絲検査所デハ今日所謂正量検査ナルモノハ

ヤッテ居ラナイ、詰リ含水——何割何分ノ水分ガアッタカト云フ、其水分ノ検査ヲ致シテ居ルノデアリマス、所ガ此歐羅巴ヘ出シマシタモノハ、原量ハ輸出商ガ量ッテ居ルノデアリマス、其輸出商ガ量ッテ原量ニ、生絲検査所デ検査致シマシタ水分量ヲ當儀メテサウシテ水量目ヲ算出シテ居ッタモノデアリマス、ソレト歐羅巴ノ検査所ノ水量目トノ比較ヲサレタノデアリマスカラ、私ノ方カラ申シマスルト云フト、ドウ云フ原量ノ秤リ方ヲシタカ分リマセヌ、故ニ此千分ノ三ノ相違ガ正シイ調デアッタカ否ヤト云フコトハ、保證ハ出來ナイ、何トモ申上ゲルコトハ出來マセヌ、併ナガラ千分ノ三ノ違ハ歐羅巴デハ兎ニ角、亞米利加デハ現検査ノ成績ヲ是認スル、斯ウ云フコトニナル、是ダケノ調デアアルナラバ、現検査所ノ成績ガ認メラレルコトニナルノデアリマス、ソレカラ第五ハ生絲輸出會ノ意見書ト、蠶絲業者有志懇談會ノ意見書トガ二ツアルガ、一方ハ正量賣買反對ノ意見、一方ハソレノ反駁ノ意味ノヤウナ意見デアアルガ、何レガ正シイカ、政府ハ如何ニ：

○村上委員 正シイカデハナイ、サウ云フ關係ノ積リカドウカト云フノデアリマス
○芳賀農林技師 是ハ一方ハ毎ミ申上ゲマス通り、輸出商ハ現在ノ商習慣ヲ其儘持續スル方ガ、正量賣買ヲ無條件デ行ハレルヨリ利益デアアルト云フ關係カラ、是ハ反對ヲスルノハ、利益擁護ノ爲ニハ、當然デアラウト思ヒマス、ソレカラ製絲業者ノ側カラハ、今ノヤツハ不正ナ行爲デハナイ、輸出商ガヤッテ居ルノハ、先程若尾サンノ仰シヤル通り、現行ノ取引規約ノ上ニ明示サレテ居ル、其範圍内ニ於テノ旨味デアアルノデアアル、決シテ其利益ヲソレニ依テ得タカラト言ウテ、不正ヲ行爲デナイト仰シヤル、其通りニ政府モ考ヘテ居リマス、併ナガラ製絲家ノ方カラ言ヘバ、非常ニソレガ公平ナル遣方デナイ、水分ガ多イカラト云ウテ、多イ少イト云フコトガ直ニ取引ノ量分、或ハ相場ノ上ニ關係シテ居ラナイ、或ル限度以内デハ無水量ノ絲ヲ賣ッテモ、矢張在目ノ百斤デ取引サレル、サウ云フ不公平ナ取引デアアル、斯ウ見テ居ルノデアリマスカラ、ドウカ正量賣買ニシタイト云フコトハ、製絲業者一般ノ是ハ希望デアアル、又中ニハ分ラヌ人モアルカモ知レマセヌガ、少シ此事情ニ精通シテ居ル方ハ、無論正量賣買ノ有利ナルコトヲ信ジテ疑ハヌモノダラウト思ヒマス、其見地カラ此「バンフレット」ヲ出シタモノト見テ居ルノデアリマス

○村上委員 私ハ次ノ質問ニ移リマス
ガ、私ガ第一ニ御尋シタイト思ウテ居マシタコトハ、所謂検査手数料ノ回收運動ニ關スル政府ノ所見ヲ質シタカッタノデアリマス、之ニ付キマシテハ先刻志村君カラ御尋ガアリ、ソレニ對シテ政府ノ御答辯ガアリマシタ、大體此質問應答ニ依テ此點ハ盡キテハ居ルヤウデアリマスガ、之ニ關シテ私ハ少シク所見ヲ申上ゲテ置キタイト思フ、サウナレバ此輸出生絲検査法案ト云フモノハ、今日マデ當業者ノ間ニ十分ノ諒解ガアッテ、其希望ヲ政府ガ容レテ、サウシテ此法案ヲ依テ茲ニ出シタコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、ソレガ圖ラズモ此検査所ノ廢止問題ガ起ッテ、サウシテスラ——ト行カナケレバナラヌ等デアッタ此法案ニ對シテ、可ナアリマスカラ、此事ニ付テハ御互ニ十分ニ其由テ來ル所ヲ明カニシテ置カナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フ考カラ政府ノ所見ヲ質シタク思ッタノデアリマス、所デ此事ニ付テノ質問ハ今日マデ隨分幾度カ繰返サレテ居リマスルガ、ソレニ付テ政府ハ斯ノ如キ運動ヲ認メヌト云フコトヲ、是亦屢小山次官ノ方カラ御答辯ニナッテ居リマス、左様ナ答辯ガアリマシタ爲ニ、政府ハ餘リニ迂闊デハナイカト云フヤウナ批評ガアリ、ソレハ詭辯デアリ強辯デアアルト云フ非難モ起ッテ來タヤウデアリマスガ、此答辯ニ付テハ私トシテハ斯ウ云フ風ニ解釋シテ居ル、政府モ此運動ノコトハ十分知ッテ居ル、知ラヌノデナイ、ケレドモ正量検査問題ノ今日ニ至ルマデノ過去ニ於ケル長イ間ノ沿革ト

經緯カラ見タナラバ、今ニ於テ斯ノ如キ運動ガアルトハ信ゼラレナイ、少クトモ信ジタクナイト云フノガ、恐ラク政府ノ意見デアアル、斯様ニ私ハ解釋シテ居ルモノデアリマスガ、所デ事實ノ問題トシテ此運動ガ行ハレテ居リマス、毎日吾ミハ當業者ノ一部ノ人カラ訪問ヲ受ケテ居ルト云ッタウナ状態デアリマシテ、確ニ此手數料ヲ廢シテ吳レト云フコトニ付テハ、運動ハ行ハレテ居ルノデアリマスガ、此當業者間ニ諒解ガ有ツタカ無カッタカト云フコトニ付テハ、全體正量檢查施行問題ノ今日ニ至ルマデノ間ニ於ケル當業者ト政府トノ間、當業者間或ハ内外當業者間ニ於ケル交渉ダトカ、或ハ協議ノ顛末ニ付キマシテハ、政府カラ屢此委員會ニ於テモ發表サレテ居ッタノデアリマス、檢查料ノ改正ノコトニ付テモ、無論當業者間ニ十分ノ諒解ガアッタモノデアルト云フコトハ、發表サレタ所カラ考ヘマスレバ、解釋ガ出來ルノデアリマス、若シ斯ノ如ク政府當局ガ當委員會ニ於テ發表サレタ所ノ、今日マデノ沿革ナリ經緯ナリ、之ニ關スル所ノ交渉アリ協議ノアッタ顛末ガ、果シテ眞實デアルトスレバ、今日ニ於テ製絲家ノ人ガ檢查料ノ廢止運動ヲスルト云フコトニ付テハ、吾ミ甚ダ不可解ニ感ズル、ソコデ問題ハ政府ガ屢發表サレタ所ノ、政府ト當業者、或ハ當業者間又ハ内外當業者間ニ於ケル所ノ是等ノ交渉協議

ト云フコトハ、眞實デアアルカドウカト云フコトヲ先ヅ質サナケレバナラヌコトニナツテ來ルノデアリマスガ、私ハ之ヲ常識的ニ考ヘ、又私ハ丁度那是製絲會社ノ在リマス所ニ住ッテ居ルノデアリマシテ、那是製絲會社ノ遠藤君ナドハ極ク懇意ノ間柄デアリ、常ニ往來シテ是等ノ問題ニ付テハ今日マデ種々聞イテ居ル、其等カラシテ考ヘテ見マスレバ、政府ガ屢發表サレタ所ノ此交渉トカ協議ノ顛末ト云フモノハ、是ハ眞實デアアルト云フコトニ肯定スルニ何等躊躇シナイノデアリマス、果シテ之ガ眞實デアアルトスルナラバ、檢查料ノ問題ノ如キニ於テモ、當業者間ニ十分諒解ガアル、例ヘバ加藤君ガ御尋ニナツタ如クニ、政府ハ當業者ニ向ッテ檢查料ヲ取ラウト思フガ宜シイカ、宜シイ承知シマシタト云フ如キ、公式ノ手續ガ取ツテナイニ致シマシテモ、此問題ニ付テハ十分ノ諒解ガアッタモノト吾ミハ想像スルニ躊躇致サナイ、サウスルト云フト、其處マデ諒解ノアッタモノガ、何故ニ最近ニ至ッテ製絲家ガ俄然トシテ此手數料廢止ノ運動ヲスルトコトニナツタノデアラウカ、恐ラク問題ハ此點ニ在ルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、私ノ觀ル所ヲ以テシマスルト、此委員會デ屢說明引用サレタコトデアリマスガ、本年一月二十六日ノ輸出業者側ノ製絲家側ニ對スル條件、是ガ其原因トナツタノデ、アルマイカト斯ウ云フヤウニ私ハ

判斷致ス次第デアリマス、昨年マデ輸出商ノ人ミモ製絲家ノ人ミモ、相携ヘテ此正量檢查ノ促進ニ共同運動ヲ續ケテ來ラレタ、其輸出業者ノ方ミガ昨年來妙ニ反對ノ行動ヲ起シテ、此處ニ「生絲正量取引ニ就テ」ト云フヤウナ「バンフレット」ヲ出シテ、是ハ國益ノ上ニ非常ナ損失ヲ來スモノデアルト云フガ如キ意思ヲ表示サルルニ至ッタト云フコトニ付テハ、全體是ハ何ノ爲デアルカ、吾ミトシマシテハ甚ダシク疑惑ヲ起サナケレバナラヌノデアリマス、或ハ正量取引ヲスルコトニナツタナラバ、輸出商ノ方ニ取ッテハ中々容易ナラザル所ノ損失ヲ來ス、此損失ヲ來スガ爲ニ、之ヲ何處カデ埋合セラシナケレバナラヌト云フコトニ付テ、今回輸出商側カラ製絲家側ニ對スル條件ヲ提出スル爲ノ豫備ノ行動トシテ、斯様ナル反對ノ聲明ヲサルルニ至ッタノデアアルマイカ、斯ウ云フヤウナ感ジモ致スノデアリマス、一寸此「バンフレット」ニ付テ見マスルト、輸出商側ノ言フ所ハ斯ウ書イテアル、「日本ニテ生絲ノ損失」ト云フ中ニ「斤量ヨリ生絲ノ損失」トシテ「最近ノ調査ニヨレハ日本生絲ノ平均含水量ハ約一割一分七厘ニ當ル而シテ取引上從來ハ一割三分迄ノ含水量ヲ許容サレ居リシカ之ヲ正量取引トナス時ハ含水量ハ一割一分迄ヨリ認メラレサル事ナルニ付從來ニ比シ七厘即チ千斤ニ付七斤一ケ年輸出生絲四十萬俵トシテ約

五百六十萬圓ハ殆ト無償ニテ海外買入ニ與フル事ナル計算ナリ、論者或ハ正量取引實施ト共ニ此ノ七厘ニ相當スルタケ賣値ヲ引上クル事ナルヘキ故損失無シト唱フヘキモ高低常無キ生絲相場ニ於テハ假令七厘タケ値上シテ賣ルトスルモコハ全ク一時的ノモノニシテ相場ノ變動ト共ニ忽チ消滅シ結局此七厘即一ケ年約五百六十萬圓ハ國家的ニ失フ事ナルヘシ」此時ニ於ケル輸出商ノ聲明ハ、此損害ハ國家ノ損失デアリマス、先刻私ガ此ニツノ「バンフレット」ニ付テ相互ノ關係ニ關シテ政府ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカト云フコトヲ質シタ所以ハ、今讀上ゲマシタル事柄ニ對シテノ蠶絲業者側ノ聲明ナドヲ見マシテモ、ドウシテモ輸出商側ノ人ハ是ハ國家ノ損失ト言フケレドモ、吾ミノ願ル所ニ於テハサウデハナイト云フ所ノ見地カラシマシテ、反駁的ニ此「バンフレット」ヲ出サレタモノデアアルカノヤウニ私ハ考ヘタノデ、政府ノ所見ヲ御質シタノデアリマスガ、只今讀上ゲマシタル事柄ニ對シテ、ソレトハ指摘シテ居リマセヌケレドモ、蠶絲業者ノ方デ斯ウ云フコトヲ言ウテ居ル、横濱及ヒ紐育ノ取引ニ於テ日本生絲ハ一・七一「プロセント」マテノ水分カ認メラレテ居リ、現在ノ生絲貿易規則カ出來タ明治三十三年ノ前後ニ於テハ一・七一「プロセント」以上ノ水

分ヲ有スル生絲カ多ク、然ルニ漸次水分ハ減少シ、一・七「プロセント」以内ニ人テ居ルニモ拘ラス、益其含水量ハ減少シテ大正十三年ノ平均テハ一〇・六七「プロセント」トナリテ居ル、斯ノ如ク水分ヲ減少シテ量目ヲ喪失スルコトカ直チニ製絲家ニ損失ヲ及ボスモノトスレハ現在製絲家ハ千斤ニ付キ十斤以上ノ損失ヲ招イテ居ルモノトセナケレハナラヌカ、事實決シテ左様テハアルマイ、若シ之ヲ製絲家ノ損失トシタナラハ、長年月ニ互リ益水分ヲ減少シツアル事實カ不可解テアルカラテアル、故ニ水分ノ減少ニ就テハ個々ノ場合ニ於テモ、悉ク適當ニ報償セラレテ居ルカ如何カハ別トシテ大體ニ於テハ價格ノ騰貴或ハ賣行ノ良否又ハ器械検査、看貫支拂ニ至ル取引手續中ニ於テ相當ニ報償セララルモノトセサルヲ得ナイ「ソレカラ澤山書イテアリマスガ、最後ニ」以上ノ如キ事情カラ考ヘテ見ルト水分ノ減少カ個々ノ場合ニ於テ悉ク的確ニ報償セラレテ居リシヤ否ヤハ不明テアルカ、大體ニ於テハ之ニ伴フ價格騰貴又ハ其他ノ事情ニ依テ、適當ナル報償ヲ受ケ、ソレニ依テ製絲家ハ斤量ノ喪失ヲ補ハレテ居タモノトシナケレハナラヌ、果シテ然ラハ製絲家カ益水分ヲ除去シテ居ル事實モ何等怪ムニ足ラヌノテアル「斯ウ云フコトヲ言ッテ居リマス、先日來製絲家ガ損ヲスルトカ、或ハ輸出商ガ損ヲスルト云フ、其損失ノ歸著點ニ付テ幾度カ論議ガ重ネラレテ居リマスガ、併シ此二ツノ記事ヲ此ニ對照對シテ見マスルナラバ、是ハ何人ガ損ヲスルカト云フト、製絲家ノ方デハ正量取引ヲスルノハ自分達ノ損デナイト云フコトヲ證明シテ居ル、ソレカラ輸出商ノ方ニ於テハ此損失ハ自分達ノ損失デハナイ、國家ノ損失ダト言ッテ居ル、サウシテ見ルト先日來屢換ハサレタ損失論ハ、結局吾々第三者ノ場合ニ於テ公平ニ見ルト、之ガ出來タラ確ニ製絲家ノ利益ニナルト云フコトヲ吾々ハ斷定スルニ躊躇致サヌ者デアリマス、サウシテ考ヘマスルト、ソコデ輸出商ノ方ニ於テハ斯ウ云フコトニナルカラ吾々今日マデ此通リデヤルト、國家ノ損失トシテ發表シテ居ッタケレドモ、事實自分達ノ損失ニナルト云フ所カラ、本年一月二十六日提出トナリ、ソコデ製絲家ニシテ見ルト、此輸出商側ノ要求條件ハ餘リニ傍若無人ナ苛酷ナモノデアルト云フコトヲ能ク承知シテ居リマスガ、之ヲ全然拒否スルト云フコトノ出來得ヌ事情ガアツテ、茲ニ問題ハ遂ニ検査手數料ヲ取ラスコトニシテ貰ハウデハナイカト云フ運動ニ變化シタモノデナイト、斯様ニ私共考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ付テハ先刻志村君カラ此意味合ニ於ケル質問ガアリ、政府ノ答辯ガアリマシテ、大體ニ於テ此點ニ付テノ政府ノ所見モ吾々ハ之ヲ讀ムコトガ出來得マシタカラ、此點ニ付テ重テ御答辯ヲ煩ハサウトハ致シマセヌガ、唯此問題ノ經緯ニ關シテ、私共ノ所見ノアル所ヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス、第二ノ問題ハ本案ノ施行期ニ關スル問題デアリマス、此事ニ付キマシテモ志村君カラ先刻質問ガアリ、政府ニ於テモソレ「御答辯ガアッタ譯デアリマスガ、以上ノ見解カラ致シマシテ私共ハ製絲家ノ諸君ガ俄ニ此手數料廢止ノ運動ヲ起ヌノ餘議ナキニ至ッタト云フノ立場ニ對シテハ、同情ヲスル者デアリマス、又ソレト同時ニ輸入商ノ人々ガ、正量取引ノ實行ヲ以テ多大ナル國家ノ損失デアルト申シタ、今度ハ製絲家ニ向ッテ自分達ハ不利益ヲ招カヌヤウニト云フ考ヘカラデアルト見テ居リマスガ、斯様ニ苛酷ナ要求條件ヲ提起スルニ至ッタト云フ所ノ其心情ニ對シテハ、吾々ハ稍是ハ陋劣ナ唾棄スベキモノデハアルマイカト今デモ考ヘテ居リマス、併ナガラ此輸出商ト製絲家ノ此二ツノ問題ニ付テノ、詰リ正量取引ヲスルト云フコトニ付テノ一切ニ關シテ、圓滿ニ妥當ナ協定ガ出來ナイ中ハ、法案ヲ施行スルト云フコトハ不穩當ノコトト私ハ考ヘル、勿論妥協ノ出來ルヤウニスルノニ付キマシテ、政府トシテモ全ク傍觀ハサレマスマイ、適當ナル所ノ努力ヲサルベキモノデアルトハ考ヘマスガ、兎ニ角協定ノ出來ナイ中ニ此法案ヲ施行スルト云フコトハ、或ハ取引上ニ圓滑ヲ缺キ、或ハ受渡シノ上ニ種々ナル支障ヲ來タシ、又ハ醜態ヲ招キマシテ、ソレコソ延イテ國家ニ容易ナラザル所ノ損害ヲ招クコトニナル虞ガアルト斯様ニ思フノデアリマス、デアリマスカラ吾々ハ此法案ノ施行ニ付テハ、兩者間ニ適當ナル協定ノ成ル時ヲ待ツノ外ハナイト信ズルノデアリマス、又政府ハ固ヨリ此協定ノ出來ルコトヲ確信シテ居ラレルヤウデアリマスガ、萬一ニモ其施行ヲ急グガ爲ニ、圓滿ニ終局スベキ所ノ是等ノ兩者間ノ妥協ヲモ困難ニ導クヤウナコトガアツテハ相成ラヌト考ヘマスカラ、即チ此施行期ニ關シテ十分考慮セラルルノ必要ガアルト斯ウ考ヘルノデアリマス、先刻志村氏ノ質問ニ對シテ當局ノ御答辯ガアリマシタガ、全ク此施行期ニ關シテハ、十分ニ兩者間ノ協定ノ成ル時ヲ待タナケレバナラヌト云フ御意思デアアルカト云フコトヲ、今一應政府當局ニ向ッテ確メテ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラ第三ノ問題ハ、封印輸出ニ關スルコトデアリマスガ、正量検査ヲ施行致シマスル以上ハ、封印ノ儘デ之ガ海外市場ニ迄輸出セラルルト云フノデアリマシタナラバ、徹底セスト云フコトハ言フ迄モナイ話デアリマス、ソレニ付テ徹底スベク政府モ大ニ努力スルト云フコトヲ聲明サレテ居ルガ、今日マデノ此兩者間ニ於ケル此

問題ニ付テノ經緯ヲ考ヘテ見マス、輸出商ノ方ミガ、此正量検査ヲ施行スルコトニナッタナラバ、當然封印輸出ニナルト假定シテ居ラシイ、サレバ此「パンフレット」ニ於テ左様ナ意味合ニ於ケル損失ハ幾ラニナルト云フコトヲ計算ニナツテ居ル、然ルニ製絲家側ノ方ニ於テハ、必ズシモ封印輸出デナクテモ宜シイト云フコトヲ明ニ申シテ居リマスガ、ソコデ政府ハ先日來ノ質問應答ニ於キマシテ、大體製絲家側ノ意見ト同ジ御考デアアルコトヲ御伺ヒスルコトガ出來タノデアリマス、ソコデ左様ニ封印デアアルコトモ又封印デナイコトモ、當業者間ノ任意ノヤリ方デアアルト致シマスナラバ、假令ソレガ過渡期ニ於ケル一時的ノ現象トシマシテ、折角正量検査ヲシマシテモ、封印セナイモノガアツテ色モノ手段ガ行ハレテ、正量検査ノ效果ヲ減ズル、又ハ中間ノ商人等ニ依テ、不當ノ利得ヲセラレルヤウナ弊害ヲ生ズル虞ハ絶無トハ私ハ申サレマス、マイト思フノデアリマスガ、之ニ付テハ政府ハ如何ヤウニ御考ニナツテ居ルデアラウカ、若シ又其虞ナキニシモアラズト云フ所ノ懸念ガアリト致シマスルナラバ、ソレニ對シテ政府ハドウ云フ處置ヲ執ルベキ御考ヘナノデアラウカ、其事ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、更ニ此封印輸出ノコトニ付テ、我國ノ生絲ガ亞米利加ノ市場デ封印ノ儘デ取引セラレルヤウニスル

ト云フコトニ付テハ、先日ノ政府當局ノ御答辯ニ依リマス、ソレハ我國ト亞米利加ニ於ケル所ノ當業者間ノ交渉ニ俟ツ、政府ハ唯單ニ交渉ノ成就スルヤウニ援助スルト云フ意嚮ノヤウニ伺ハレタノデアリマスガ、寧ロ政府ト致シマシテハ、更ニ一步ヲ進メテ、其當業者間ノ交渉ト相俟ツテ、之ヲ我國ト亞米利加政府トノ間ノ交渉案件トシテ、其實現ニ努力サレルト云フコトノ方ガ、更ニ有効ナル働キヤスルノデハアルマ、イカト思フノデアリマスガ、之ニ付テ如何ナル考ヲ有セラレルカト云フコトヲ御尋シテ置キタイノデアリマス

○小山政府委員 御尋ノ第一ハ今利害關係ヲ持ツテ居ル輸出業者ト製絲業者トノ間ニ、過去ノ歷史上カラ見テ一致シテ居ラタ意見ガ、最近ニ至ツテ突然兩者立場ヲ異ニスルナヤウナ風ニナッタノハ、要スルニ兩者間ノ利害ガ反スルト云フコトニナツテ來タ結果デハナイカト云フ御説カラ、從テ此施行期ヲ兩者間ノ紛議ガ解決シテ後ニ於テ政府ハ考慮シタラドウカト云フコトデアリマス、固ヨリ政府ト致シマシテモ、兩者間ノ紛議ハ斯業ノ爲ニ避ケナケレバナラヌコトデアアル、殊ニ正量取引ノコトハ、其取引ノ圓滑ニ而シテ公正ニ行ハレ、生絲ノ海外ニ於ケル聲價ヲ揚ゲルコトヲ衷心望シ居ル譯デアリマス、先刻志村君ノ御質問ノ際ニ大體申上ゲマシタヤウニ、當業者ノ間ニ於テモ目下折

角此事ニ付テ協議ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、殊ニ春絲モ段々手配ヲシナケレバナラヌコトニナツテ居リマス、而シテ事柄自體ハ何人モ此正量取引ニ反對ノ者ハナイノデアリマスカラ、之ヲ實現シタイト云フコトニ付テハ、是ハ政府ノ見ル所モ當業者ノ見ル所モ、一致シテ居ルカラ、此實現ノ速カナラン爲ニ——而シテ當業者モ今利害ノ打算的ノ此紛議ヲシテ居ルト云フコトガ、如何ニモ我ガ生絲界ノ爲ニ執ラザル所デアアルコトハ、御互ニ能ク知ツテ居ルヤウデアリマスカラ、私共ハ本法案ノ御協賛ヲ得マスレバ、必ズ當業者ハ此法案ノ施行ニ付テ聊モ支障ナク圓滑ニ公正ニ行ケルモノト斯ウ考ヘテ居ル譯デアアル、ソレカラ封印其他ノコトニ付テハ他ノ政府委員ヨリ御答致スコトニ致シマス

○芳賀農林技師 封印問題ニ付キマシテハ是ハ前ミ申シマス通り、政府トシテ全部封印ヲ施シマシテ、其正量賣買ヲ海外ニ延長シタイ、斯様ニ考ヘマス、併ナガラ日本カラ輸出サレマス生絲ヲ全部封印ヲサセルコトニナルト、若シ納ラヌモノガ出來タ場合ニハ、其ノ甲ノ所デハ封印ヲ破棄サセテシマヒマスカラ、封印ノナイモノガ乙トカ丙トカニ轉賣サレル譯デアアルガ、封印ガナイ爲ニ何處ニ行ツテモ「ペケ」ニサレル、ソレハ輸出商トシテハ甚ダ苦痛デアアル、斯ウ云フノガ因トナリマシテ、一旦不

合格ニナツタモノヲ全ク無疵ノモノノヤウニシテ、他ニ賣ラレルト云フコトハ德義上面自クナイトハ考ヘマスガ、併ナガラ是ハ商人ノコトデアリマスカラ、一箇所デ不合格ニナツタカラト云ウテ、非常ニ不利益ナ條件デ他ニ賣込ムコトハ忍ビナイコトデアラウト政府モ案ジテ當業者ガ困ラナラバ封印ヲ附ケルト附ケザルハ當業者ノ任意ニシタラドウカ、ソコマデハ敢テ政府モ干涉シナイ、詰リ向フニ行ツテ必ズ滑カニ納マル確信ノ付イタ絲ヲ封印スルガ宜イ、確信ノナイモノハ封印ヲ附ケズニ向フニ出シタ方ガ宜イデハナイカ、斯様ニ考ヘマシテ、封印ヲ附ケル附ケナイハ輸出業者ノ任意ニシタ方ガ宜カラウ、斯様ニ政府ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ御尋ノ通り洵ニ政府トシテハ遺憾ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、併シ商人ノ立場モアリマスカラ、如何ニ理想的ト申シナガラ、輸出スル人ガ向フニ參リマシテ、其絲ガ滑カニ賣レナイト云フコトニナリマシテハ大變ナ差支ヲ生ジマセウカラ、輸出商ノ立場ヲ斟酌致シマシテ、任意ニ致シタ譯デアリマス

○村上委員 私ハモウ一ツ最後ニ御尋シテ置キタイ、ソレハ一般ニ洋俵輸出ト申シテ居リマスガ、生絲ノ輸出ノ上ニ於キマシテ生産者タル製絲家ノ手ニ依テ直ニ之ヲ洋俵ニシタ、サウシテ亞米利加ニ於ケル所ノ需要者タル機業家

ニ直接ニ輸出スルコト云フ取引ガ一部分ニ行ハレテ居リマス、吾々ノ信ズル所ニ依レバ、是ハ最モ進歩シ改善サレタル取引法デ、我國ニ於ケル所ノ生絲ノ總テガ斯ノ如キ取引デ——斯ノ如キ取引ガ行ハレルヤウニアリタイモノデアルト云フ程希望スル所ノ、最モ進歩シ改善サレタル所ノ取引法デアルト考ヘマス、此取引ハ中ニ尋常一様ノコトデハ出來ルモノデハナク、生産者タル製絲家ト其生絲ノ需要者デアアル機業家トノ間ニ十分ナル信用ガ置カレ、隔意ナキ所ノ了解ガアツテ初メテ行ハル所ノ取引デアリマス、斯ノ如ク相互ニ深ク信用ヲ仕合ヒ、サウシテ能ク了解シテ居ル所ノ間ニ於テ、而モ圓滿ニ此取引ガ行ハレテ居ルト致シマスナラバ、ソレ等ノモノニ付テハ強テ國ガ今更所謂正量検査ナルモノヲ強制的ニヤラナクテモ宜イモノデアラウ、若シ此種ノ取引ガ我國ノ輸出ノ生絲ニ行ハレルト云フコトニナリマシタナラバ、斯様ナル正量検査ナドト云フモノハ致サナクテモ宜イ譯デアルトモ認ラレルデアリマスカラシテ、隨テ斯ノ如キ洋俵輸出ノモノニ付キマシテハ、此法ノ第三條ノ特例中ニ當然是ハ加ヘテ、此検査ヲ受ケルニ及バヌト云フコトヲ認メラレテ然ルベキモノデアルト思ウテ居ルノデアリマス、然ルニ此施行規則案ニ依リマシテモ、又先般大臣ノ本會議ニ於ケル御答辯ニ依リマシテモ、洋俵輸出

ハ此特例ノ中ニ含ンデ居ラナイ、從來サウ云フ取引ヲシテ居ル者ガアツテモソレヲモ此法合施行ノ結果トシテハ検査ヲ受ケナケレバナラスト云フコトニナルノデアルト云フ意味合ノ御答辯ガアツタノデアリマスガ、ソレハ全體ドウ云フ理由デ左様ナ御取扱ヲ爲サラウトスルノデアリマスガ、此點ヲ伺ヒタイノデアリマス、或ハ若シ左様ナ洋俵輸出ヲスル者ニ對シテ、之ヲ第三條ノ特例中ニ認メテ検査ヲ受ケルニ及バヌト云フヤウニ扱フ致シマス曉ニハ、所謂似テ非ナル所ノ洋俵輸出ナルモノガ出來テ、ソレガ爲ニ折角品質ノ向上ナリ、公正ナル取引ヲ適當ニ致サシムベク考ヘテ居ル所ノ此法案其モノガ、或ハ甚シク傷ケラレルト云フコトヲ悞ラレテ、此特例中ニ除外サレルト云フコトニ相成ッタモノデアリハシナイカト想像ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、此點ニ付テノ政府ノ所見ヲ御同致シタイノデアリマス

○小山政府委員 只今ノ御尋ハ前回ノドナタカノ御質疑ノ際ニモアリマシタ、洵ニ御尤ナ事ダト私共モ考ヘテ居ル譯デアリマス、大體此正量取引ヲスルト云フコトハ、申上ゲル迄モナク此公正ナ取引ヲシ、海外ニ生絲ノ聲價ヲ發揚スルト云フコトニ基イテ居ル、而モ所謂洋俵ノ輸出ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ當局ニ於キマシテモ、此洋俵造リデ輸出スルニ至ッタト云フ經過ニ付キマシテハ、當業者ノ非常ナル努力ヲシテ居ルト云フコトハ當局モ認メマス、殊ニ洋俵ヲ以テ輸出シ、而シテ其輸出スルニ付テハ需要地タル亞米利加ニ於ケル所ノ機業家ト長イ間御交渉ニナツテ、其間ノ種々ナル經過ヲ經テ之ニ對スル所ノ「ムラ」トカ、或ハ弱イ強イトカ、其強弱ノ度合ト云フコトヲ非常ニ御研究ニナツテ、以テ此洋俵造リノ輸出ニマデ運シテ來ラレタ、之ヲ言換レバ亞米利加ノ生絲ノ需要者ト日本ノ製絲家トガ、全ク此間ニ一貫シタル聯絡ガアツテ、其間ニ隔意ナキ信用ガアツテ、今日デハ絕對ニ其信用ヲ以テ取引ヲセラレテ居ルト云フ其努力ハ、私共ハ深ク我が製絲業界ノ爲ニ紀念スベキ事ダトハ考ヘテ居ル譯デアリマス、故ニ此法案ノ立法ヲスルニ當リマシテ、其點ノ事ニ付テモ當局トシテモ種々研究ヲ致シマシテ、過去ニ於テノ努力、我が生絲ノ亞米利加ニ於テノ信用ハ得難キモノデアルト云フコトニ付テハ、何トカ此點ノ努力ニ酬ユル爲ニ、又一方ニ於テ將來ニハ此洋俵造リト云フモノノ輸出ガ益ニナリマスレバ、一面ニ於テ検査ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、相當ニ力ヲ併セテ其效果ヲ擧ゲルコトガ出來ルノデアリマスカラ、此事ニ付テハ何トカ何レ方法モアリハスマイカト云フコトモ、是ハ非常ニ研究ヲ致シマシタ、然ル所近時ノ傾向ヲ見マスルト、多年ノ間非常ナル犠牲ヲ拂ッ

テ築キ上ゲタル海外ノ信用ノ、其殆ト絕對的ノ或ル物ニ乗ジテ——或ル物ニ乗ジタト申シテハ、少シ誤弊ガアルカモ知レマセヌガ、左様ナ意味合ヲ以テ洋俵造リノ物ガ段々ニ數ガ殖エテ參ルヤウナ傾向デアリマス、無ルニ洋俵造リナル物ガ増加シテ來ルト同時ニ、ソレ等ヲ詳細ニ研究ヲシテ見マスルト、前段申上ゲマシタ殆ト絕對的ノ信用ヲ得テ居ル物ニ依ラントシテ居ルト云フコトデアリマセウカ、偶其中ニ絕對的ノ信用ヲ拂フコトガ出來ナイヤウナ物モ間々アルヤウニナッタノデアリマス、斯様ナ傾向デアリマスルト、海外ニ於ケル信用ガ絕對デアルト云フコトニ乗ジテ、ソレヨリモ劣ル物ガ矢張洋俵造リデ參リマスレバ、折角信用ヲ高メ、是カラ又高メナケレバナラスト云フ我が生絲界ノ爲ニ洵ニ悲シムベキコトガ茲ニ起ルノデアリマス、仍テ只今申上ゲマスルヤウニ、洋俵造リノ非常ナル信用ヲ持ッテ居ラレマス所ノ非常ナル御努力ト、其信用ノ基礎ニ對シテハ多大ノ敬意ヲ表シ、其勞ニ酬ユルコトヲ致サナケレバナラスト考ヘマスケレドモ、偶之ニ乗ジテ今申上ゲルヤウナ不正品ガ交ルト云フヤウナコトガアリマスレバ、是ハ取返シノ付カヌコトデアル、斯ウ云フコトヲソレレハ非常ニ研究致シマシタ、若シ洋俵ノモノヲ只今ノ御話ノヤウニ除外致スト云フコトニ致シマスレバ、茲ニ將來正量取引實施ノ曉ニ

於テ、法ノ適用ヲ免レルガ爲ニ故意ニ、

殊更ニ形ノミヲ洋俵トシテ、其荷造リヲ

シテ來ルト云フコトガ増加シテ參リハ

シマイカト云フコトヲ深く將來ノ爲ニ

恐レ、十分之ヲ考慮ノ中ニ置カナケレ

バナラヌト考ヘマシテ、洵ニ御説ノ如

ク此事ニ對シテノ信用ヲ築カレマシタ

營業者ニ對シテハ、甚ダ遺憾ナコトデ

アリマスケレドモ、他ノ形ガ同種類デ

アツテ、内容ガ之ニ伴ハヌヤウナモノガ

アリマスレバ、日本生絲ノ全體ノ信用

ヲ傷付クルト云フコトニナルノデ、謂

ハバソレ等ノ爲ニ將來恐レアリト云フ

コトノ爲ニ、暫ク本法ノ適用カラ除外

スルト云フコトニ致サヌ方ガ宜カラウ

ト云フコトニ定メマシテ、只今ノ御尋

ノヤウナ次第ニナッタ次第デアリマス、

サリナガラ私ハ茲ニ明白ニ申上ゲテ置

キマス、段々申上ゲマスルヤウナ事情

デアリマスカラ、洋俵造リノ此輸出生

絲ガ將來深ク當局者モ此意ノアル所ヲ

諒トセラレテ、相俟テ我國ノ生絲ノ聲

價ヲ海外ニ揚ゲル、其信用ヲ高メル、其

基礎ヲ固メテ行クト云フコトノ御自覺

ニ依テ、此洋俵造リト云フモノガ漸次

増加シテ來ルト云フコトデアリマスナ

ラバ、當局トシテハ事其手柄ガ善イコ

トデアリマスカラ、此本法適用ノ上ニ

於テ十分ニ考慮研究ヲシテ、適當ナル

將來ノ處置ヲ執ルコトニハ注意ヲ拂ッ

テ參ルト云フコトダケハ此處ニ言明申

様御諒承ヲ願ヒマス

○村上委員 今日需要者タル機業家ニ

於テ最モ信用ヲ置カレテ居リマスル、

此洋俵輸出ヲ致シテ居ル製絲家ト云フ

モノハ、極ク少數デアルト承知シテ居

リマス、只今小山次官カラ御述ニナリ

マシタ如クニ、此極メテ少數ノ製絲家

ガ生絲ノ改善及取引ノ改善ニ向ッテ、斯

クシナケレバナラヌモノデアルト云フ

所ノ信念カラ、是ダケノ地步ヲ築キ上

ゲテ來タト云フコトニ付テハ、實ニ容

易ナラザル所ノ犠牲ト努力ヲ拂ッタモ

ノデアリリス、而シテソレガ漸クニシ

テ其目的地點ニ達スルコトニナッタ、ソ

レガ此法案施行ノ爲ニ根本カラ壞サレ

テ、海外ノ需要者ガ信用シテ居ルモノ

ニ對シテ、更ニ國ノ検査ヲ受ケナケレ

バナラヌト云フコトニナリマスコト

ハ、洵ニ殘念ナ話デアツテ、是ハ玉石混

淆トデモ申シマスルカ、若シ斯ウ云フ

コトヲ獎勵ヲ致サナケレバナラヌナラ

バ、斯様ナル事柄ハ寧ロ逆ニ其進歩ヲ

阻害スルト云フヤウナコトニナリマ

ス、サウナッタ日ニハ所謂貨幣法ニ於テ

言フテ居ル「グレサム」ノ法則ノ如ク

ニ、惡貨ガ良貨ヲ驅逐スルト云フヤウ

ナ結果ニナルノデハナイカト云フコト

ヲ甚ダ私悲シムノデアリマス、所謂似

テ非ナル洋俵輸出ナルモノガ續出スル

コトヲ恐レテ、ソレガ爲ニ折角此處マ

デ信用ヲ博シタル所ノ現在ノ洋俵輸出

ヲシナケレバナラヌト云フコトニ致サ

レタモノト解釋ヲスル譯デアリマスル

ガ、然ラバ茲ニ其眞實ヲ區別シ、眞ニ是

ハ洋俵輸出、所謂偽造リノ如何様造リ

デナイト云フコトガ明ニ證據立テラレ

ル所ノ方法ガアッタナラバ、政府當局ト

雖モ無論ハ此三條ノ特例中ニ認メラ

ルベキモノデアルト想像致シマス、私

ハ是ニ於テ左様ナル眞ニ眞實ヲ鑑別

シ、サウシテ如何様物ノ續出スルコト

ヲ防止スルト云フ適當ナ方法ガ、眞ニ

是ハ發見スルコトガ出來ナイノデアラ

ウカドウカト云フコトニ付キマシテ、

政府ニ更ニ一段ノ御攻究ヲシテ戴カン

コトヲ此際特ニ希望シテ置ク次第デア

リマス

○小島委員 質問應答ガ澤山アリマシ

テ、大分私トシテモ分ッテ居リマスガ、

愈聽イテ居ル中ニ愈疑ガ出タノデ、已

ムヲ得ズ私ハ質問スルコトニナリマシ

タ、ソレハ検査ノ目的ト云フモノニ付

テハ正量ガ目的デアツテ、品質ハ目的デ

ナイ、所謂正量ガ目的デアルガ、之ニ伴

フテ品質マデ——其品質ノ検査ニ資ス

ルノデアルト云フ政府ノ御答辯デア

ルガ、私トシテハドウシテモ此検査ト云

フモノハ單リ正量ノモノ検査デナク、

品質ノ検査マデヤラナケレバ、ドウシ

テモ海外ニ於ケル信用ヲ高メ、所謂產

業發達ノ本旨ニ背クト思フガ、併シ政

府トシテ全ク正量ダケノ目的デアルト

マデニ及ボスト云フノデアラナラバ、

甚ダ其點ガオカシイト思フ、サウシテ

茲ニ此正量ノ検査ヲ受ケタモノハ、不

便ヲシテ輸出ヲスルト云フコトハ是ハ

希望ニ依ル、任意デアアル、斯ウ仰ッ

ルコトデアルガ、而モ検査ヲスル以上

ハ何レノ土地ニ至ッテモ此検査ト云フ

モノガ認メラレナケレバナラナイ、所

謂世人一般ニ此検査ト云フモノガ認メ

得ラレナイケレバナラナイ、單リ個人

ノ検査デアラナラバ宜シイガ、國ガ而

モ立テタ所ノ國立ノ検査所デアアル、此

検査ヲシテ封印ヲスルカラニハ、所謂國

ノ權威ヲ保持スル上ニ於テ、ドレ程ノ

検査ノ威力ト云フモノガアルモノデア

ルト云フコトヲ現サナケレバナラナ

イ、然ルノニ此封印ト云フモノハ任意

デアルト云フコトハ、若シモ相手方ノ要

求ニ違ッタ場合ニ於テハ不合格トナル、

不合格トナッタモノハ結局ベケヲ喰フ

譯デアルト云フヤウナ御説明デア

ルハサウ云フ風ニナッテ行クデアリマ

セウ、サウ云フコトニナッテ行クデア

マセウガ、此封印ト云フ兎ニ角國立ノ試

驗所ガヤッタ所ノ検査ト云フモノハ、何

レノ土地ニ行ッテモ検査シタト云フダ

ケノ力ガナケレバナラヌ、力ノ無イモ

ノナラバ國立ノ検査所デ之ヲ行フノ必

要ガナイ位ノモノデアアル、併シ政府委

員ノ仰シタル所ニ依ルト、是ハ對內的

デアアル、對外的デハナイ、内地ニ於ケル

ニ對シテモ、然ラザルモノト同一ノ扱

云フナラバ致方ハナイガ、延イテ品質

ルガ、サウシテ見ルト輸出ニ於ケル検査ト云フモノノ必要ガ無イカト云フコトノ考ガ私ニハ起ツテ來ル、ソレハ延イテ輸出ニ及ボスコトニナルデセウガ、何カ此邊ノ點ハ政府委員ノ御言葉ガ些ト違ヒハシナイカト私ハ思フ、之ニ依テドウシテモ此封印検査ノ權威ヲ維持スルコトガ——保ツコトガ出來ナイモノデアラウカト云フ觀念ヲ起シタ上ニ於テ、果シテ此國立検査所ニ於ケル検査ノ方法如何ト云フコトニ私ハ疑ヲ懷イタノデアリマス、此検査ノ方法ハ一昨日カ承ル所ニ依ルト、芳賀所長サンノ仰シヤル所ニ依レバ、十分手ヲ盡シタ御検査ノヤウデアアルガ、併シ此検査ノ方法ガ相手方ノ米國ニ於テ検査ヲスル方法ト同ジモノデアルトスレバ、矢張日本ニ於テ検査シタモノガ米國ニ於テ是ガ信ジラレナイト云フコトハナカラウト思フ、何レモ學者間ニ於ケル所ノ検査ノ方法ハ大抵一定シテ居ルモノデハナイカト思フ、勿論其検査ノ方法ニ付テハ此處ニ御示シニナツテ居ル所ノ検査執行法規則案ノ中ニ依リマシテモ、何レモ單量検査ノ方法ノヤウデアリマスルガ、果シテ單量検査ニシテ此検査ノ目的ヲ遂行シ得ラレルモノデアアルカドウデアアルカ、勿論是ハ複量ト單量トハ必ズ結果ニ於テ異ナラナケレバナラヌ筈ダト私ハ思フ、之ニ付テハ朝日新聞デアリマシタカ、亞米利加ノ絹業協會ニ於キマシテハ、日本ニ於テハ

此荷口ノ五分ノ二ニ相當スル俵數ノ生絲ニ付テ水合検査ヲ行フト云フコトデアアルガ、成ルベク各俵ニ付テ全部之ヲ検査ヲシテ貫ヒタイト云フヤウナ希望ガアルト云フコトガ新聞ニ出テ居ルガ、ソレハ全クサウデナケレバ實際ニ遂行シ得ナイモノデアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、併シ検査所長ノ御認メニナル所ニ依テハ、是デ差支ナイト思召スノデアアルカ、若シサウデアルトスレバ、矢張需要國ノ米國ニ至ツテモ此日本ノ検査所ノ信用ト云フモノハ保テナケレバナラナイ、然ルニ米國ノ需要國ニ於テ此封印ト云フモノハ信ジラレナイト云フヤウナ意味合ニドウモ話ガ聞ヘルノデアリマス、是ガ矢張日本ノ國立検査所、所謂技術ノ權威、米國需要國ニ於ケル信用ガナイノデハナイカト私ハ思フ、是ハサウデハナカラウカ、斯ウ云フコトニ考ヘルノデアアル、米國デ行ツテ居ル所ノ此検査ノ方法ト、日本ノ國立検査所デ行ツテ居ル所ノ検査ノ方法トガ違フノデアアルカドウデアアルカヲ承リタイ、ソレカラ此同ジ百斤ノ中ニ於キマシテモ、ドレ程マデノ水分ヲ取ルノデアアルカドウデアアルカ、成程商業取引ニ於テ正量取引ニ於ケル所ノ水分ハサウ云フコトニ決ツテ居ルデアラウガ、但シ此品質ヲ損ジナイ程度ニ於ケル所ノ水量、所謂有效水量ト必要ノナイ水量ガドレ程ニ分ケラレテ居ルモノデアアルカ、外國デハ所謂米國ノ検査

所デハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、或ハ日本ノ國立検査所ニ於テハドウ云フ風ニ之ヲ分ケテ居ルノデアアルカ、果シテ其處マデ水量ヲ取ツタト云フコトデアアルナラバ、此供試品ニ付テ影響ハナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ御伺ヲ致シタイノデアリマス、ソレカラ此検査スル所ノ機關ニ依リマス、今デハ「タラボ」式デハナク、「スタンダード」式デアルト云フコトデアアルガ、是ハ熱風裝置デアアルカ、密閉裝置デアアルカ、此密閉裝置ト熱風裝置デハ餘程其品物ニ影響スル所ガアルダラウト私ハ思フノデアアルガ、此御所信ヲ承リタイノデアリマス

ルト云フヤウナコトノ大要ヲ申シテ置イタ譯デアリマス、殊ニ検査所ニ於テモ今ノ御話ノ點ハ洵ニ御尤ノコトデアルト考ヘマシテ、此點ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、然ラバ其格付品検査ノ事ガ完了シナイカラ正量取引モ延シタラドウカト云フコトデアリマスレバ、正量取引ハ先刻來申上ゲマスル通り、明治三十二年以來ノ懸案デ、段々ノ經過ヲ御答申上ゲマシタ所ニ於テ御諒承ヲ願ヒマシタヤウニ、既ニ三箇年ノ繼續事業ニナツテ居リマス所ノ、而シテ五百萬圓モ投ジマシタ所ノ其立派ナル検査所ガ、本年度ニ完成致スノデアリマスカラ、而シテ此検査所ノ今日ニ至ル迄ノ事情關係ハ一日モ速ニ正量取引ヲ致シタイト云フコトノ希望ト、而モ検査所ノ擴張ト云フコトガ寄附ノ條件ニナツテ參ツテ居ルノデアリマスカラ、此意味ニ於キマシテ御説ノ如ク、此格付検査ト云フコトハ相俟テ致スト云フコトハ理想的デアリマスケレドモ、先刻モ御説明申上ゲマシタヤウ次第タイト努力致シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ封印ノ事ハ是ハ矢張屢御尋ガアリマシタガ、封印モ正量取引實現ノ意義ヲ完フル上ニ於キマシテハ、此封印ハ殊ニ政府ノ致ス封印デアリマスカラ、此封印ノ海外ニ迄及ンデ信用ヲ全クシ、其信用ノ十分利ク位ナモノデナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマ

ルガ、サウシテ見ルト輸出ニ於ケル検査ト云フモノノ必要ガ無イカト云フコトノ考ガ私ニハ起ツテ來ル、ソレハ延イテ輸出ニ及ボスコトニナルデセウガ、何カ此邊ノ點ハ政府委員ノ御言葉ガ些ト違ヒハシナイカト私ハ思フ、之ニ依テドウシテモ此封印検査ノ權威ヲ維持スルコトガ——保ツコトガ出來ナイモノデアラウカト云フ觀念ヲ起シタ上ニ於テ、果シテ此國立検査所ニ於ケル検査ノ方法如何ト云フコトニ私ハ疑ヲ懷イタノデアリマス、此検査ノ方法ハ一昨日カ承ル所ニ依ルト、芳賀所長サンノ仰シヤル所ニ依レバ、十分手ヲ盡シタ御検査ノヤウデアアルガ、併シ此検査ノ方法ガ相手方ノ米國ニ於テ検査ヲスル方法ト同ジモノデアルトスレバ、矢張日本ニ於テ検査シタモノガ米國ニ於テ是ガ信ジラレナイト云フコトハナカラウト思フ、何レモ學者間ニ於ケル所ノ検査ノ方法ハ大抵一定シテ居ルモノデハナイカト思フ、勿論其検査ノ方法ニ付テハ此處ニ御示シニナツテ居ル所ノ検査執行法規則案ノ中ニ依リマシテモ、何レモ單量検査ノ方法ノヤウデアリマスルガ、果シテ單量検査ニシテ此検査ノ目的ヲ遂行シ得ラレルモノデアアルカドウデアアルカ、勿論是ハ複量ト單量トハ必ズ結果ニ於テ異ナラナケレバナラヌ筈ダト私ハ思フ、之ニ付テハ朝日新聞デアリマシタカ、亞米利加ノ絹業協會ニ於キマシテハ、日本ニ於テハ

此荷口ノ五分ノ二ニ相當スル俵數ノ生絲ニ付テ水合検査ヲ行フト云フコトデアアルガ、成ルベク各俵ニ付テ全部之ヲ検査ヲシテ貫ヒタイト云フヤウナ希望ガアルト云フコトガ新聞ニ出テ居ルガ、ソレハ全クサウデナケレバ實際ニ遂行シ得ナイモノデアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、併シ検査所長ノ御認メニナル所ニ依テハ、是デ差支ナイト思召スノデアアルカ、若シサウデアルトスレバ、矢張需要國ノ米國ニ至ツテモ此日本ノ検査所ノ信用ト云フモノハ保テナケレバナラナイ、然ルニ米國ノ需要國ニ於テ此封印ト云フモノハ信ジラレナイト云フヤウナ意味合ニドウモ話ガ聞ヘルノデアリマス、是ガ矢張日本ノ國立検査所、所謂技術ノ權威、米國需要國ニ於ケル信用ガナイノデハナイカト私ハ思フ、是ハサウデハナカラウカ、斯ウ云フコトニ考ヘルノデアアル、米國デ行ツテ居ル所ノ此検査ノ方法ト、日本ノ國立検査所デ行ツテ居ル所ノ検査ノ方法トガ違フノデアアルカドウデアアルカヲ承リタイ、ソレカラ此同ジ百斤ノ中ニ於キマシテモ、ドレ程マデノ水分ヲ取ルノデアアルカドウデアアルカ、成程商業取引ニ於テ正量取引ニ於ケル所ノ水分ハサウ云フコトニ決ツテ居ルデアラウガ、但シ此品質ヲ損ジナイ程度ニ於ケル所ノ水量、所謂有效水量ト必要ノナイ水量ガドレ程ニ分ケラレテ居ルモノデアアルカ、外國デハ所謂米國ノ検査

所デハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、或ハ日本ノ國立検査所ニ於テハドウ云フ風ニ之ヲ分ケテ居ルノデアアルカ、果シテ其處マデ水量ヲ取ツタト云フコトデアアルナラバ、此供試品ニ付テ影響ハナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ御伺ヲ致シタイノデアリマス、ソレカラ此検査スル所ノ機關ニ依リマス、今デハ「タラボ」式デハナク、「スタンダード」式デアルト云フコトデアアルガ、是ハ熱風裝置デアアルカ、密閉裝置デアアルカ、此密閉裝置ト熱風裝置デハ餘程其品物ニ影響スル所ガアルダラウト私ハ思フノデアアルガ、此御所信ヲ承リタイノデアリマス

ルト云フヤウナコトノ大要ヲ申シテ置イタ譯デアリマス、殊ニ検査所ニ於テモ今ノ御話ノ點ハ洵ニ御尤ノコトデアルト考ヘマシテ、此點ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、然ラバ其格付品検査ノ事ガ完了シナイカラ正量取引モ延シタラドウカト云フコトデアリマスレバ、正量取引ハ先刻來申上ゲマスル通り、明治三十二年以來ノ懸案デ、段々ノ經過ヲ御答申上ゲマシタ所ニ於テ御諒承ヲ願ヒマシタヤウニ、既ニ三箇年ノ繼續事業ニナツテ居リマス所ノ、而シテ五百萬圓モ投ジマシタ所ノ其立派ナル検査所ガ、本年度ニ完成致スノデアリマスカラ、而シテ此検査所ノ今日ニ至ル迄ノ事情關係ハ一日モ速ニ正量取引ヲ致シタイト云フコトノ希望ト、而モ検査所ノ擴張ト云フコトガ寄附ノ條件ニナツテ參ツテ居ルノデアリマスカラ、此意味ニ於キマシテ御説ノ如ク、此格付検査ト云フコトハ相俟テ致スト云フコトハ理想的デアリマスケレドモ、先刻モ御説明申上ゲマシタヤウ次第タイト努力致シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ封印ノ事ハ是ハ矢張屢御尋ガアリマシタガ、封印モ正量取引實現ノ意義ヲ完フル上ニ於キマシテハ、此封印ハ殊ニ政府ノ致ス封印デアリマスカラ、此封印ノ海外ニ迄及ンデ信用ヲ全クシ、其信用ノ十分利ク位ナモノデナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマ

スガ、併ナガラ今日ハ正量取引ヲスル
過渡期デアル、過渡期デアリマスカラ
營業者ノ方ノ種々ナル御希望モアリ、
此御希望ノ點モ亦此過渡期ニ於テハ御
尤ト考ヘル點モアリマスカラ、暫ク是ハ
宜シイトシマス、併ナガラ封印ヲスル
コトガ原則デアリマセヌ、原則ハ取
引ノ絕對的信用デアリマスケレドモ、
暫ク是ハ營業者ノ希望モアリマスカ
ラ、其希望ニ副フヤウニシテ、而シテ此
封印ノ一日モ速ニ海外ニ絕對的ニ行渡
ルヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマ
ス、所謂漸ヲ逐フテ封印絕對ニ迄到着
致シタイ、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ譯デ
アリマス、而シテ新聞ニ依リマスケレバ
各倭ノ檢查云々ト云フ御話ガアリマシ
タガ、左様ナ事モ一部ニアッタヤウデア
リマスケレドモ、米國ニ於キマス所ノ此
檢查會社ノ報告書ヲ見マスルト——其

アル、是ガ生絲檢查會社ノ報告デアリ
マス、是等ノ關係カラ致シマシテ此檢
査數量ハ米國ニ於テハ一俵ニ付テ十八
本、佛國ニ於テハ三十本、伊太利ニ於テ
ハ原量ノ「バーセント」四分ノ一、即
チ日本同様十二本、斯ウ云フヤウナ風
ニ世界ノ正量檢查ノ慣例トシテ現今
サレテ居ルヤウデアリマスカラ、只今
ノ御話ノ點ニ付テ各倭ニ致サナケレバ
ナラヌト云フコトニ付キマシテハ、ソ
レハ理想的ノモノデアリマセウケレド
モ、現ニ行ハレテ居リマス所ノ慣習ニ
依リマスケレバ、右ノヤウナ次第デアリ
マス、尙ホ私ノ申上ゲマス事ニ付テ其
檢查ノ方法及設備水分ノ關係等ハ、當
該所長ヨリ御答申上ゲル方ガ便利ト考
ヘマスカラ、所長カラ詳シク申上ゲル
コトニ致シマス

○芳賀農林技師 此正量檢查ノ實行ノ
爲ニ品質ノ向上シテ參リマスコトハ是
ハ絕對的デアリマセヌノデ、詰リ是ハ
消極的ノモノデアルト思ヒマス、ソレ
ハ多量ノ水分ヲ持チマスケレバ元來ノ生
絲ノ美質ヲ長ク保存スルコトガ出來ナ
イ、又ソレガ硬化シ、或ハ變質ヲスル、
ソレヲ防グ爲ニ品質ガ向上サレル、詰
リ是ハ積極的ノモノデナイ、消極的ノ
モノト見テ居ルノデアアル、故ニ正量賣
買ノ爲ニ總テ品質ガ向上スルト云フノ
デハナイ、其以外ニ細ムラ、太ムラトカ、
或ハ節等ノアルコトヲ改良スル所ノ方
法ハソレゾレ講ジナケレバナラヌト

思ッテ居リマス、故ニ此正量ト品質トヲ
並行サセナケレバ意義ヲナサナイ、斯
ウ云フコトハナイト信ジテ居ルノデ、
又何處ノ國デモ——外國ノ眞似ヲスル
譯デアリマセヌガ、何處デモ正量ト量
目關係ノ原則デアアル、品質トハ、只今ノ
所並行シテ居ル所ハアリマセヌ、是ハ
併シ並行スルコトガ理想デアアルコトハ
吾ミモ認メテ居ルモノデアリマス、封
印破棄ニ付テハ是ハ私ノ説明ガ足ラナ
カッタカト存ジマスガ、封印破棄ノ原因
ハ量目關係カラ起ッテ居ルノデハナク
テ品質ニ惡イモノガアルガ爲ニ、買手
ハ取換ヘ引換ヘヲ要求スルノデ、ソレ
デアルカラ一旦企業家ニ賣込マレタ
モノガ企業家ニ於テ封印ヲ取ッテ、之ヲ
檢查スル、或ハ使用半バニ其缺點ヲ發
見シテ苦情ヲ持出ス、斯ウ云フノガ通
例デアリマス、故ニ目方ノ爲ニ不合格
ニナルノデナク、品質ノ爲ニ不合格ニ
ナッタモノガ偶出ル場合ニ——封印付
デ市場ニ出ルト云フコトニナルト、封
印ノ破棄サレタモノハ是ハ前科者ト斯
ウ見ラレル虞ガアッテ、其點ガ輸出業者
ノ苦痛トスル點デアアル、斯ウ云フ譯デ
アリマス、ソレカラ檢查所ニ於キマシテ
ノ水分ノ取り方ハドウカト云フヤウナ
御尋デアリマシタガ、是ハ何處ノ國デ
モ略同様デアリマシテ、成程供試品
ニ多少ハアリマセウケレドモ、併ナガ
ラ無水量ヲ極メテヤルト云フコトハ何
處ノ國デモ同ジデアリマス、如何ニシ

報告書ノ概要ヲ御答ノ代リトシテ申上
ゲマスレバ、各倭ノ正量ヲ檢查スルコ
トハ、正確ナラシムル上ニ於テ最モ理
想的ノモノデアアル、其理想的ノ方法タ
ルコトハ論ヲ俟タナイ事デアアル、併シ
經費ノ關係上正量ノ檢查ハ五俵中二俵
ニ止メ、他ノ三俵ハ原量ノミ之ヲ測ッ
テ、是等ノ分量ヲ標準トシテ五俵ノ荷
口全部ノ正量ヲ計算スル習慣トナッテ
居ルモノデアアル、而シテ十俵ナル場合
ニ於テハ正量ハ四俵ニ付テ之ヲ檢查
シ、他ノ六俵ハ原量ノミヲ測ッテ、而シ
テ全荷口ノ正量ヲ計算ヲシテ居ルノデ

アル、是ガ生絲檢查會社ノ報告デアリ
マス、是等ノ關係カラ致シマシテ此檢
査數量ハ米國ニ於テハ一俵ニ付テ十八
本、佛國ニ於テハ三十本、伊太利ニ於テ
ハ原量ノ「バーセント」四分ノ一、即
チ日本同様十二本、斯ウ云フヤウナ風
ニ世界ノ正量檢查ノ慣例トシテ現今
サレテ居ルヤウデアリマスカラ、只今
ノ御話ノ點ニ付テ各倭ニ致サナケレバ
ナラヌト云フコトニ付キマシテハ、ソ
レハ理想的ノモノデアリマセウケレド
モ、現ニ行ハレテ居リマス所ノ慣習ニ
依リマスケレバ、右ノヤウナ次第デアリ
マス、尙ホ私ノ申上ゲマス事ニ付テ其
檢查ノ方法及設備水分ノ關係等ハ、當
該所長ヨリ御答申上ゲル方ガ便利ト考
ヘマスカラ、所長カラ詳シク申上ゲル
コトニ致シマス

○芳賀農林技師 此正量檢查ノ實行ノ
爲ニ品質ノ向上シテ參リマスコトハ是
ハ絕對的デアリマセヌノデ、詰リ是ハ
消極的ノモノデアルト思ヒマス、ソレ
ハ多量ノ水分ヲ持チマスケレバ元來ノ生
絲ノ美質ヲ長ク保存スルコトガ出來ナ
イ、又ソレガ硬化シ、或ハ變質ヲスル、
ソレヲ防グ爲ニ品質ガ向上サレル、詰
リ是ハ積極的ノモノデナイ、消極的ノ
モノト見テ居ルノデアアル、故ニ正量賣
買ノ爲ニ總テ品質ガ向上スルト云フノ
デハナイ、其以外ニ細ムラ、太ムラトカ、
或ハ節等ノアルコトヲ改良スル所ノ方
法ハソレゾレ講ジナケレバナラヌト

テソレデハ無水量ヲ極メルカト申シマ
スレバ、前ニモ一寸御答シタト存ジマ
スガ、從來ハ佛蘭西式ノ「クラボー」式
ヲ我ガ檢查所デハ使ッテ居リマスガ、今
日トナリマスルト寧ロ舊式ニ屬スルモ
ノデ、近來ハ多ク瑞西式ノ「ヘンリーベ
ヤー」或ハソレト略同ジヤウナ式ノ
乾燥器ヲ使ッテ居リマス、「タラボー」式
ハ是ハ石炭ヲ煖爐ニ焚キマシテ、サウ
シテ熱ヲ作ッテ之ヲ乾燥器ニ導クヤウ
ニナッテ居リマス、今日ハ皆電氣ヲ熱源
ニ致ス、殊ニ此頃ハソレニ管ヲ使ッテ居
リマス、故ニ乾燥器械ノ「ドラフト」ガ
非常ニ多クナッテ居リマス、ソレデ是ハ
密閉式デハナクシテ、唯「バランス」ヲ
合セル所ノモノデスガ、其熱風ガ乾燥
器ニ入ッテ、生絲ニ含マレテ居ル所ノ水
分ヲ煙突ノ方ニ抜クヤウニナッテ居ル
ノデアリマス、ソレデ「タラボー」式ノ
時代ニハドウシテモ攝氏百十四年度ト
シ、三十分間ヲ要シマシタ、所ガ此頃ノ
「ヘンリーベヤー」式ヲ使ッタモノハ、
管ガ附イテ居ル關係カラ二十分デ乾燥
無水量ニナルノデアリマス、併シ事實
ハ十五分間デ無水量ニナッテ居リマス、
ソレハ乾燥器ニ入レテ五十分間置キニ量
リマスガ、段々量目ガ減ッテ、十五分ノ
時ニ至ッテ無水量ニナルノデアリマス、
併ナガラ前ノ五十分、十五分、是迄
ハ若干宛減ッテシマフ、ソレデスカラ十
五分ノ時ニ直グニ上ゲテシマフ譯ニハ
行キマセヌ、十五分ノ時ニマダ減ルカ

モ知レマセヌカラ、後ト五分間置キマシテ二十分ノ時ニ量リマスガ、其量タ奴ガ十五分ノ時ト變化ガナケレバ之ヲ無水量ト斯様ニ認定スルノデアリマス、隨テ實際ノ無水量ハ十五分ノ時ニ無水量ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ御尋ノ事ハ御答ガ出來タヤウニ思ヒマスガ……

○小島委員 大體サウデアラウトハ思ヒマシタガ、疑ガ生ジタ爲ニ私ハ伺ッタ次第デアリマスガ、尙ホ簡單ニ一言御尋シタイノハ、此間當局ノ仰シヤル所ニ依ルト國立試驗所ハ一箇所デアルト云フ御言葉デアルガ、併シ地方團體ノ設立シタモノハ之ヲ認メル、成程是ハ検査法案ノ中ニモアルヤウデアリマスガ、此團體ヲ認メタ場合ニ於テハ其検査ニ要スル所ノ費用ハ政府ヨリ支辨スルト云フ譯デアリマセウナ、其邊ノ所ヲ御伺ヲ致シテ置キタイ、又検査規則ノ法案ヲ御出シニナルニ付テハ勿論一面ニ於テ非常ニ發達シテ居ル人造絹絲ニ關スル事柄モ十分御考慮ニナツタコトデアラウトハ思ヒマスガ、其邊ノ御所信ヲ御伺シタイ

○小山政府委員 只今御尋ノ國ノ検査所ハ横濱デアリマス、而シテ此國ノ検査所ニ代ルベキ検査所デ認メタイト思ヒマスノハ、神戸市ガ經營シテ居リマス市立検査所デアリマス、而シテ其國ノ検査所ニ代ルベキモノノ經費ハ如何ニスルカト云フ御尋デアリマスガ、是

ハ毎々申上ゲルヤウニ検査手数料ニ依テ其經費ヲ支辨スルコトニ當局トシテハ致シテ居ルノデアリマス、即チ言換ヘレバ神戸検査所ハ検査手数料ニ依テ其經費ヲ支辨シ維持シテ行カウト當局ハ考ヘテ居ルノデアリマス、次ニ御尋ノ人造絹絲ノコトデアリマス、此人造絹絲ハ近時非常ニ進歩ヲ致シマシテ、最近四十年間ニ於テ發明セラレテ、其間ノ行程ヲ執リマシタ經過カラ見マスレバ、實ニ異常ノ發達ヲ致シテ居ルノデアリマス、而モ其品質ハ年々歳々改良ヲ加ヘラレマシテ、實ニ見事ナモノガ出來ルヤウニナツテ參リマシタ、而シテ市場ニ出テハ其價格ハ相當廉價デア

ルヤウニ認メマス、是ニ於テ何人モ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ事ハ、我が生絲業ノ將來ニ人造絹絲ガ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコトデアラウト思ヒマス、而モ需要ノ方面ニ於キマシテハ人造絹絲ノ最近ノ發達ハ天然絹絲ヲ凌駕シテ居ルト云フ趨勢デアリマス、是ガ故ニ當局ト致シマシテハ人造絹絲ノ對策トシテハ之ヲ二ツノ方面カラ見ナケレバナラヌト思ヒマス、其一ツハ人造絹絲ガ果シテ天然絹絲ノ領域ヲ侵スモノデアルヤ否ヤニ先ヅ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト思ヒマス、而シテ當局ノ調ベタ所ニ依リマスレバ、人造絹絲ハ成程一部分ハ天然絹絲ノ領域ニ對シテ絶對不可侵ノモノデアルトハ認メマセヌ、多少之ニ對シテ領域ヲ侵シテ來ル

モノデアリマセウ、併ナガラ大體ニ於テ人造絹絲ハ毛織物、木綿、此方面ニ人造絹絲ガ進ンデ參ルノデアリマシテ、即チ一昨日ノ新聞デアリマシタカ、昨日ノ新聞デアリマシタカニ我が生絲界ノ其能者デアアル今井伍介君ノ話ガ載ッテ居ッタヤウデアリマス、ソレニ人造絹絲ハ天然絹絲ノ水先案内デアルト書イテアリマス、其點私ハ當業者トシテハ適切ナル御着眼デアルト拜見致シテ居

リマシタガ、斯様ニ綿織物毛織物マデニ領域ヲ擴ゲテ行クモノデアッテ、天然絹絲ノ確ニ水先案内デアルト考ヘテ居リマスガ、併シ一面ニ於テモウ一ツノ方面ヲ考ヘナケレバナラヌ、即チ人造絹絲ノ生産費ガ割合ニ廉價デアルト云フコトヲ深ク考慮ノ中ニ置カナケレバナラヌト思ヒマス、故ニ茲デ我が製絲業即チ蠶絲業方面ニ深キ注意ヲ拂ハナケレバナラヌノガ今日ノ養蠶業ノ根本政策デアアル、成程養蠶ノ方ニハ非常ナ力ヲ入レテ居リマス、各府縣モ蠶種ノ統一トカ其他ニ付テ非常ニ力ヲ入レテ居ル、又更ニ進ンデハ繭ノ方ノ事モ大ニ研究致サナケレバナラヌ、是ハ先刻モ申シマシタ通り蠶テハ製絲業者ノ金融ニ關係ヲ及ボシ、而シテ之ヲ他ニシテハ我國ノ生絲ノ實質ヲ擧ゲル、是ガ爲ニ蠶繭裝置、共同繭倉庫ト云フモノヲ致シテ參ッテ、此事ガ出來マスレバ更ニ進ンデハドウスルカト言ヘバ、即チ生絲ノ生産費ヲ尙ホ出來得ルダケ低廉

ニシナケレバ、我國ノ生絲ノ將來ノ大策ハ立タヌモノト思ヒマス、生絲ノ生産費ヲ廉ニスルコトハ蠶テ是ガ即チ良品廉價ノ原因ニナル、農林大臣カラ先日申シマシタ、益良品廉價ノ政策ヲ執ラナケレバナラヌト云フノガ此處ニ基礎ガ置イテアル譯デアリマス、是ガ爲ニハドウ云フコトヲ致スカト云フト、

是ハ其能率ヲ擧ゲル外途ハアリマスマイ、今日工女ノ工賃等ヲ見マス、十年前ト今日トハ物價ノ關係上非常ニ上ツテ居ル、又一方生産費モ相當高マツテ來テ居ル、ソレナラバドウスルカト申シマスレバ、ドウシテモ私ハ能率ヲ擧ゲナケレバナラヌ、ソレニハドウスルカト云フト、今日一釜ニ付テ三捆ニ足ラヌト云フ有様デアアル、今日五捆上ゲテ居ル機械ハ十何縣ノ内點々算ヘル外アリマスマイ、先日申上ゲマシタ徳島ノ筒井製絲ガ十三捆上ゲテ居ルト云フノハ異例ナコトデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ能率ヲ擧ゲナケレバナラヌ、ソレニハ三捆ノモノヲ六捆ニスル、サウシテ千人要ル所ヲ五百人デ宜イト云フコトニナリマスレバ、此處デ初メテ生産費ヲ廉價ニシテ行クコトガ出來ルト思ヒマスカラ、即チ養蠶ガ農業ノ副業デアッテ、製絲工業ハ工業的ノ基礎ノ上ニ其技術的ノ缺陷ヲ補ッテ行クト云フコトニナレバナリマセヌ、更ニ之ヲ製品ニ致シタ生絲ハ即チ正量取引ヲスルト云フヤウナ商業的ノ立場ニ立タナ

ノ通説ト認ムベキモノハ今申上ゲタヤ
ウナ説デアラウト思ヒマス

ケレバナラスト思ヒマス、斯様ニシテ
一ハ人造絹絲ノ品質ノ改良ニ依テ來ル
所ノ之ヲ強テ申セバ天然絹絲ノ脅威、
私ハ決シテ前途ヲ悲觀ハ致シマセヌケ
レドモ、幾分ノ脅威ヲ來ス、此事ニ注意
ヲ拂ッテ行ク爲ニハドウシテモ良品廉
價ノ政策ヲ執ル、斯ウ云フ風ニシテ行
キマスナラバ今井伍介君ノ人造絹絲ハ
水先案内デアアル、我ガ生絲モ決シテ悲
觀スベキコトハナカラウ、益製絲業者
ハ其將來ノ爲ニ努力シナケレバナラヌ
ト云フ、新聞ニ御發表ニナリマシタ御
意見ト私ハ全然同感デアリマス、斯様
ニ當局ハ考ヘテ居ルノデアリマス
○折原委員長 一寸速記ヲ……

〔速記中止〕

○若尾委員 畔田君ガ御ヤリニナル番
ダサウデスガ、時間モ段々迫リマシタ
カラ、畔田名ノ順位ヲ保留サレテ、此次
ノ機會ニ質問ヲ許サレムコトヲ希望致
シマス、而シテ今日ハ此程度ニ於テ御
散會ヲ願ヒマス

○折原委員長 御賛成ト思ヒマスカラ
今日ハ是デ散會致シマス、明後日ハ午
前正十時カラ開會ヲ致シマス

午後四時三十七分散會

輸出生絲檢查法案委員會會議錄

第三回中正誤

二頁二段一七行「マス」ノ下ニ左ノ通リ
誤脱ス

是ハ憲法義解ニ載ッテ居リマス解釋カ
ラ致シマシテ、ソレカラ又各學者ナド